

**外国人ビジネスパーソンの
都市・オフィス・居住環境に関するニーズ調査
報告書**

2015年10月

一般社団法人 不動産協会

目次

1. 調査の概要	1
1.1 目的.....	1
1.2 業務内容.....	1
1.2.1 都市の国際競争力にかかる既往調査のレビュー.....	1
1.2.2 外国人ビジネスパーソンアンケート調査の実施.....	1
2. 都市の国際競争力にかかる既往調査のレビュー	2
2.1 最近の外資系企業の立地動向.....	2
2.1.1 我が国の外資系企業立地数の推移.....	2
2.1.2 地域別の外資系企業立地状況.....	3
2.1.3 外資系企業の業種・本社所在国.....	4
2.1.4 アジア・オセアニア地域統括拠点.....	5
2.2 東京の評価とニーズ.....	6
2.2.1 都市の総合的なランキングにみる東京の順位.....	6
2.2.2 東京の強み・弱み.....	8
2.3 企業における高度外国人材の受入と活用.....	13
2.3.1 高度外国人材の採用状況.....	13
2.3.2 高度外国人材の将来の働き方への要望.....	15
2.4 外国人の都市・オフィス・居住に対するニーズ.....	17
2.4.1 居住環境や住まいに対するニーズ.....	17
2.4.2 生活全般に対するニーズ.....	18
2.4.3 都市環境やビジネス環境.....	19
3. 外国人ビジネスパーソンアンケート調査の実施	22
3.1 調査概要.....	22
3.1.1 調査目的.....	22
3.1.2 調査内容.....	22
3.1.3 調査方法.....	22
3.1.4 回収結果.....	22
3.2 調査結果.....	23
3.2.1 回答者の概要.....	23
3.2.2 「世界で最も住みたい都市」と東京との比較及び魅力向上策.....	30
3.2.3 日本での生活や仕事における外国人ビジネスマンのニーズや課題.....	56
3.2.4 住まい・居住環境に関する外国人ビジネスマンのニーズや課題.....	68
添付資料1 2006年調査との比較・考察	74
添付資料2 アンケート調査票（和文）	90
添付資料3 アンケート調査票（英文）	109

1. 調査の概要

1.1 目的

一般社団法人不動産協会では、2006年に「外国人ビジネスマンの都市・オフィス・居住環境に関するニーズ調査」を実施した。以来、約10年が経過し、都市間のグローバルな競争が激しくなる中、東京をはじめとする我が国大都市の置かれた環境も変化している。

本調査は、2006年に実施した調査以降の、国際競争の中にある東京等の我が国大都市の現況や強み、弱み等を既往調査から把握するとともに、外国人ビジネスパーソンを対象にした同様のアンケート調査を実施する。それらを踏まえ、昨今の我が国大都市に対する住む、働く、憩う等に対する外国人ビジネスパーソンのニーズを把握し、国際競争力強化に向けた取り組みを考察するための基礎資料として取りまとめることを目的とした。

1.2 業務内容

本調査は、既往調査のレビューと、外国人ビジネスパーソンを対象としたアンケート調査で構成される。

1.2.1 都市の国際競争力にかかる既往調査のレビュー

東京に外資系企業が進出する際に求められる事項、国際競争力強化に関する既存の国の施策検討資料等を収集整理する。

1.2.2 外国人ビジネスパーソンアンケート調査の実施

外国人ビジネスパーソンの都市・オフィス・居住環境に対するニーズを把握するため、主として東京在住の外国人ビジネスパーソンに対し、アンケート調査を実施する。

なお、2006年に当協会が実施した同様のアンケート調査を基本としつつ、社会情勢の変化等を考慮し、調査項目の改定を行う。

2. 都市の国際競争力にかかる既往調査のレビュー

アジア地域の著しい経済成長に伴い、アジア地域における都市間競争は激しさを増している。多面的な評価軸で都市の競争力を評価したランキングでも、アジアの都市が東京を追いかけ、著しい成長を続けていることが分析されており、ビジネス分野では、シンガポール、香港などの存在がアジア地域で非常に高まってきている。

ここでは、東京を中心に国際競争力に係る既往調査を収集、分析し、東京の強み、弱みを把握するとともに、外資系企業の誘致や外国人ビジネスパーソンの生活環境等に求められるニーズを整理する。

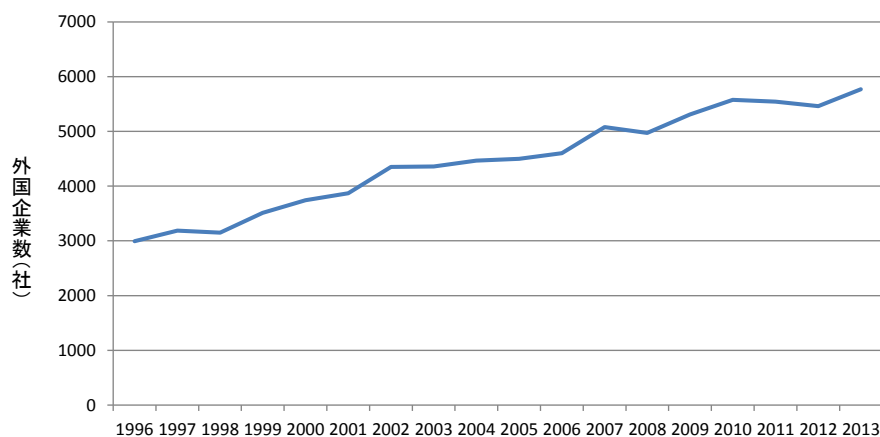
2.1 最近の外資系企業の立地動向

我が国における外資系企業の立地動向を、統計調査等を用い分析した。

2.1.1 我が国の外資系企業立地数の推移

- 経済産業省調査によれば、我が国には約 6,000 社の外資系企業が立地しており、緩やかな増加傾向にある。
- 調査回答が得られた企業数を母数とする中では、我が国に立地する外資系企業の 2/3 は東京都内に所在する。2013 年時点で、東京都内には約 2,130 社、全国で約 3,150 社が立地している。上位 10 位都道府県の総数は、全体の 94%を占めている。

図 2-1 外資系企業立地数の推移

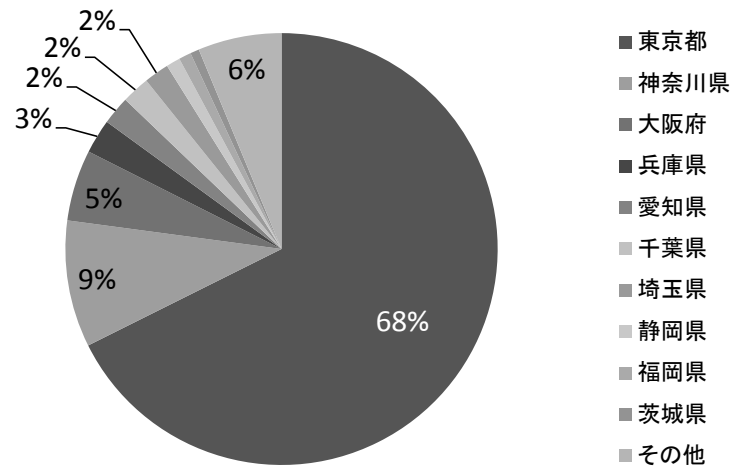


注) 本調査の対象とする外資系企業の定義は以下の通り。

- ・ 毎年 3 月末時点で以下の条件を満たす企業及び当該年度中に条件を満たしていた企業
- ・ 外国投資家が株式又は持分の 3 分の 1 超を所有している企業
- ・ 外国投資家が株式又は持分の 3 分の 1 超を所有している国内法人が出資する企業であって、外国投資家の直接出資比率及び間接出資比率の合計が、当該企業の株式又は持分の 3 分の 1 超となる企業
- ・ 上記 1、2 いずれの場合も、外国側筆頭出資者の出資比率が 10%以上である企業

出所) 経済産業省「外資系企業動向調査」より作成

図 2-2 都道府県別外資系企業立地割合(2013 年度)



出所) 経済産業省「<速報>第48回外資系企業動向調査(2014年調査)」より作成

2.1.2 地域別の外資系企業立地状況

- 外資系企業の本社所在地は、東京都港区(795社・25.6%)、東京都千代田区(516社・16.6%)、東京都中央区(232社・7.5%)の東京都心3区に全体の約5割が集中している。

表 2-1 外資系企業の本社所在地ベスト30(2014年版)

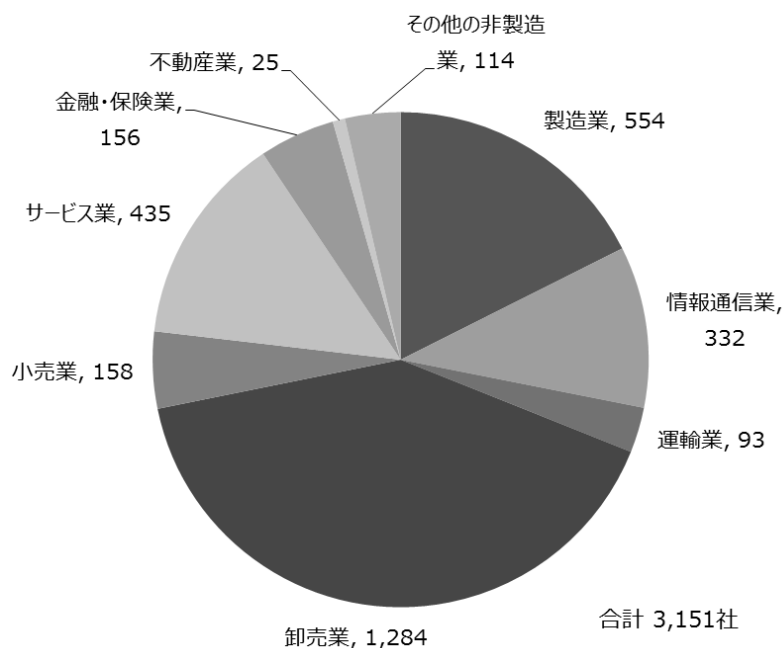
	都市名	社数		都市名	社数
1	東京都・港区	795	16	千葉県・千葉市	24
2	東京都・千代田区	516	17	東京都・大田区	23
3	東京都・中央区	232	18	東京都・墨田区	19
4	東京都・渋谷区	180	18	愛知県・名古屋市	19
5	神奈川県・横浜市	176	20	東京都・中野区	18
6	東京都・品川区	160	20	東京都・豊島区	18
7	東京都・新宿区	148	22	神奈川県・相模原市	13
8	大阪府・大阪市	84	23	東京都・杉並区	11
9	兵庫県・神戸市	65	23	埼玉県・さいたま市	11
10	東京都・江東区	56	25	埼玉県・川口市	9
11	東京都・文京区	42	25	神奈川県・厚木市	9
12	東京都・目黒区	40	25	大阪府・吹田市	9
13	神奈川県・川崎市	38	28	神奈川県・平塚市	8
14	東京都・台東区	37	29	東京都・板橋区	6
15	東京都・世田谷区	25	29	広島県・広島市	6
			29	福岡県・福岡市	6

注) 東洋経済「外資系企業総覧」2014年版より集計。収録会社数は3,107社。

2.1.3 外資系企業の業種・本社所在国

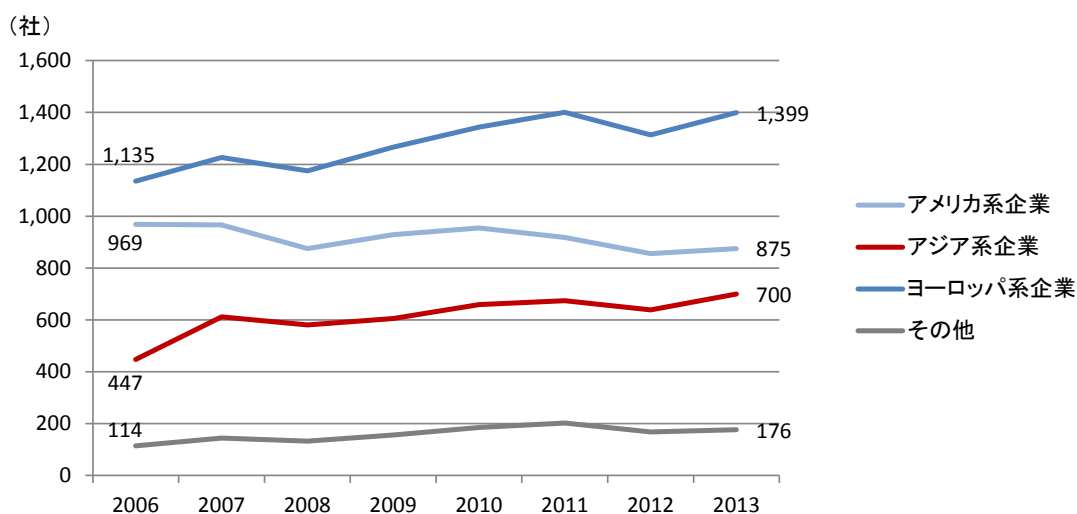
- 国内の外資系企業の業種は、卸売業やサービス業の割合が大きい。
- ヨーロッパ系企業やアジア系企業の立地数の伸びが顕著である。特に、アジア系企業は2006年の447社から2013年には700社と急増しており、約1.6倍となった。
- 一方、アメリカ系企業の立地は停滞あるいは減少傾向にある。

図 2-3 業種別外資系企業割合(2013年度)



出所) 経済産業省「<速報>第48回外資系企業動向調査(2014年調査)」より作成

表 2-2 母国籍別及び業種別構成比



出所) 経済産業省「外資系企業動向調査(2007~2014年調査)」

2.1.4 アジア・オセアニア地域統括拠点

- 我が国に立地している外資系企業のうち、アジア・オセアニア地域における地域統括拠点は、シンガポール 339 社、中国 283 社、香港 215 社、日本 95 社であった。シンガポールにアジア・オセアニアの地域統括拠点を置いていると回答した外資系企業の割合が高い。
- また、前年の調査結果となるが、進出年次別からも、シンガポールや中国への地域統括拠点の集中が続いている状況にある。

表 2-3 海外親会社(外国側筆頭出資者)が設置するアジア・オセアニア地域統括拠点
(2013 年度)

(単位:社、拠点)

	日本	中国	香港	台湾	韓国	インド	シンガポール	オーストラリア	その他
全産業	95	283	215	48	46	49	339	70	237
製造業	20	66	26	8	8	11	53	8	43
非製造業	75	217	189	40	38	38	286	62	194

(注1) 海外親会社が設置している調査対象企業以外のアジア・オセアニア地域統括拠点を国・地域別に集計。

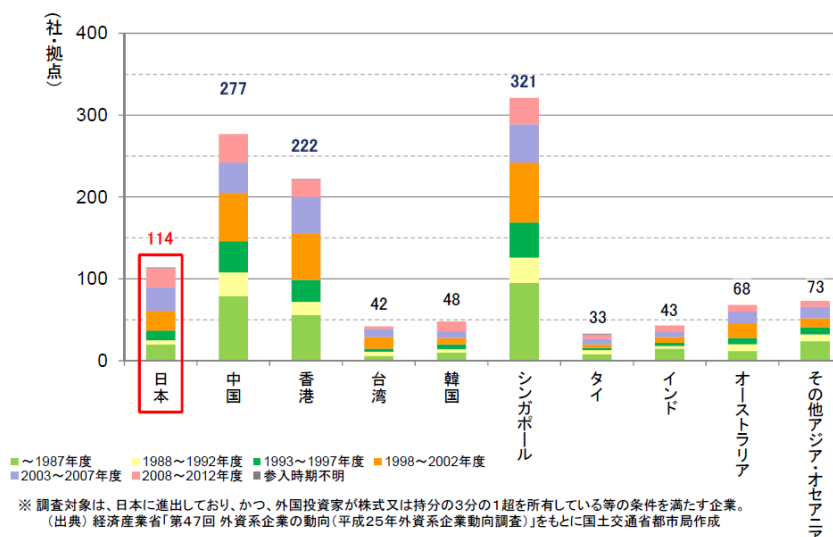
(注2) 国・地域別の統括拠点数は、複数回答のため延べ数。

(注3) 1 つの海外親会社に対し、その子会社及び孫会社の両方から回答がある場合は重複を排除している。

注) 上表は、調査時点で日本に立地する外資系企業に調査票を配布し、アジア・オセアニア地域統括拠点の場所を尋ねたものである。例えば、調査対象となった外資系企業が地域統括拠点であった場合、「日本」という回答となる。

出所) 経済産業省「<速報>第 48 回外資系企業動向調査(2014 年調査)」

図 2-4 進出時期別外資系企業のアジア・オセアニア地域統括拠点数(2012 年度)



注) 第 48 回外資系企業動向調査(2014 年調査)は、2015 年 6 月時点で速報版しか公開されておらず、進出時期を把握することができない。上図は、前年の「第 47 回外資系企業動向調査」に基づくものである。

出所) 国土交通省大都市戦略検討委員会(第 2 回)「資料 2-2 参考資料」(平成 27 年 3 月)より引用

2.2 東京の評価とニーズ

2.2.1 都市の総合的なランキングにみる東京の順位

- 一般財団法人森記念財団 都市戦略研究所が2014年10月に発表した「世界の都市総合力ランキング「Global Power City Index-2014」」によれば、東京の総合的なポジションは、ロンドン、ニューヨーク、パリに次ぐ、第4位である。

「Global Power City Index-2014」の結果概要

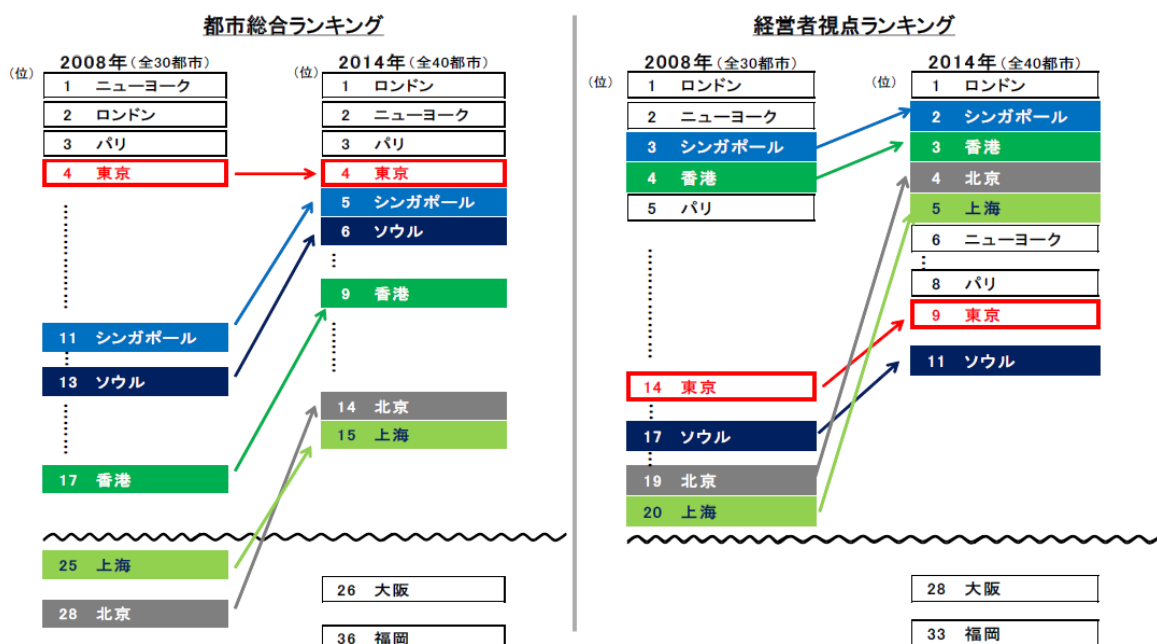
- 東京は昨年に引き続き4位となったが、弱みであった文化・交流分野においては8位から6位へと上昇した。これは、外国人旅行者数の大幅な増加等によるものである。
 - 2013年には東京における外国人旅行者数が680万人を超え、海外からの訪問者数が向上したことに加え、国際コンベンション開催件数、ユネスコ世界遺産、ハイクラスホテル客室数などの指標も東京のスコアを押し上げたといえる。東京は、「市場の魅力」や「交通利便性」などの指標グループにおいて弱みを抱えているが、今後は五輪開催を契機とした都市力向上の動きが期待されており、将来的に総合ランキング3位のパリを抜く可能性がある。
- 総合ランキング上位のシンガポール(5位)とソウル(6位)が、いずれも昨年に続きスコアを上昇、東京(4位)との差を縮めた。
 - シンガポールはコンテンツ輸出額、ソウルはユネスコ世界遺産の指標を伸ばすなど、両都市ともに、文化・交流分野のスコアが上昇している。
- 今年初めて調査した都市の「感性価値(人の感性に訴える力)」を加味したランキング(GPCI+)では、東京が総合ランキングで3位となった。
 - 東京は、感性価値指標である公共の場における安心感、住民の親切さ、国際空港の定時運航率、移動の快適性に関して高い評価を得た。これは、東京が安全・安心の面で優れていることや、「おもてなし」の言葉に代表されるようなホスピタリティ、また、公共交通の正確性が優れていることを示しているといえる。

※下線は加筆

出所) 一般財団法人森記念財団「世界の都市総合力ランキング「Global Power City Index-2014」プレスリリースより引用

- 世界の都市総合ランキングの2008年から2014年のランクの推移を見ると、シンガポールをはじめとするアジアの都市が大幅にランクアップしている。東京は第4位と変化はないが、第5位、第6位にシンガポール、ソウルがランクされており、まさに背後に迫ってきたという状況にある。
- また、上位10位にアジアの都市が4都市ランクされるなど、世界都市においてアジアの都市の成長が目覚ましいと言えるとともに、それ以上にアジアにおける都市の競争が激化したとも言える。
- 一方、経営者の視点でみたランキングによると、アジアの都市が第2位から第5位を占める結果となっている。しかし、東京は第9位とビジネス面においてはこれら上位都市に後塵を拝している。

図 2-5 世界の都市総合ランキングの推移



注) 元出典は以下の通り。

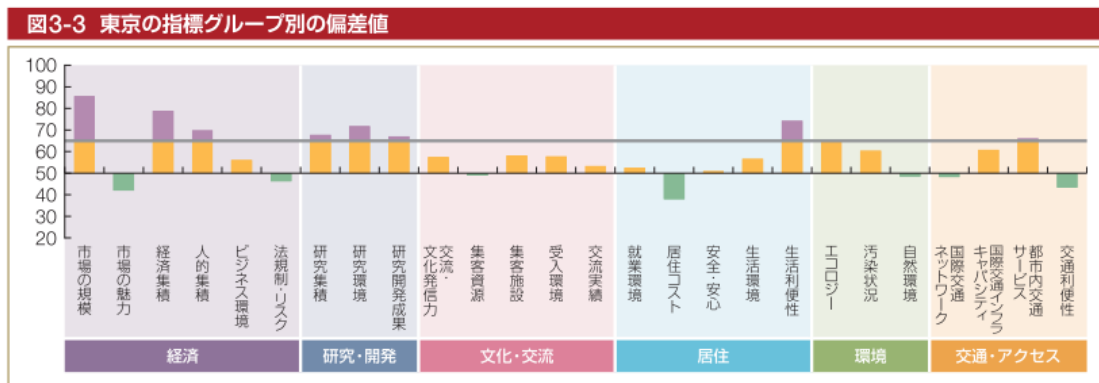
森記念財団「世界の都市総合カランキング」を基に国土交通省都市局作成
 出所) 国土交通省大都市戦略検討委員会 (第2回) 「資料2-1 都市の国際競争力・都市再生」 (平成
 27年3月) より引用

2.2.2 東京の強み・弱み

- 「世界の都市総合力ランキング「Global Power City Index-2014」によれば、東京の弱みは、「市場の魅力」「法規制・リスク」「集客資源」「居住コスト」「自然環境」「国際交通ネットワーク」「交通利便性」が対象都市の平均を下回っていると報告されている。

図 2-6 東京の強み・弱み

東京の強み (65以上)		トップ3都市に比べて 東京がやや弱い (50以上65未満)		東京の弱み (50未満)		
分野	指標グループ	分野	指標グループ	分野	指標グループ	
経済	市場の規模	経済	ビジネス環境	経済	市場の魅力	
	経済集積		交流・文化発信力		法規制・リスク	
	人的集積		集客施設		文化・交流	集客資源
研究・開発	研究集積	文化・交流	受入環境	居住	居住コスト	
	研究環境		交流実績		環境	自然環境
	研究開発成果		就業環境		交通・アクセス	国際交通ネットワーク
居住	生活利便性	居住	安全・安心	交通利便性		
	交通・アクセス		都市内交通サービス	生活環境		
環境		エコロジー				
環境		汚染状況				
交通・アクセス		国際交通インフラキャパシティ				



(参考) 東京の弱みを構成する指標

集客資源：アーティストの創作環境（アンケート調査）、ユネスコ世界遺産（100km 圏）、文化・歴史・伝統への接触機会（アンケート調査）

自然環境：水質、都心部の緑被状況、気温の快適性

国際交通ネットワーク：国際線直行便就航都市数、国際線直行貨物便就航都市数

交通利便性：都心から国際空港までのアクセス時間、人口当たり交通事故死亡者数、タクシー運賃

出所) 「世界の都市総合力ランキング Global Power City Index 2014」一般財団法人森記念財団 都市戦略研究所より引用

- 東京は、総合力では第4位にランクされているが、個別の指標で見ると比較劣位な点も多く抱えている。
- 例えば、経済分野や研究・開発分野、環境分野は総じてみると優位であるが、「一人当たりオフィス面積」、「研究者の交流機会」、「都心の緑被状況」等は低位に位置している。
- また、文化・交流分野、居住分野、交通・アクセス分野では、低位～中位に位置する指標も多く見られる。例えば、「災害に対する脆弱性」や「都心から国際空港までのアクセス時間」である。

表 2-4 東京と海外主要都市との世界の都市総合ランキングの指標の比較①

			ロンドン	ニューヨーク	パリ	東京	シンガポール	香港
総合ランキング			1位	2位	3位	4位	5位	9位
経営者視点ランキング			1位	6位	8位	9位	2位	3位
分野	グループ	指標名						
経済	市場の規模	1 GDP	3位	2位	11位	1位	8位	10位
		2 一人当たりGDP	20位	9位	3位	6位	22位	27位
	市場の魅力	3 GDP成長率	18位	36位	22位	39位	6位	8位
		4 経済自由度	15位	9位	32位	22位	2位	1位
	経済集積	5 証券取引所の株式時価総額	3位	1位	6位	2位	17位	4位
		6 世界トップ300企業数	4位	5位	3位	2位	27位	14位
	人的集積	7 従業者数	5位	8位	18位	3位	14位	13位
		8 対事業所サービス業従業者数	2位	7位	11位	3位	12位	8位
		9 賃金水準	19位	8位	22位	10位	29位	28位
	ビジネス環境	10 優秀な人材確保の容易性	2位	1位	7位	3位	5位	30位
		11 1人当たりオフィス面積	34位	16位	23位	22位	26位	25位
法規制・リスク	12 法人税率	9位	40位	29位	34位	2位	1位	
	13 政治、経済、商機のリスク	1位	1位	1位	1位	1位	1位	
研究・開発	研究集積	14 研究者数	7位	1位	10位	2位	8位	14位
		15 世界トップ200大学	2位	1位	5位	12位	10位	6位
	研究環境	16 数学・科学に関する学力	19位	25位	21位	5位	2位	3位
		17 外国人研究者の受入態勢	3位	1位	5位	16位	4位	26位
		18 研究開発費	10位	1位	8位	2位	13位	23位
	研究開発成果	19 産業財産権(特許)の登録数	20位	3位	21位	1位	6位	9位
		20 主要科学技術賞受賞者数	6位	1位	2位	16位	16位	16位
		21 研究者の交流機会	1位	8位	6位	35位	3位	21位

※赤背景は東京が上位10カ国、青背景は東京が下位10カ国(31-40位)に該当する指標 ※黒点線枠は民間都市再生事業を通じたビジネス環境・生活環境の改善に間接的に関連する指標
 ※黒太枠は民間都市再生事業を通じたビジネス環境・生活環境の改善に直接的に関連する指標 (出典) 森記念財団「世界の都市総合力ランキング2014」を基に国土交通省都市局作成

出所) 国土交通省大都市戦略検討委員会(第2回)「資料2-1 都市の国際競争力・都市再生」(平成27年3月)より引用

表 2-5 東京と海外主要都市との世界の都市総合ランキングの指標の比較②

分野	グループ	指標名	ロンドン	ニューヨーク	パリ	東京	シンガポール	香港
文化・交流	交流・文化発信力	22 国際コンベンション開催件数	11位	23位	4位	6位	1位	18位
		23 主要な世界的文化イベント開催件数	3位	2位	1位	4位	30位	30位
		24 コンテンツ輸出額	1位	2位	6位	28位	5位	12位
	集客資源	25 アーティストの創作環境	3位	1位	2位	17位	33位	37位
		26 ユネスコ世界遺産(100km圏)	4位	25位	11位	20位	29位	25位
		27 文化・歴史・伝統への接触機会	2位	4位	1位	15位	38位	40位
	集客施設	28 劇場・コンサートホール数	7位	1位	8位	17位	21位	31位
		29 美術館・博物館数	1位	6位	2位	5位	18位	32位
		30 スタジアム数	2位	19位	14位	15位	12位	15位
	受入環境	31 ハイクラスホテル客室数	6位	4位	16位	13位	5位	9位
		32 ホテル総数	3位	14位	1位	8位	21位	17位
		33 買物の魅力	4位	1位	3位	5位	17位	15位
	交流実績	34 食事の魅力	3位	1位	4位	5位	8位	25位
		35 外国人居住者数	2位	3位	13位	14位	1位	5位
36 海外からの訪問者数		1位	6位	9位	11位	2位	5位	
37 留学生数		1位	5位	3位	7位	13位	11位	
38 完全失業率		26位	29位	27位	10位	4位	6位	
居住	就業環境	39 総労働時間	12位	29位	1位	26位	31位	36位
		40 従業員の生活満足度	8位	1位	15位	22位	10位	32位
		41 賃貸住宅平均賃料	36位	39位	28位	30位	40位	38位
	住居コスト	42 物価水準	29位	32位	27位	38位	39位	16位
		43 人口当たり殺人件数	13位	31位	17位	9位	2位	6位
	安全・安心	44 災害に対する脆弱性	13位	3位	8位	13位	13位	8位
		45 60歳における平均余命	14位	21位	4位	1位	4位	-
	生活環境	46 地域コミュニティの良好さ	12位	28位	12位	12位	22位	8位
		47 人口当たりの医師数	20位	33位	2位	21位	36位	30位
	生活利便性	48 人口密度	21位	8位	1位	5位	12位	17位
		49 外国人人口当たりの外国人学校数	34位	35位	22位	16位	33位	15位
50 小売店舗の充実度		2位	3位	4位	1位	14位	10位	
51 飲食店の充実度		2位	3位	5位	1位	8位	29位	

※赤背景は東京が上位10カ国、青背景は東京が下位10カ国(31-40位)に該当する指標 ※黒点線枠は民間都市再生事業を通じたビジネス環境・生活環境の改善に間接的に関連する指標
 ※黒太枠は民間都市再生事業を通じたビジネス環境・生活環境の改善に直接的に関連する指標 (出典) 森記念財団「世界の都市総合ランキング2014」を基に国土交通省都市局作成

表 2-6 東京と海外主要都市との世界の都市総合ランキングの指標の比較③

分野	グループ	指標名	ロンドン	ニューヨーク	パリ	東京	シンガポール	香港
環境	エコロジー	52 ISO14001取得企業数	2位	25位	12位	1位	5位	9位
		53 再生可能エネルギーの比率	30位	21位	20位	32位	37位	40位
		54 リサイクル率	14位	16位	25位	27位	1位	6位
	汚染状況	55 CO2排出量	5位	14位	18位	3位	16位	17位
		56 SPM濃度	16位	6位	28位	12位	24位	33位
		57 SO2濃度・NO2濃度	24位	17位	26位	27位	28位	36位
	自然環境	58 水質	10位	22位	3位	19位	14位	21位
		59 都心部の緑被状況	19位	23位	19位	23位	9位	9位
交通・アクセス	国際交通ネットワーク	60 気温の快適性	19位	24位	23位	10位	16位	6位
		61 国際線直行便就航都市数	1位	12位	2位	25位	14位	9位
		62 国際線直行貨物便就航都市数	10位	18位	22位	14位	8位	1位
	国際交通インフラキャパシティ	63 国際線旅客数	1位	12位	2位	13位	6位	3位
		64 滑走路本数	4位	1位	2位	4位	11位	30位
	都市内交通サービス	65 公共交通(鉄道)の駅密度	18位	10位	1位	5位	29位	35位
		66 公共交通の充実・正確さ	11位	4位	14位	1位	13位	10位
		67 通勤・通学の利便性	4位	2位	21位	6位	1位	8位
	交通利便性	68 都心から国際空港までのアクセス時間	9位	28位	36位	31位	22位	17位
		69 人口当たり交通事故死亡者数	7位	22位	17位	3位	15位	6位
70 タクシー運賃		36位	13位	15位	35位	10位	9位	

※赤背景は東京が上位10カ国、青背景は東京が下位10カ国(31-40位)に該当する指標 (出典) 森記念財団「世界の都市総合ランキング2014」を基に国土交通省都市局作成
 ※黒太枠は民間都市再生事業を通じたビジネス環境・生活環境の改善に直接的に関連する指標
 ※黒点線枠は民間都市再生事業を通じたビジネス環境・生活環境の改善に間接的に関連する指標

出所) 国土交通省大都市戦略検討委員会 (第2回) 「資料2-1 都市の国際競争力・都市再生」 (平成27年3月) より引用

- 日本貿易振興機構（以下、JETRO）の調査によれば、日本における投資阻害要因として、「ビジネスコストの高さ」、「外国語によるコミュニケーションの難しさ」等が指摘されている。
- 「日本のビジネスコスト」について、更に詳細に尋ねた質問では、約 50%の企業が、「税負担」や「オフィス・事業用地の取得・賃貸コスト」が大きな負担と回答している。

図 2-7 日本における投資阻害要因（複数回答：上位 4 項目）

N=102 (単位：社)

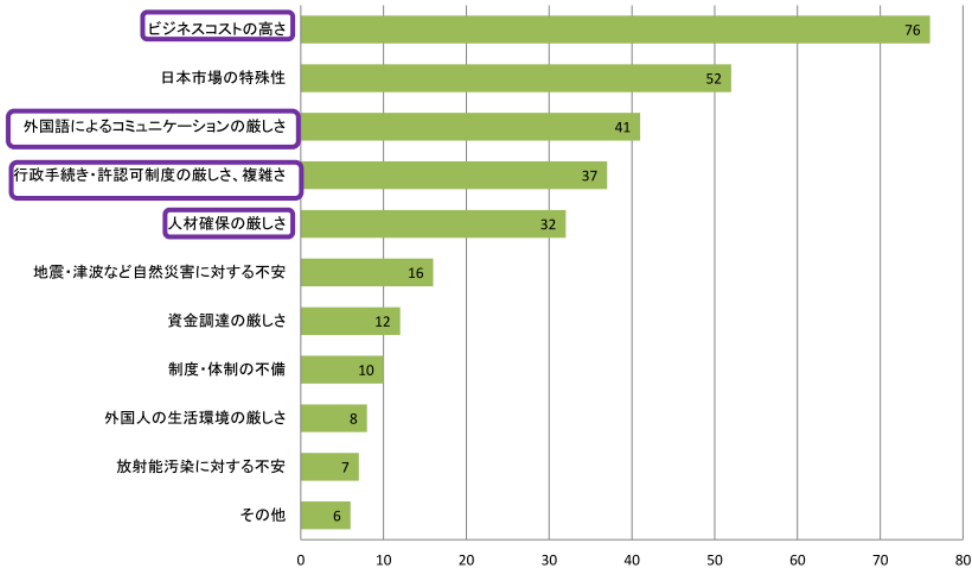
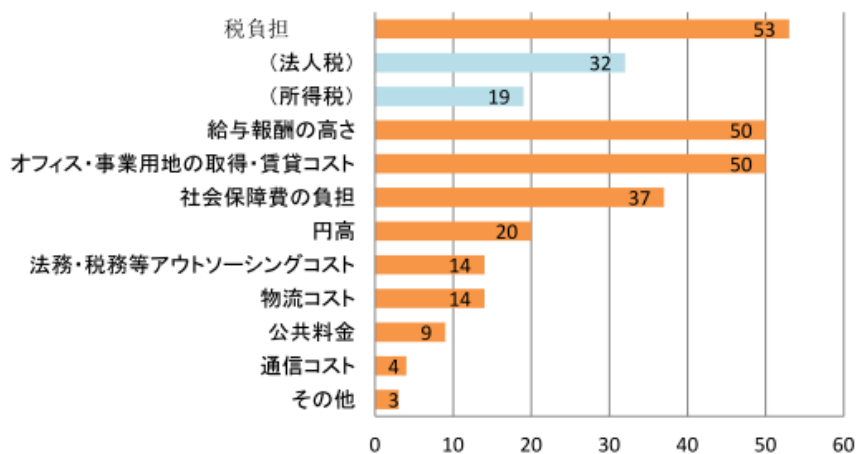


図 2-8 日本のビジネスコスト（複数回答：上位 3 項目）

N=102 (単位：社)



注) 調査の概要は以下の通り。

- 2003年4月から2012年12月までに、JETROが支援して日本に進出した外資系企業1,048社のうち、捕捉可能な555社に対し、2013年2~3月に、日本における投資阻害要因についてアンケート調査を実施。102社から回答を得た。

出所) 「日本における投資阻害要因に関する外資系企業の声と改善要望」日本貿易振興機構 (JETRO) 2013年4月より引用

- また、「行政手続き・許認可制度の厳しさ、複雑さ」については、制度の厳しさ等を指摘する他に、「行政手続きの煩雑さ」を指摘する回答も多い。
- 「人材確保の厳しさ」としては、約 50%の企業が「グローバル人材確保の難しさ」を指摘しており、こうした人材面の育成も日本への投資を阻害する要因となっている。

図 2-9 行政手続き・許認可制度の厳しさ、複雑さ（複数回答：上位3項目）

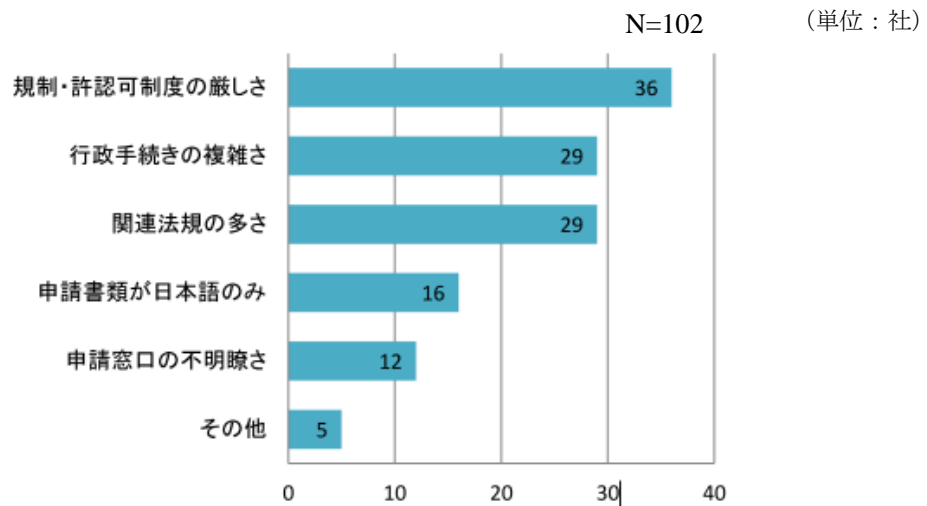
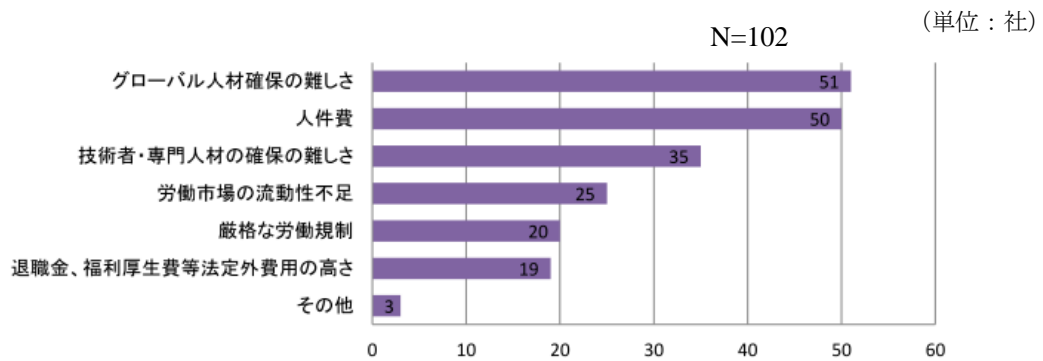


図 2-10 人材確保の厳しさ（複数回答：上位3項目）



注) 調査の概要は以下の通り。

- ・ 2003年4月から2012年12月までに、JETROが支援して日本に進出した外資系企業1,048社のうち、捕捉可能な555社に対し、2013年2～3月に、日本における投資阻害要因についてアンケート調査を実施。102社から回答を得た。

出所) 「日本における投資阻害要因に関する外資系企業の声と改善要望」日本貿易振興機構 (JETRO) 2013年4月より引用

2.3 企業における高度外国人材の受入と活用

日本の企業の高度外国人材の受入と活用について、独立行政法人労働政策・研修機構「企業における高度外国人材の受入と活用に関する調査（平成 25 年 5 月）」より、傾向を整理した。

なお、この調査は以下の通り企業調査と個人調査により構成されている。

<参考>企業における高度外国人材の受入と活用に関する調査（平成 25 年 5 月）の概要

【企業調査】

- ・ 調査対象：総務省「平成 21 年経済センサス」の産業、規模の分布をもとに、民間の調査会社の企業データベースから抽出した 10,915 社。
- ・ 調査方法：質問紙を用いた通信調査。
- ・ 調査機関：2013 年 1 月 10～2013 年 1 月 29 日
- ・ 回収数：1,339 通、回収率：12.3%

【個人調査】

- ・ 調査対象：日本の企業（在日外資系企業を含む）で働く高度外国人材。
※日本の国籍を有しない者（入管特例法における「特別永住者」を除く）で、日本国内および海外の大学・大学院以上の最終学歴を有する者、またはそれに相当する実績をあげている外国人、在留資格「研究（企業内の研究職）」「技術」「人文知識・国際業務」「投資・経営」「法律・会計業務」「企業内転勤」の外国人。
- ・ 調査方法：企業調査票に個人調査票 3 通を同封、総務・人事担当者を通じて、高度外国人材に配布。回収は、回答者本人から直接郵送。
- ・ 回収数：351 通

2.3.1 高度外国人材の採用状況

- 外国人の高度人材の採用実績があると回答した 348 社のうち、約 1 割が「採用人数を増やす」、約 1 割が「現状維持」、約 5 割が「必要に応じて採用」と多くの企業が高度外国人材の採用に前向きである。
- 本調査結果では、多くの企業がアジア人材を受け入れており、中国国籍者(台湾除く)を雇用している企業は、高度外国人材を雇用している企業の約 7 割に上る。

図 2-11 過去3年間の採用実績 (N=1,338)

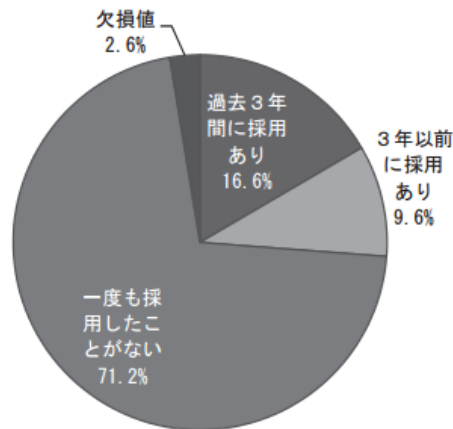


図 2-12 今後の高度外国人材の採用見込み (N=333)

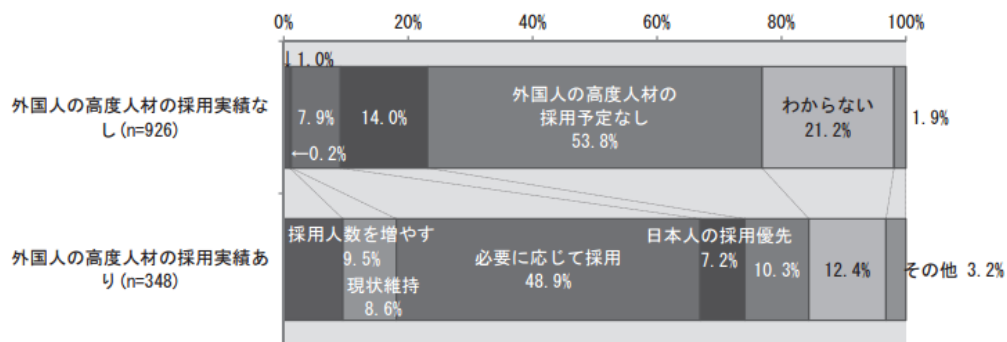
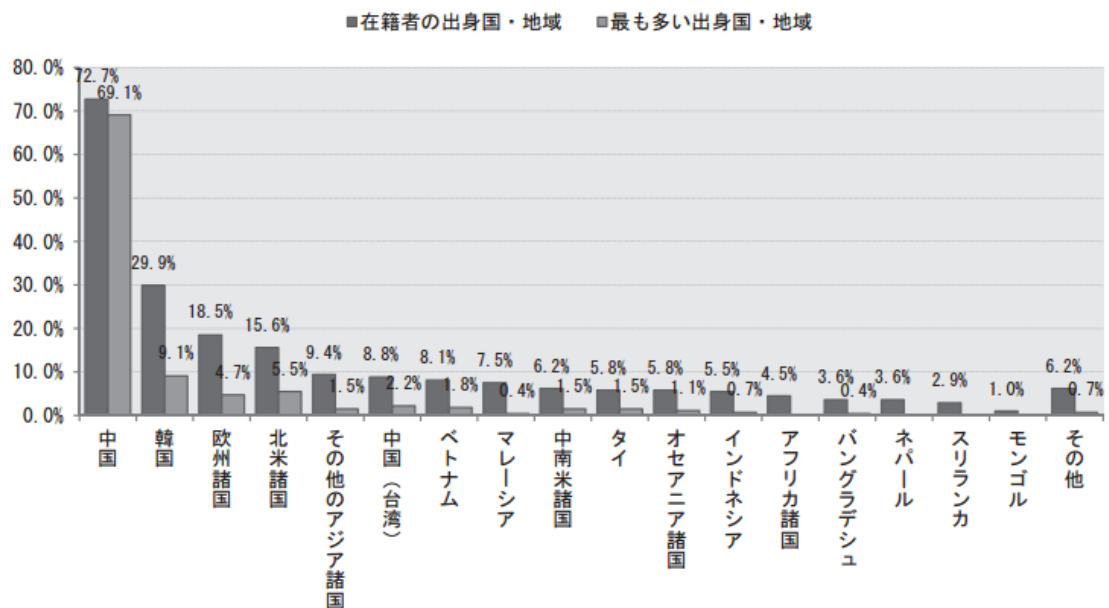


図 2-13 高度外国人材の出身国 (複数回答、N=308) ・最も人数が多い国・地域 (N=275)

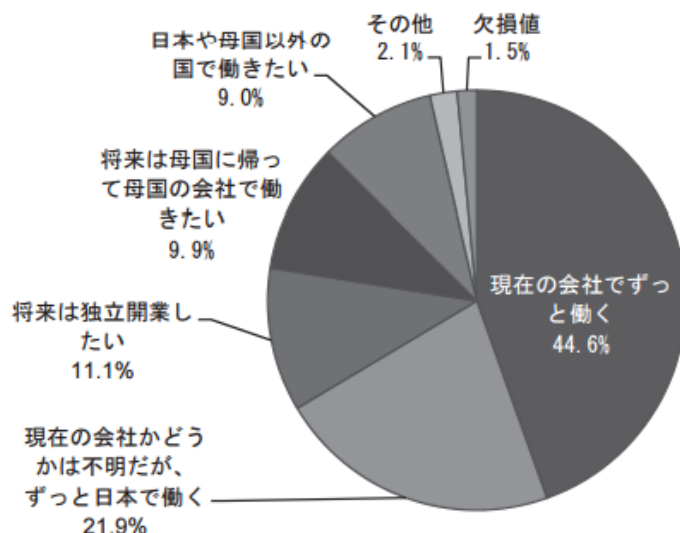


出所) 「企業における高度外国人材の受入と活用に関する調査」独立行政法人労働政策・研修機構 (平成25年5月) より引用

2.3.2 高度外国人人材の将来の働き方への要望

- 「現在の会社ですっと働くつもり」が4割以上など、回答者の6割以上が日本での就労継続を希望している。「ずっと日本で働く」も2割に上るなど、日本での従業意向は高い。
- 以上のことから、少なくとも外国人の高度人材の採用実績を持つ企業は、今後も高度外国人人材の採用に前向きであり、外国人従業者も日本での従業意向は高いと言える。

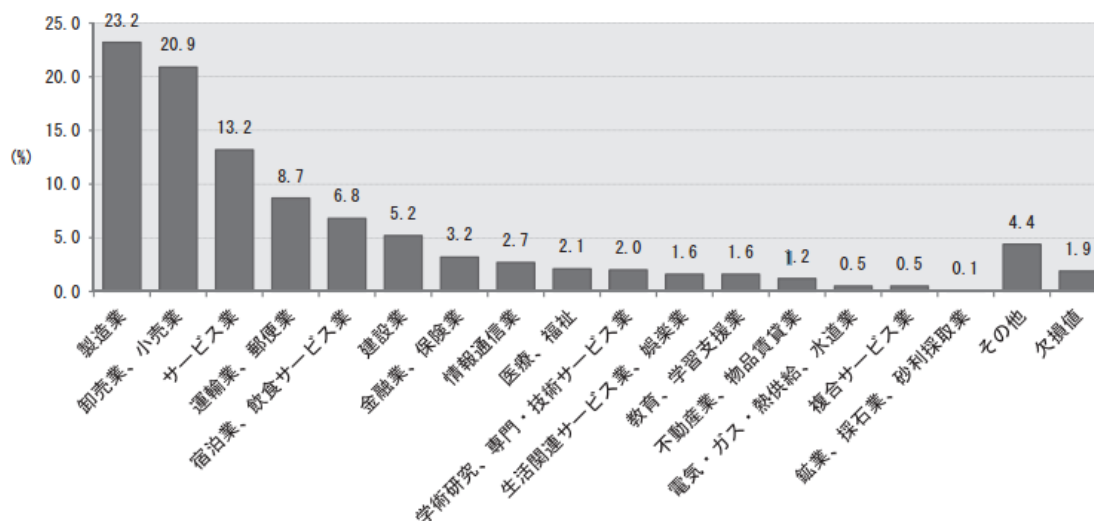
図 2-14 将来の働き方の希望 (N=334)



出所) 「企業における高度外国人材の受入と活用に関する調査」独立行政法人労働政策・研修機構 (平成25年5月) より引用

<参考>企業における高度外国人材の受入と活用に関する調査における回答企業属性

図 2-15 業種



出所) 「企業における高度外国人材の受入と活用に関する調査」独立行政法人労働政策・研修機構 (平成25年5月) より引用

図 2-16 資本金 (N=1,338)

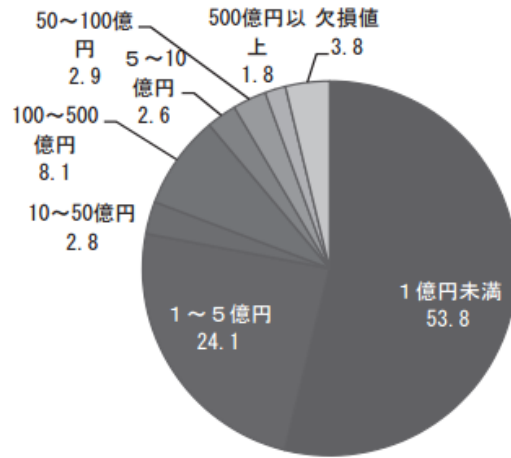


図 2-17 株式公開 (N=1,338)

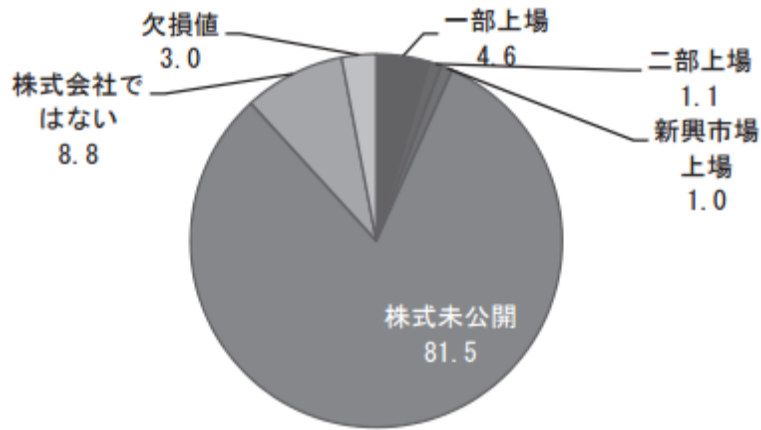
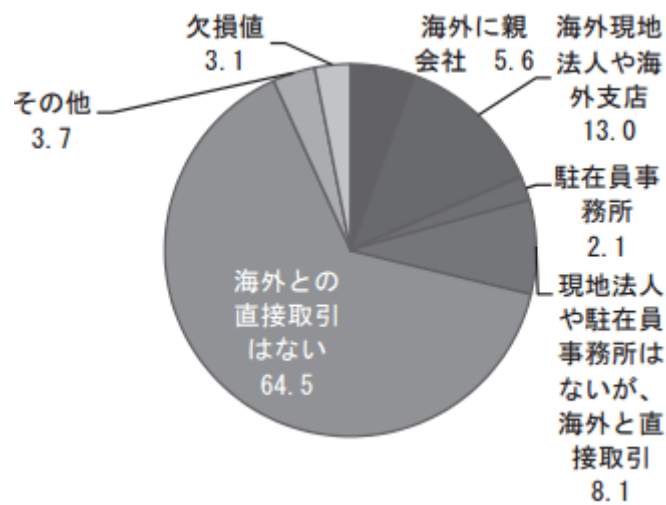


図 2-18 海外展開 (N=1,338)



出所) 「企業における高度外国人材の受入と活用に関する調査」独立行政法人労働政策・研修機構 (平成25年5月) より引用

2.4 外国人の都市・オフィス・居住に対するニーズ

2.4.1 居住環境や住まいに対するニーズ

- 東京都が国家戦略特区構想として公開した提案書によれば、外国人が暮らしやすい都市づくりの取り組みとして、以下4点が示されている。
- 都心部におけるレジデンスや教育、医療機能などが、外国人が求める居住環境と想定される。

表 2-7 外国人が暮らしやすい都市づくり

◆外国人の生活環境整備のための土地利用規制への柔軟な対応
・ 都心部において、レジデンス機能、学校施設、医療施設の導入を図る民間プロジェクトに対し容積率を緩和
◆インターナショナルスクールの充実
・ 学校・校舎の所有要件等の緩和（都による規制緩和）
・ 海外トップスクールの誘致及びインターナショナルスクールに対する法人の寄付税制の創設（税制）
◆外国人向け医療環境の充実
・ 外国人患者対応指導等、外国人医師の「臨床修練制度」の対象の拡充（規制緩和）
・ JCI 認証取得に向けた支援制度の創設
・ 外国語対応救急隊員の養成（都の独自取組）
◆生活コンシェルジュの配置
・ 外国人に対する、情報提供やサービスを提供する生活コンシェルジュを配置

図 2-19 外国人の生活環境整備のための土地利用規制への柔軟な対応

外国人の生活環境整備のための土地利用規制への柔軟な対応（都による規制緩和）																																																																	
◆都心部において、レジデンス機能、学校施設、医療施設など、外国人の生活環境を整備する機能の導入を図る民間プロジェクトに対し、都市再生特別地区等の適用に際して評価し、容積率を緩和する。																																																																	
<p><都市再生特別地区における導入機能の事例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サービスアパートメント： （仮称）大手町1-1計画（120室） （仮称）新鉄鋼ビル（120室） ・ 国際的ビジネスパーソン向けの上質な住宅： 日本橋室町東地区（50戸）等 ・ 外国語対応の子育て支援施設： 東京スクエアガーデン 浜松町二丁目4地区 ・ 外国語対応の医療施設： 大手町フィナンシャルシティ 東京スクエアガーデン（前掲） 浜松町二丁目4地区（前掲） 	<p>（参考：都市再生特別地区の事例） ※ 計画容積率は、導入機能や基盤整備等、複数の都市再生への貢献内容を総合的に評価して定める</p>																																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地区名称</th> <th>指定容積率</th> <th>計画容積率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>丸の内1-1地区（丸の内トラストタワー）</td><td>900%</td><td>1300%</td></tr> <tr><td>大手町地区（大手町フィナンシャルシティ等）</td><td>1200、1300%</td><td>1470、1510、1570、1590、1650%</td></tr> <tr><td>西新橋一丁目7地区（モード学園コクーンタワー）</td><td>1000%</td><td>1370%</td></tr> <tr><td>丸の内2-1地区（丸の内パークビルディング）</td><td>1300%</td><td>1530%</td></tr> <tr><td>大手町一丁目6地区（仮称）大手町1-6計画</td><td>1300%</td><td>1600%</td></tr> <tr><td>日本橋室町東地区（COREDO室町等）</td><td>700、800%</td><td>1300%</td></tr> <tr><td>銀座四丁目6地区（銀座三越）</td><td>700、800%</td><td>1300%</td></tr> <tr><td>渋谷二丁目21地区（渋谷ヒカリエ）</td><td>800、900%</td><td>1370%</td></tr> <tr><td>京橋二丁目16地区（清水建設本社ビル）</td><td>600、800%</td><td>1230%</td></tr> <tr><td>丸の内二丁目7地区（JPタワー）</td><td>1300%</td><td>1630%</td></tr> <tr><td>京橋二丁目3地区（明治館等）</td><td>700、800%</td><td>1330%</td></tr> <tr><td>銀座四丁目12地区（歌舞伎座）</td><td>600、800%</td><td>1220%</td></tr> <tr><td>京橋三丁目1地区（東京スクエアガーデン）</td><td>700、800%</td><td>1290%</td></tr> <tr><td>丸の内一丁目1-12地区（仮称）新鉄鋼ビル</td><td>900%</td><td>1400%</td></tr> <tr><td>銀座六丁目10地区（松坂屋等）</td><td>700、800%</td><td>1360%</td></tr> <tr><td>日本橋二丁目6地区（日本橋高島屋等）</td><td>700、800%</td><td>1400%（400、960、1400、1530、1990%）</td></tr> <tr><td>大手町一丁目1地区（仮称）大手町1-1計画</td><td>1300%</td><td>1400%</td></tr> <tr><td>浜松町二丁目4地区（WTC等）</td><td>600、700%</td><td>1120%</td></tr> <tr><td>渋谷駅地区</td><td>800、900、1000%</td><td>1560、1400%</td></tr> <tr><td>渋谷三丁目21地区</td><td>600、700、800、900%</td><td>1350%</td></tr> </tbody> </table>	地区名称	指定容積率	計画容積率	丸の内1-1地区（丸の内トラストタワー）	900%	1300%	大手町地区（大手町フィナンシャルシティ等）	1200、1300%	1470、1510、1570、1590、1650%	西新橋一丁目7地区（モード学園コクーンタワー）	1000%	1370%	丸の内2-1地区（丸の内パークビルディング）	1300%	1530%	大手町一丁目6地区（仮称）大手町1-6計画	1300%	1600%	日本橋室町東地区（COREDO室町等）	700、800%	1300%	銀座四丁目6地区（銀座三越）	700、800%	1300%	渋谷二丁目21地区（渋谷ヒカリエ）	800、900%	1370%	京橋二丁目16地区（清水建設本社ビル）	600、800%	1230%	丸の内二丁目7地区（JPタワー）	1300%	1630%	京橋二丁目3地区（明治館等）	700、800%	1330%	銀座四丁目12地区（歌舞伎座）	600、800%	1220%	京橋三丁目1地区（東京スクエアガーデン）	700、800%	1290%	丸の内一丁目1-12地区（仮称）新鉄鋼ビル	900%	1400%	銀座六丁目10地区（松坂屋等）	700、800%	1360%	日本橋二丁目6地区（日本橋高島屋等）	700、800%	1400%（400、960、1400、1530、1990%）	大手町一丁目1地区（仮称）大手町1-1計画	1300%	1400%	浜松町二丁目4地区（WTC等）	600、700%	1120%	渋谷駅地区	800、900、1000%	1560、1400%	渋谷三丁目21地区	600、700、800、900%	1350%	
地区名称	指定容積率	計画容積率																																																															
丸の内1-1地区（丸の内トラストタワー）	900%	1300%																																																															
大手町地区（大手町フィナンシャルシティ等）	1200、1300%	1470、1510、1570、1590、1650%																																																															
西新橋一丁目7地区（モード学園コクーンタワー）	1000%	1370%																																																															
丸の内2-1地区（丸の内パークビルディング）	1300%	1530%																																																															
大手町一丁目6地区（仮称）大手町1-6計画	1300%	1600%																																																															
日本橋室町東地区（COREDO室町等）	700、800%	1300%																																																															
銀座四丁目6地区（銀座三越）	700、800%	1300%																																																															
渋谷二丁目21地区（渋谷ヒカリエ）	800、900%	1370%																																																															
京橋二丁目16地区（清水建設本社ビル）	600、800%	1230%																																																															
丸の内二丁目7地区（JPタワー）	1300%	1630%																																																															
京橋二丁目3地区（明治館等）	700、800%	1330%																																																															
銀座四丁目12地区（歌舞伎座）	600、800%	1220%																																																															
京橋三丁目1地区（東京スクエアガーデン）	700、800%	1290%																																																															
丸の内一丁目1-12地区（仮称）新鉄鋼ビル	900%	1400%																																																															
銀座六丁目10地区（松坂屋等）	700、800%	1360%																																																															
日本橋二丁目6地区（日本橋高島屋等）	700、800%	1400%（400、960、1400、1530、1990%）																																																															
大手町一丁目1地区（仮称）大手町1-1計画	1300%	1400%																																																															
浜松町二丁目4地区（WTC等）	600、700%	1120%																																																															
渋谷駅地区	800、900、1000%	1560、1400%																																																															
渋谷三丁目21地区	600、700、800、900%	1350%																																																															
<p>※今後、平成32年度迄に、特区エリア内においてサービスアパートメントを含むレジデンスが11か所5,700戸以上供給予定（民間事業者へのヒアリング）</p>																																																																	

出所) 東京都「国家戦略特区提案書（平成25年9月）」より引用

2.4.2 生活全般に対するニーズ

- 対日直接投資推進会議が決定した「外国企業の日本への誘致に向けた 5 つの約束（2015 年 3 月）」によれば、今後取り組むべき課題として、身の回りの多言語表記や、多言語へのアクセス性向上（WEB）、教育環境の充実があげられている。

図 2-20 外国企業の日本への誘致に向けた 5 つの約束（2015 年 3 月）

一つ目の約束 百貨店・スーパーマーケット・コンビニエンスストア等で外国語で商品を選んで買い物をいただけるよう、病気になったときも外国語で安心して病院で診療いただけるよう、車や電車・バスで移動する際も外国語表記で移動いただけるようにします。
二つ目の約束 訪日外国人が、街中のいろいろな場所で、我が国通信キャリアとの契約無しに、無料公衆無線 LAN を簡単に利用することができるようにします。
四つ目の約束 海外から来た子弟の充実した教育環境の整備を図るとともに、日本で教育を受けた者が英語で円滑にコミュニケーションが取れるようにします。

出所) 対日直接投資推進会議決定「外国企業の日本への誘致に向けた 5 つの約束（2015 年 3 月 17 日）」より引用

- 東京都が国家戦略特区構想として公開した提案書によれば、東京の国際化を目指して、以下 5 点に取り組むことが示されている。

表 2-8 24 時間活動する国際都市としての環境整備

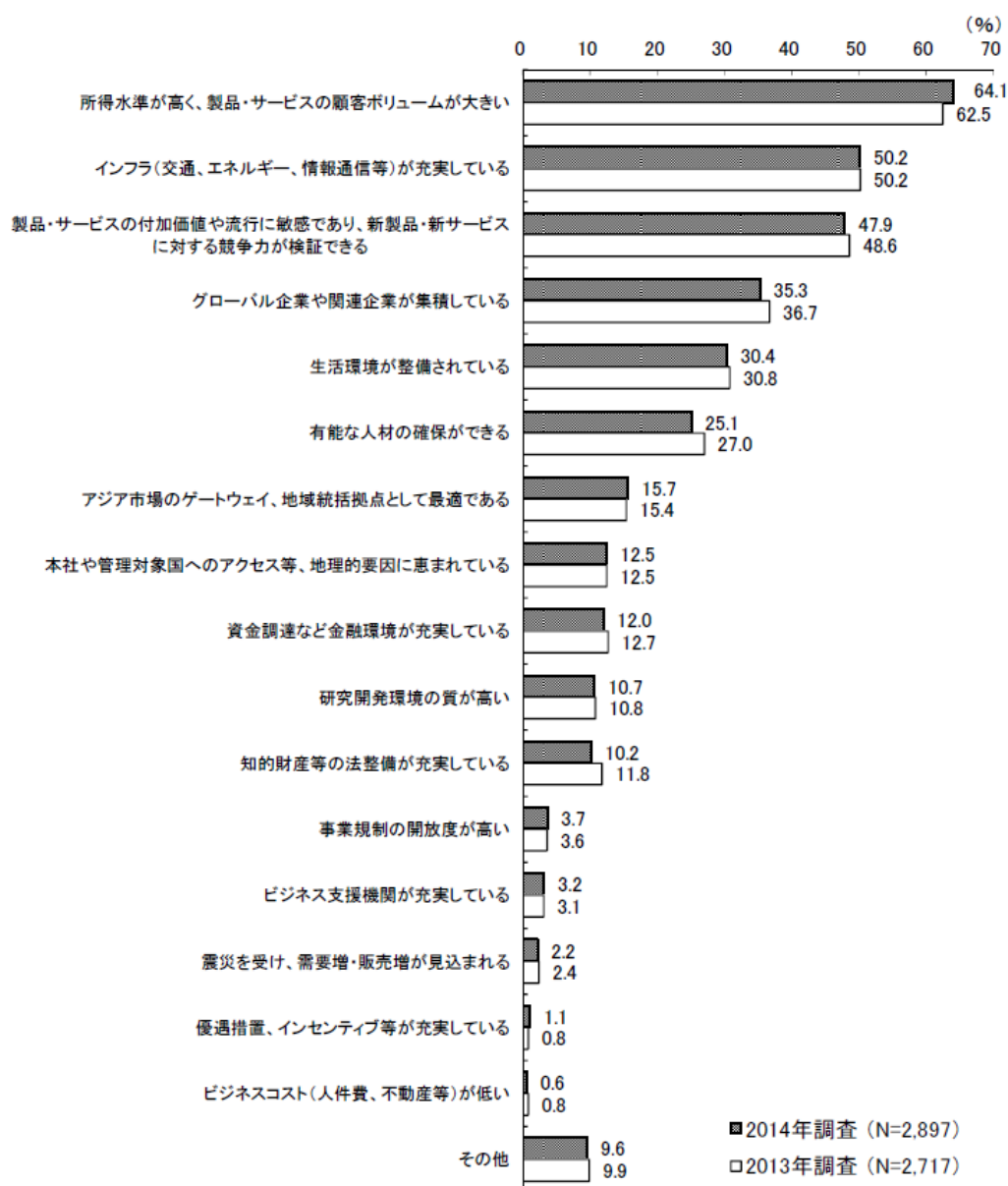
<ul style="list-style-type: none">◆総合的な交通体系の整備<ul style="list-style-type: none">・ 都営バス六本木・渋谷間等の終夜運行・ 地下鉄の運行時間の拡大・ 地下鉄の一元化◆時間市場開発の推進<ul style="list-style-type: none">・ 美術館・コンサートホール等の集客施設の開館時間の延長・ 国家戦略としての「標準時間 2 時間前倒し」の検討（米ニューヨーク市場が終わる時にアジア最大の東京市場が開くようにして、外資系金融機関のアジア拠点を香港やシンガポールから日本に呼び戻すことを狙った施策）◆外国通貨を使いやすい環境整備<ul style="list-style-type: none">・ 海外発行キャッシュカードで利用可能な ATM の拡充・ 外貨両替業務に関する報告義務の緩和（規制緩和）◆MICE・IR の整備<ul style="list-style-type: none">・ カジノに係る法整備とカジノ開設エリアとしての指定（規制緩和）◆2020 年東京オリンピック・パラリンピックを見据えた環境整備
--

出所) 東京都「国家戦略特区提案書（平成 25 年 9 月）」より作成

2.4.3 都市環境やビジネス環境

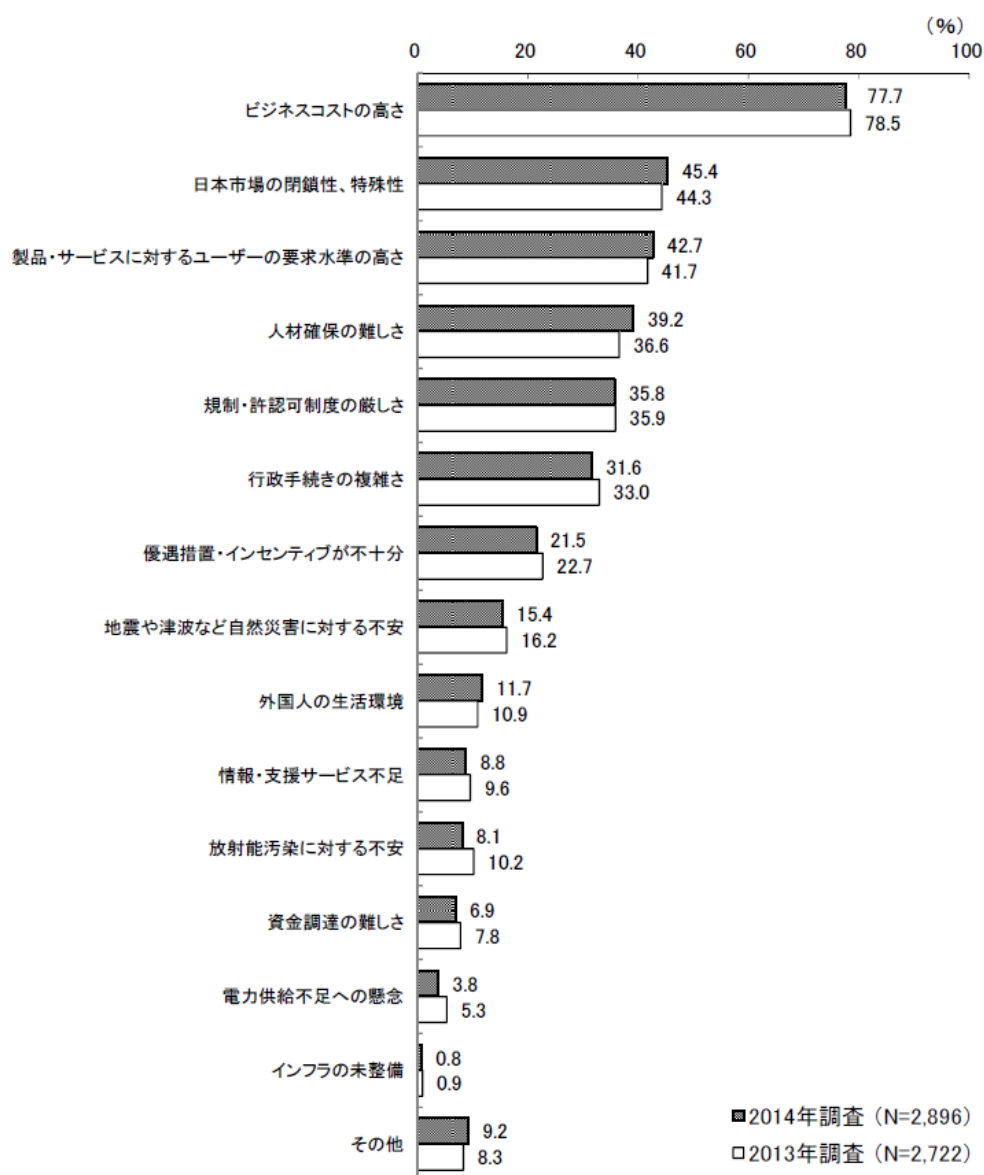
- 経済産業省「外資系企業動向調査（2014年調査）」によれば、日本で事業活動を行う上でのビジネスの魅力は、「所得水準が高く、製品・サービスの顧客ボリュームが大きい」、「インフラ（交通、エネルギー、情報通信等）が充実している」が5割を超えている。
- 日本で事業活動を行う上での阻害要因は「ビジネスコストの高さ」が最も大きく、「日本市場の閉鎖性、特殊性」が続く。

図 2-21 日本で事業展開する上での魅力（複数回答：上位5つまで）



出所) 経済産業省「<速報>第48回外資系企業動向調査(2014年調査)の概況」より引用

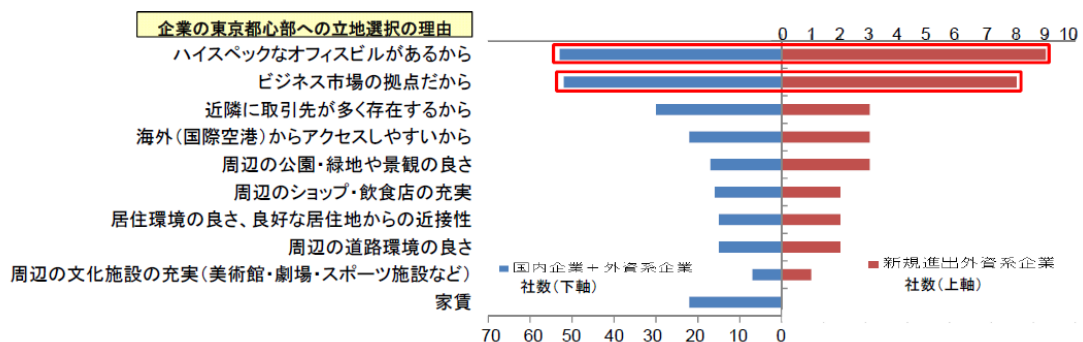
図 2-22 日本で事業展開する上での阻害要因（複数回答：上位5つまで）



出所) 経済産業省「<速報>第48回外資系企業動向調査(2014年調査)の概況」より引用

- 一方で、東京の大規模ビルに新規進出した外資系企業が現在の地域に進出を決めた主な進出理由としては、オフィスビルのスペックの高さ、ビジネス市場の拠点性等を挙げる回答が多く、経済集積やオフィスビルのスペックは評価を受けていることがわかる。
- なお、一人当たりのオフィス面積について、世界の諸都市と比較すると、東京は11.9㎡であり、香港、ニューヨーク、ロンドンなどのランキング上位都市よりも広い。
- オフィスビルの量、質はもちろんであるが、下図にみられるよう海外からのアクセス性、オフィス周辺の公園・緑地・景観の充実、ショップ飲食店の充実など、都市としての魅力の向上が求められている。

図 2-23 企業の東京都心部への立地選択の理由

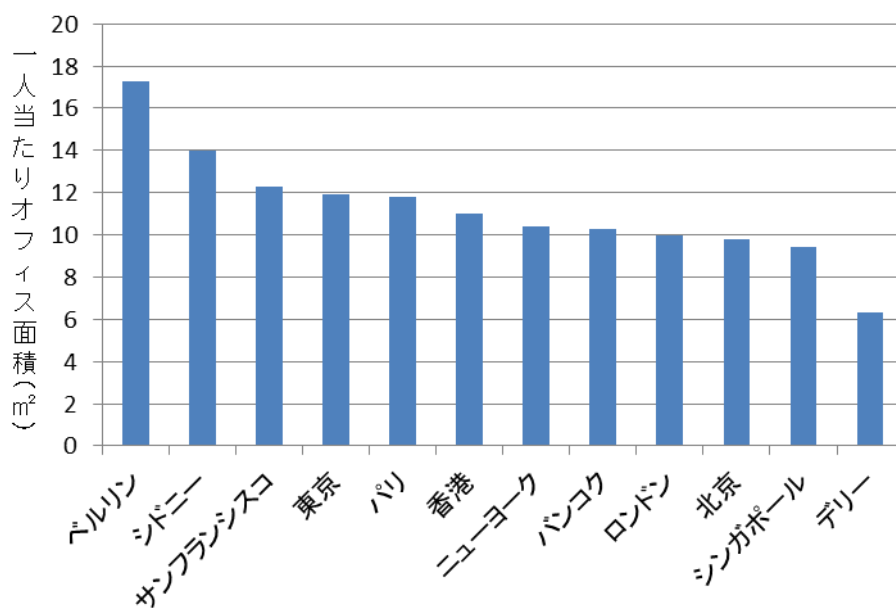


注) 元出典は以下の通り。

国土交通省都市・地域整備局「都市の国際競争力強化のための集中的かつ重点的な支援策のあり方に関する調査報告書」(平成22年度)より都市局作成

出所) 国土交通省大都市戦略検討委員会(第2回)「資料2-1 都市の国際競争力・都市再生」(平成27年3月)より引用

図 2-24 一人当たりオフィス面積(標準)



出所) DTZ Research「DTZ's Global Occupier Metrics」より作成

3. 外国人ビジネスパーソンアンケート調査の実施

グローバル化に伴い日本企業が外国で、外国企業が日本で事業活動を行うことは、特別な選択肢ではなくなりつつある。東京などの大規模な経済圏を複数有する日本は、有望なマーケットとして、アジア成長を牽引する拠点的作用を果たしてきた。しかし、アジア諸国の成長とそれに伴う急速な都市の発展により、グローバルな都市間での競争が激化し、昨今、東京の相対的な地位の低下が顕著となっている。

東京をはじめとする大都市が国際競争力を高め、競争するアジア諸都市とともに、更なる発展・成長を遂げるためにも、日本人、外国人の垣根なく、ビジネスでの活躍やそれによる経済の活発化を促し、かつ、豊かで充実した生活をおくることができるよう都市の力を高めていくことが望まれる。

本調査では、これらのヒントを得るため、日本の特に東京及びその周辺で従業する外国人ビジネスパーソンを対象に、現在の都市やオフィス、居住環境等のニーズを把握することを目的として、アンケート調査を実施した。

3.1 調査概要

3.1.1 調査目的

都市・オフィス・居住環境等に関して、外国人ビジネスパーソンの日本における生活及び、ビジネスの現状と要望、ニーズを把握、分析し、東京をはじめとする我が国の大都市が今後一層、魅力を増し、国際的な競争力を高めていくための取り組みを考察するための基礎資料とする。

3.1.2 調査内容

- ① 外国人ビジネスパーソンが選ぶ世界で最も住みたい都市及び東京に対する評価と魅力向上のための諸方策
- ② 日本での生活や仕事における外国人ビジネスパーソンのニーズや課題
- ③ 住まい・居住環境に関する外国人ビジネスパーソンのニーズの特徴

3.1.3 調査方法

調査は、インターネットを介したオンラインアンケート手法で実施した。調査票は日本語、英語を選択できることとした。また、調査対象は以下のとおりである。

- ・ 東京都及び神奈川県在住の外国人勤務者
※ 特に東京 23 区内に居住する回答者を多く集められるよう工夫した。

3.1.4 回収結果

有効回答数：223 票

調査期間は、2015 年 6 月 5 日（金）から同年 6 月 19 日（金）まで。

3.2 調査結果

各設問の回答結果を整理した。

3.2.1 回答者の概要

1) 性別・年齢

- 回答者の性別は、「男性」が40.4%、「女性」が59.6%であった。
- 回答者の年齢は、「20才代」(48.9%)が最も多く、次いで「30才代」(43.9%)であった。

図 3-1 性別 (SA¹)

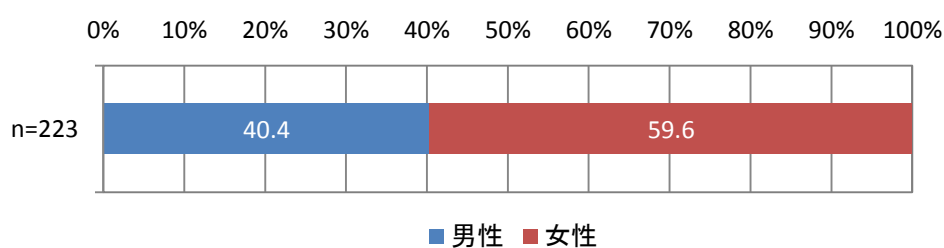
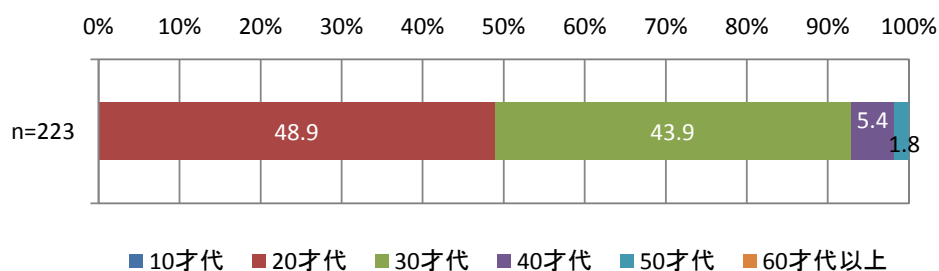


図 3-2 年齢 (SA)



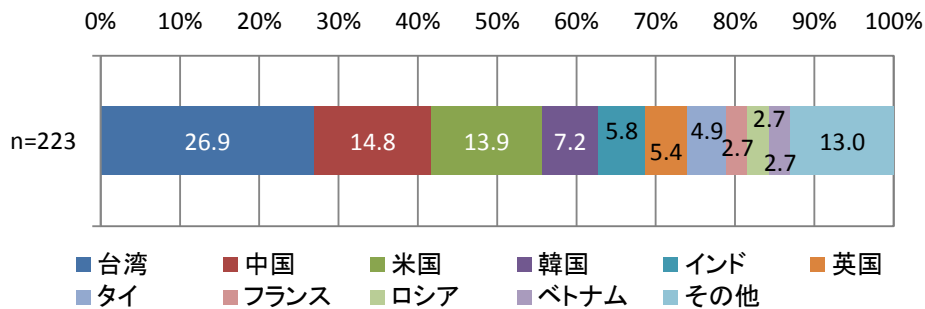
¹ SA (single answer) : 単一回答設問のことを指す。

2) 出身国（地域）・ホームタウン（本拠地と認識している国（地域））・母国語

a. 出身国（地域）

- 回答者の出身国（地域）は、「台湾」（26.9%）、「中国」（14.8%）、「米国」（13.9%）の上位3か国で50%を占めている。次いで、「韓国」（7.2%）、「インド」（5.8%）、「英国」（5.4%）であった。

図 3-3 出身国（地域）（SA）



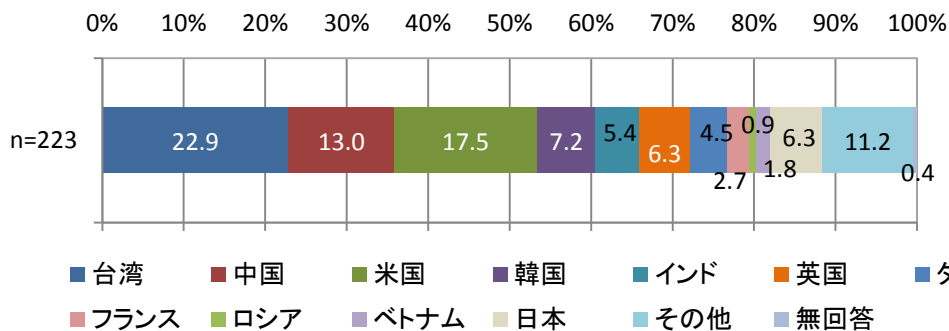
注) 「その他」の内訳は次のとおり。フィリピン（1.8%）、カナダ、トルコ（各1.3%）、インドネシア、ウズベキスタン、シンガポール、マレーシア（各0.9%）、イタリア、ウクライナ、オーストラリア、スウェーデン、スペイン、チュニジア、ドイツ、ベナン、メキシコ、マルタ、ルクセンブルグ（各0.4%）。

注) 国（地域）名は法務省在留外国人統計に準じた。

b. ホームタウン（本拠地と認識している国（地域））

- 回答者のうち、「台湾」を自分のホームタウンだと感じている回答者の割合が最も多く（22.9%）、次いで「米国」（17.5%）、「中国」（13.0%）、「韓国」（7.2%）、「英国」（6.3%）となった。
- 出身国（地域）の回答と比べ、「米国」をホームタウンと回答する回答者が増えている。

図 3-4 ホームタウン（本拠地と認識している国（地域））（SA）

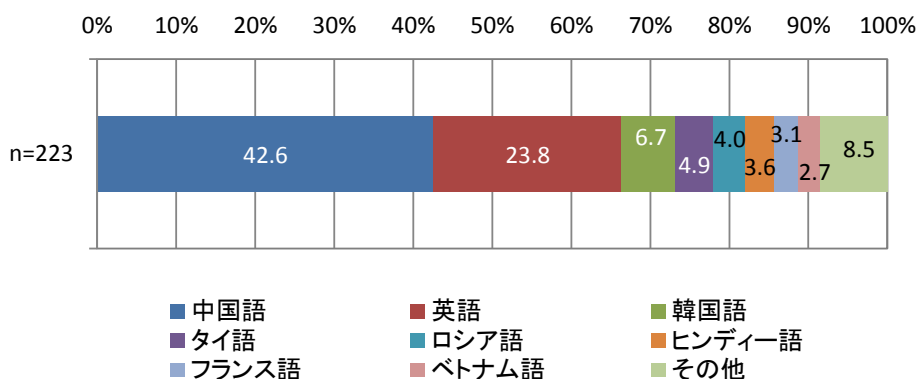


注) 「その他」の内訳は次のとおり。カナダ、トルコ、フィリピン（各1.3%）、ウズベキスタン、シンガポール、マレーシア、ロシア（各0.9%）、イタリア、インドネシア、ウクライナ、オーストラリア、スペイン、中国、ドイツ、ベナン、マルタ、メキシコ（各0.4%）。

c. 母国語

- 回答者のうち、42.6%が「中国語」を母国語とし、次いで「英語」が23.8%であった。

図 3-5 母国語（記述回答）

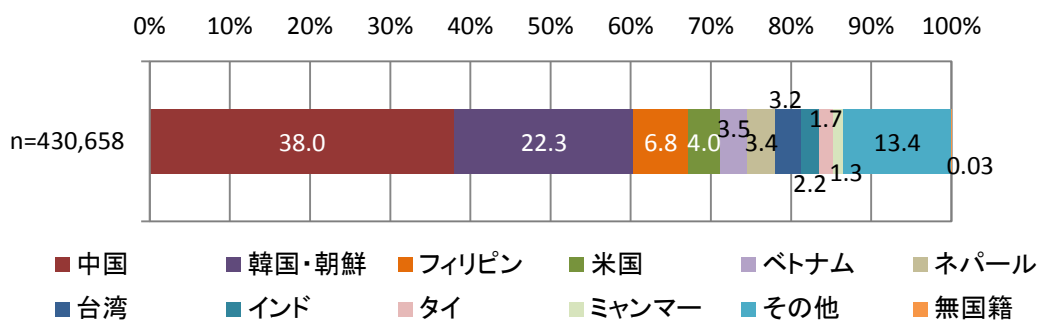


注) 「その他」の内訳は次のとおり。トルコ語 (1.3%)、インドネシア語、カンナダ語、スペイン語、ドイツ語、フィリピン語 (各 0.9%)、アラビア語、イタリア語、スウェーデン語、テルグ語、ベンガル語、日本語 (各 0.4%)。台湾語は中国語に含めた。

<参考> 東京都の在留外国人数

- 法務省の都道府県別在留外国人統計によれば、東京都の在留外国人数は、「中国」(38.0%)、「韓国」・「朝鮮」(22.3%)、「フィリピン」(6.8%)、「米国」(4.0%)、「ベトナム」(3.5%)、「ネパール」(3.4%)、「台湾」(3.2%)、「インド」(2.2%)、「タイ」(1.7%)、「ミャンマー」(1.3%)の順である。
- なお、在留外国人数とは、日本国内で勤務する外国人やその配偶者と子弟、日本に留学する学生も含まれる。

図 3-6 2014年12月 在留外国人統計



出所) 法務省 都道府県別 国籍・地域別 在留外国人統計 (2014年12月末)

<参考> 在留外国人の定義

在留外国人 : 中長期在留者及び特別永住者

中長期在留者 : 出入国管理及び難民認定法上の在留資格をもって我が国に中長期間在留す

る外国人のうち、次の①から④までのいずれにもあてはまらない者である。
 なお、次の⑤及び⑥の者も中長期在留者ではない。

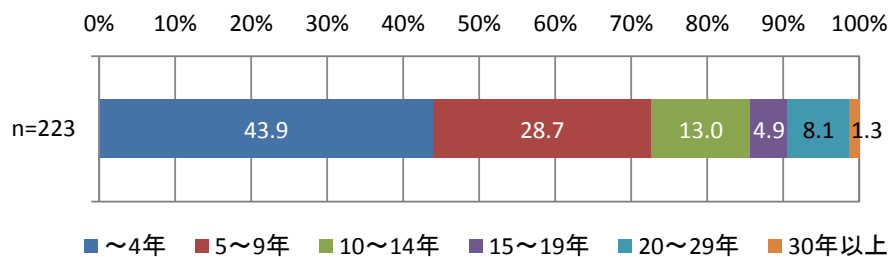
- ① 「3月」以下の在留期間が決定された者
- ② 「短期滞在」の在留資格が決定された者
- ③ 「外交」又は「公用」の在留資格が決定された者
- ④ ①から③までに準じるものとして法務省令で定める者（「特定活動」の在留資格が決定された、亜東関係協会の本邦の事務所若しくは駐日パレスチナ総代表部の職員又はその家族）
- ⑤ 特別永住者
- ⑥ 在留資格を有しない者

3) 勤務年数

a. 勤務年数（合計）

- 回答者の勤続年数（合計）は「4年以下」の割合が最も多く（43.9%）、次いで「5~9年」（28.7%）、「10~14年」（13.0%）であった。

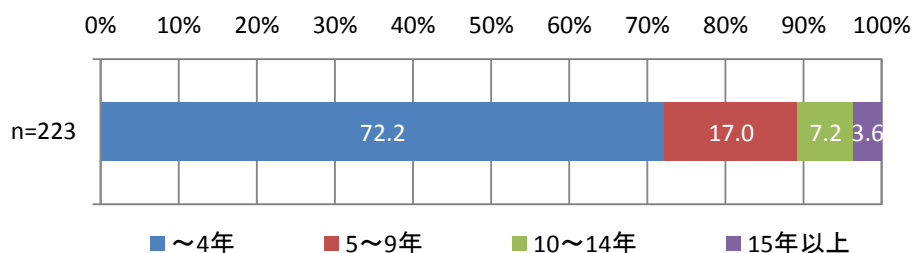
図 3-7 勤務年数（合計）（記述回答）



b. 勤務年数（うち日本で働いた年数）

- 回答者の勤続年数（うち日本で働いた年数）は「4年以下」の割合が最も多く（72.2%）、次いで「5~9年」（17.0%）、「10~14年」（7.2%）であった。

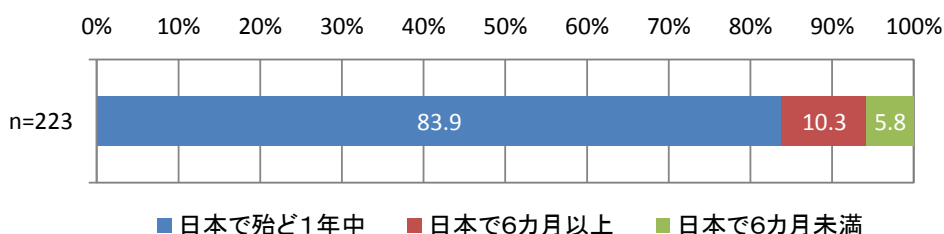
図 3-8 勤務年数（うち日本で働いた年数）（記述回答）



4) 1年間のうち日本で働いている期間

- 1年のうち日本で働いている期間について、83.9%が「日本で殆ど1年中」と回答した。「日本で6か月以上」は10.3%、「日本で6か月未満」は5.8%であった。

図 3-9 1年間のうち日本で働いている期間 (SA)

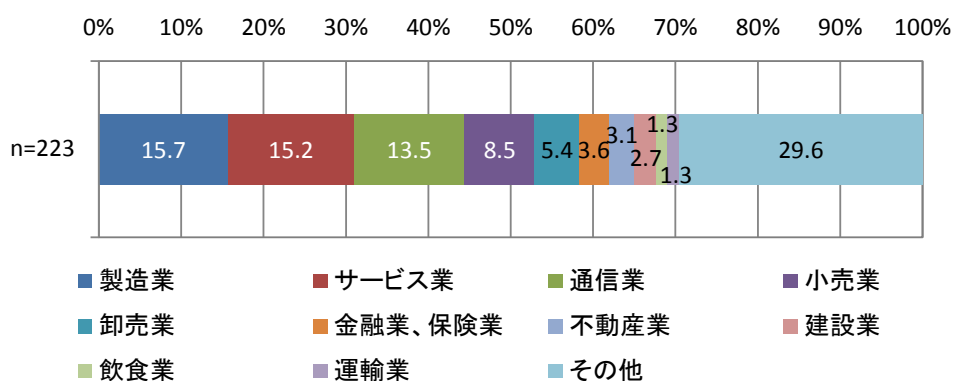


5) 勤務先の業種・職種

a. 勤務先の業種

- 回答者の勤務先の業種は、「製造業」に従事するものの割合が最も多く (15.7%)、次いで、「サービス業」 (15.2%)、「通信業」 (13.5%) であった。

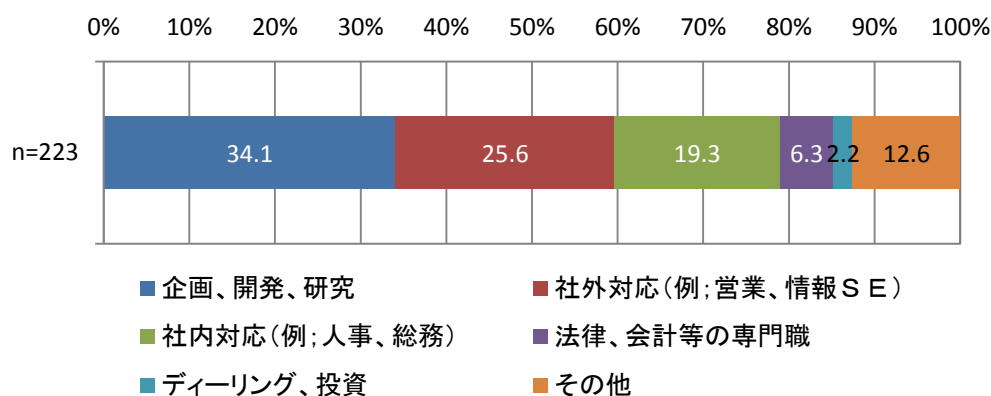
図 3-10 勤務先の業種 (SA)



b. 現在の主な職種

- 回答者の現在の主な職種について尋ねたところ、「企画、開発、研究」に従事している者の割合が最も多く (34.1%)、次いで、「社外対応 (例; 営業、情報 S E)」 (25.6%)、「社内対応 (例; 人事、総務)」 (19.3%) であった。

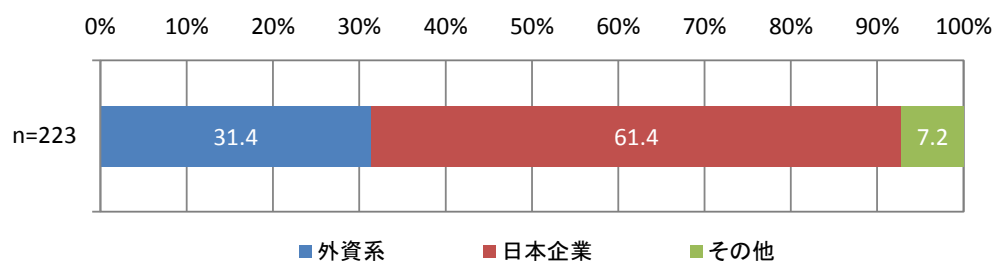
図 3-11 勤務先の主な職種 (SA)



c. 職業

- 回答者のうち、31.4%が「外資系企業」に勤める回答者、61.4%が「日本企業」に勤める回答者であった。
- 回答者の職業について、「外資系企業」に勤務している回答者の中では、「技術職 (IT スタッフ、エンジニアなど) 」 (11.2%)、「事務職」 (6.3%)、「専門職 (弁護士、医師、教員など) 」 (4.9%)が多く、「日本企業」に勤務している回答者の中では、「事務職」 (20.6%)、「技術職 (IT スタッフ、エンジニアなど) 」 (12.6%)、「営業職 (セールスマンなど) 」 (11.2%)の割合が多かった。

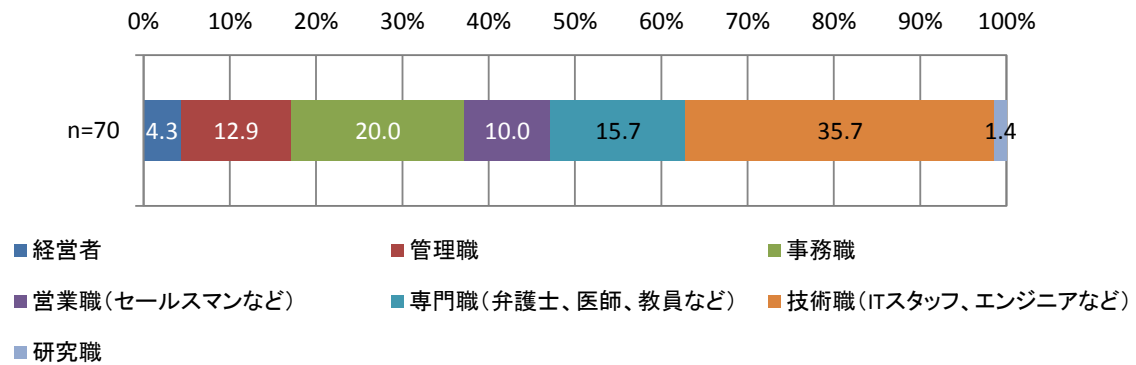
図 3-12 勤務先の内訳 (SA)



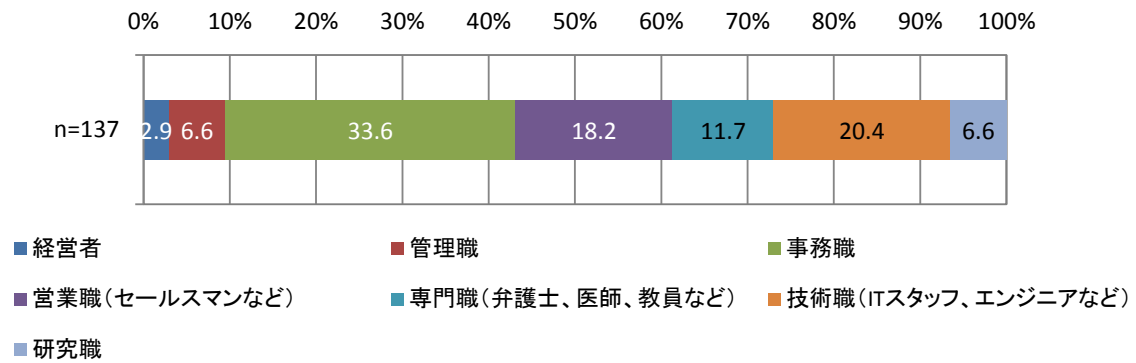
注) 「その他」には、自営業、個人事業主、教職等の職種が含まれる。

図 3-13 回答者の現在の職業 (SA)

外資系企業勤務者



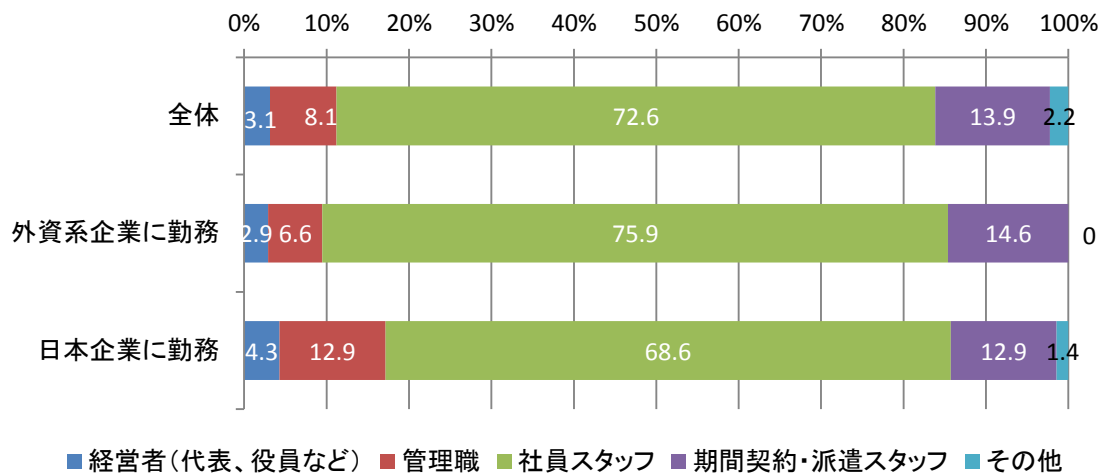
日本企業勤務者



d. 職階・雇用形態

- 回答者の職階・雇用形態は、「社員スタッフ」が最も多く 72.6%を占めている。「経営者 (代表、役員など)」は 3.1%、「管理職 (部長、課長など)」は 8.1%であった。

図 3-14 職階・雇用形態 (SA)



注) 「その他」の内訳は次のとおり。教育関連 (2票)、番組制作、ミュージシャン、デザイナー (各 1票)

3.2.2 「世界で最も住みたい都市」と東京との比較及び魅力向上策

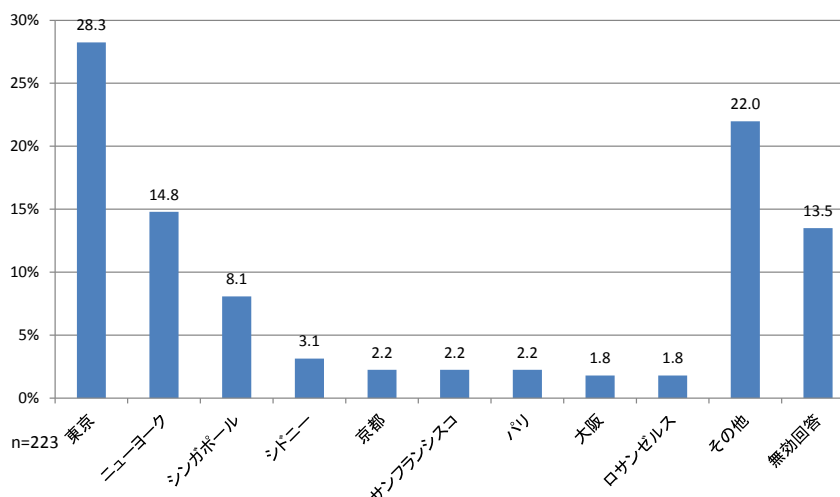
1) 世界で最も住みたい都市（ランキング）

- 回答者に、世界で最も住みたい都市を記述回答形式で尋ねたところ、「東京」が最も多く（28.3%）、次いで、「ニューヨーク」（14.8%）、「シンガポール」（8.1%）の順となった。
- 世界の都市を評価した主なランキング調査において、経済力を重視したランキングでは、ロンドンやニューヨークが上位にランクされている。また、駐在員の住みやすさを主な評価指標としたランキングではウィーンやチューリヒが上位に入っている。
- 本調査で東京が1位となったのは、本調査が在日勤務者を対象としており、世界の他の都市よりも東京をよく知っている人が比較的多かったことが要因の一つとして考えられる。

表 3-1 主な世界の都市ランキング調査

既往調査	1位	2位	東京
世界の都市総合力ランキング 2014 (森記念財団)	ロンドン	ニューヨーク	4位
Cities of Opportunity 6 - 世界の都市力 比較 2014 (PwC)	ロンドン	ニューヨーク	13位
Global Cities Index and Global Cities Outlook 2015 (A.T. Kearney)	ニューヨーク	ロンドン	4位
世界生活環境レポート 2015 (Quality of Living Survey 2015) (マーサー)	ウィーン	チューリヒ	44位

図 3-15 世界で最も住みたい都市ランキング（記述回答）



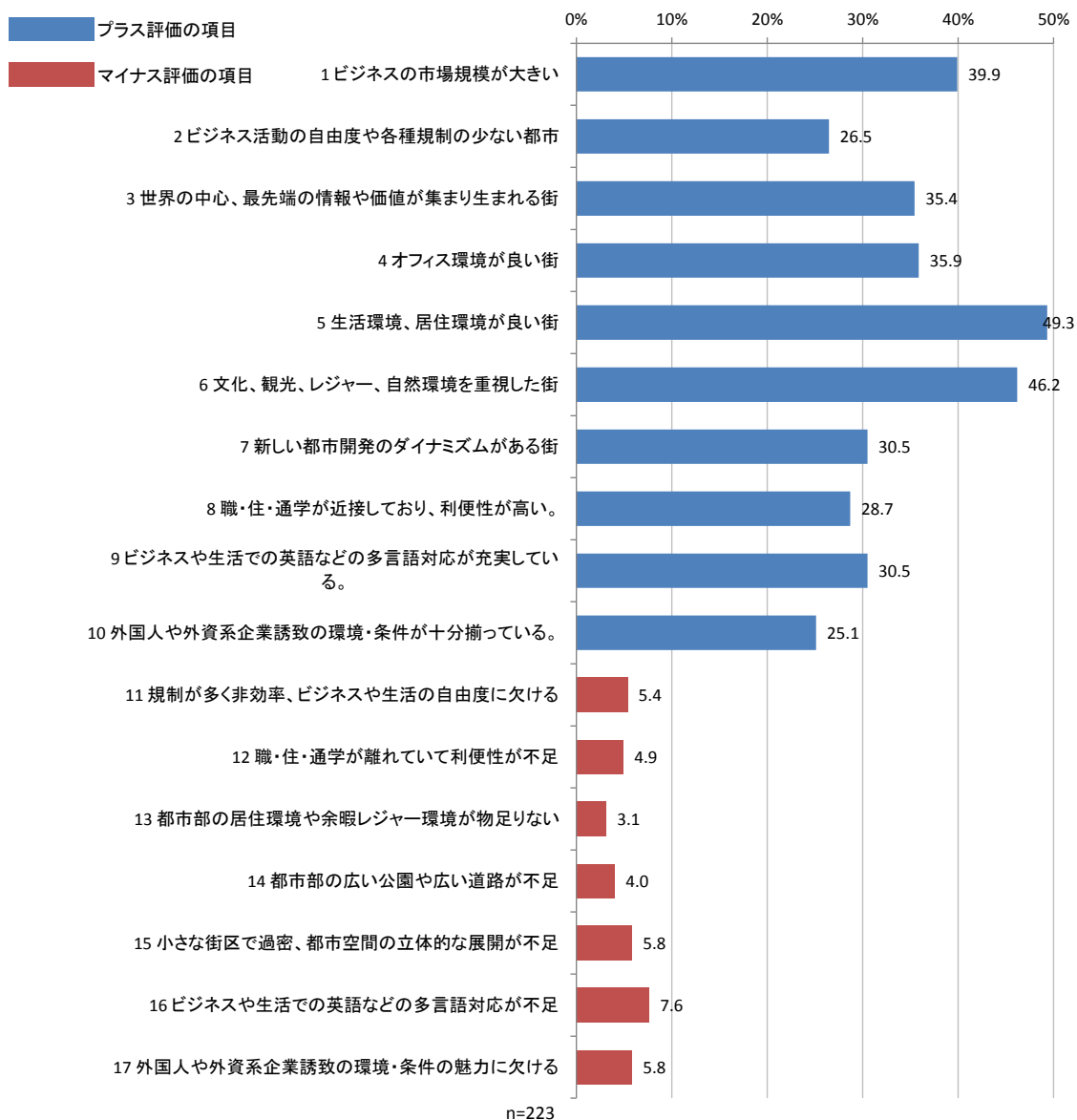
注) 「その他」の内訳は以下のとおり。

台北、バンコク、メルボルン、ロンドン（各 1.3%）、ウィーン、サンディエゴ、シアトル、バンクーバー、北京、ローマ（0.9%）、アーバイン（カリフォルニア）、イスタンブール、小樽、クアラルンプール、札幌、サンチャゴ（チリ）、サンパウロ、静岡、上海、ジュネーブ、ストックホルム、ソウル、台南（台湾）、ニューデリー、ハーグ、パース、バルセロナ、武漢、ベルリン、ホノルル、モスクワ、横浜（各 0.4%）。国名、地域名が書かれている場合は「無効回答」とした。「無効回答」の内訳は以下のとおり。日本（2.2%）、米国、オランダ、沖縄（各 1.3%）、スカンジナビア地域、マレーシア（各 0.9%）、英国、大田区、カリフォルニア、ギリシャ、シリコンバレー、スイス、スウェーデン、台湾、ドイツ、ニュージーランド、ハワイ、北海道（各 0.4%）。

2) 世界で最も住みたい都市についての評価

- 回答者が世界で最も住みたいと回答した都市をどう評価しているか尋ねたところ、1位は「5：生活環境・居住環境が良い街」（49.3%）となっており、生活面の良さが不可欠な要素と見て取れる。
- 次いで、「6：文化、観光、レジャー、自然環境を重視した街」（46.2%）、「1：ビジネスの市場規模が大きい」（39.9%）、「4：オフィス環境が良い街」（35.9%）、「3：世界の中心、最先端の情報や価値が集まり生まれる街」（35.4%）となっている。

図 3-16 世界で最も住みたい都市の評価（回答した都市に関わらず集計）（MA²）

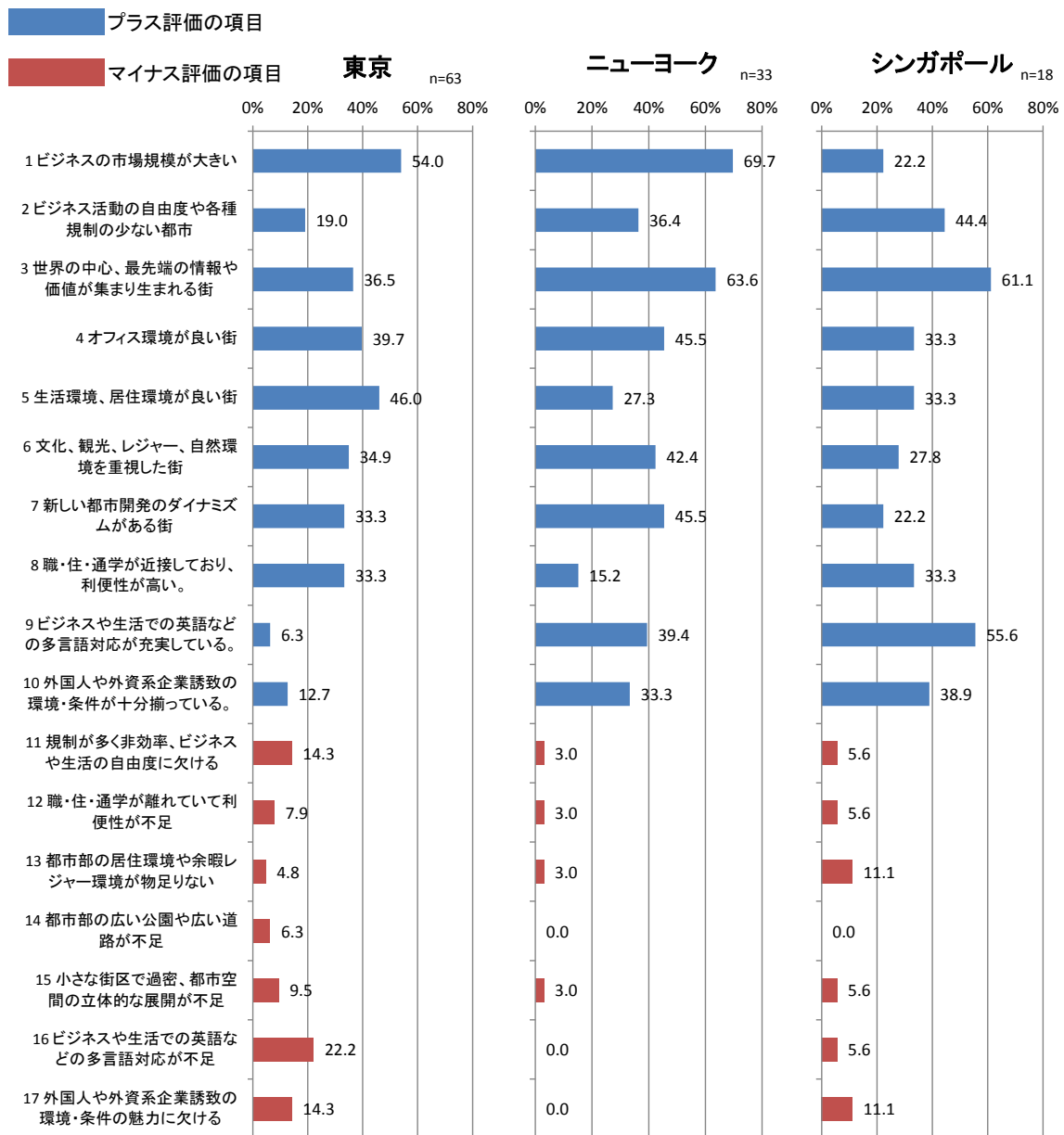


注) 回答者の回答した都市によらず「世界で最も住みたい都市」の評価項目を単純に集計したものである。

² MA (Multiple answer) :複数回答設問のことを指す。

- 最も住みたい都市の上位3都市は、「東京」、「ニューヨーク」、「シンガポール」であった。
- それぞれの都市を評価する理由について比較したところ、東京は経済規模や、オフィス環境、生活環境、文化、レジャー、自然環境等の面で評価が高かった。
- 一方、ICTに代替されることなく、人や企業がそこに集まらなければ得られない価値に繋がる「3：世界の中心、最先端の情報や価値が集まり生まれる街」については、他の2都市に比べて大きく劣後する結果となった。
- また、英語などの多言語環境や、外国人や外資系企業誘致の環境条件についても、他の2都市と比較して、非常に評価が低い。

図 3-17 最も住みたい都市上位3都市を選んだ回答者のその都市に対する評価の比較



- 世界で最も住みたいと思った都市を評価する理由について、記述回答から特徴を整理した。選んだ都市を評価する理由は、大別すると自然や文化、国際性も含めた「生活環境」と、ビジネス機会の多さや経済発展といった「仕事環境」との二つに分類できる。
- 東京は、生活環境を評価する回答が多く、高度なインフラや安全安心、清潔といった回答が多く見られた。一方、仕事環境では、日本の経済の中心という位置づけに留まり、ニューヨークが世界経済の中心、世界中の情報が集まるといった回答が多いのと対照的であった。

表 3-2 最も住みたいと思った都市の評価理由（記述回答）

都市名	主な評価内容
東京	生活環境を評価した回答が多かった。 【生活環境】：「住みやすい」「（公共交通機関や買い物が）便利だ」「清潔」「安全」 【仕事環境】：「先進国」「日本の経済の中心」「ビジネスチャンスが多い」
ニューヨーク	生活環境・仕事環境の双方で評価していた。 【生活環境】：「多文化」「自然がある」「英語が使える」 【仕事環境】：「世界の経済の中心である」「世界中の情報が集まる」「ビジネスチャンスが多い」
シンガポール	生活環境を評価した回答が多かった。 【生活環境】：「多文化」「アジアでありながら英語が使える」「気候がよい」 【仕事環境】：「ビジネスの規模が大きい」「ビジネスの規制が少ない」
サンフランシスコ	生活環境を評価した回答が多かった。 【生活環境】：「きれい」「住みやすい」 【仕事環境】：「有名で新規性のある企業が多い」
シドニー	生活環境を評価した回答が多かった。 【生活環境】：「国際性」「気候」「建築物・インフラがよい」 【仕事環境】：「スキルを持った外国人の受け入れ」
パリ	生活環境と仕事環境の双方が評価されていた。 【生活環境】：「街の雰囲気」「ファッション」 【仕事環境】：「ワーク・ライフ・バランスの実現」

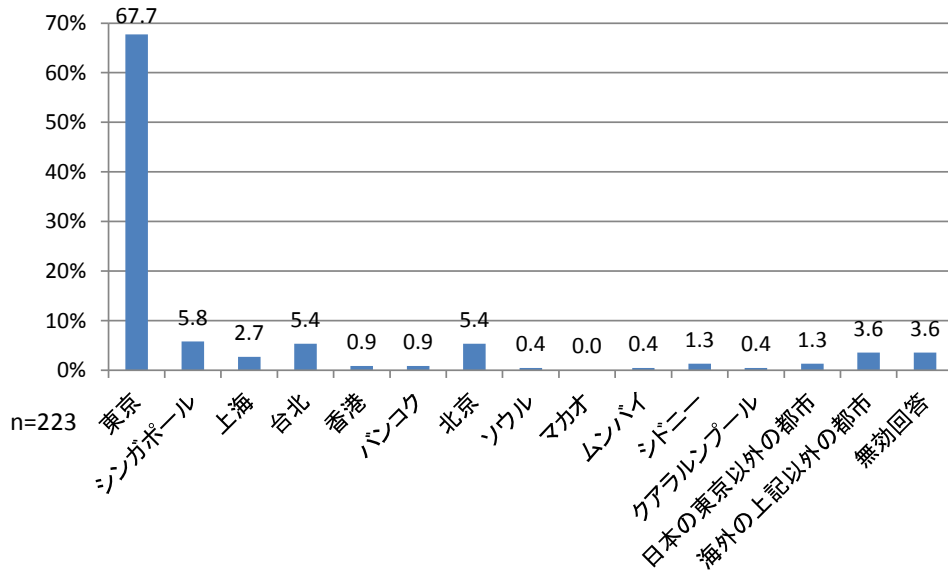
3) 所属企業のアジア・オセアニアにおける中心拠点都市

- 所属企業のアジア・オセアニアにおける中心拠点の所在について、「東京」が 67.7%と最も多く、次いで「シンガポール」が 5.8%、「上海」及び「台北」が 5.4%の順となった。
- 回答者のうち、外資系企業に勤める回答者が所属する企業の中心拠点は、55.7%が「東京」、15.7%が「シンガポール」という結果となり、シンガポールがやや増加した。
- また、回答者が想定する自社の 10 年後の中心拠点都市について、「東京」が 54.3%、「シンガポール」が 13.5%、「上海」が 10.8%の順となり、東京が現在と比べ大きく減少している。日本企業に勤める回答者が 61.4%を占める中、シンガポールや上海等への移転を示唆する結果となった。
- また外資系企業に勤務する回答者の中でも、自社の 10 年後の中心拠点都市について、「東京」が現在と比べ大きく減少し、「シンガポール」、「上海」が 10 年後の中心

拠点都市となると予想した人が現在と比較して増加していた。

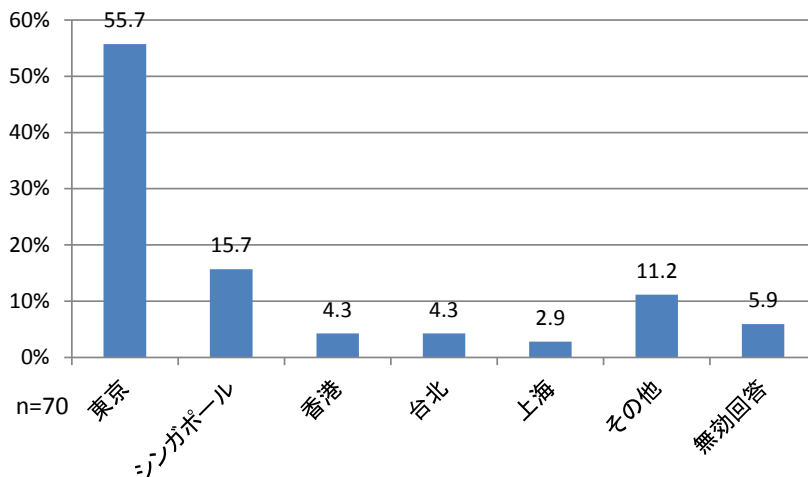
- 中心拠点がその都市にある理由としては、「その国や都市の経済・市場規模の大きさ」が46.2%と最も多く、次いで「昔から中心拠点がその都市にあるから」(30.9%)、「その国の経済成長への期待」(21.1%)の順となっている。

図 3-18 所属企業のアジア・オセアニアにおける中心拠点都市 (SA)



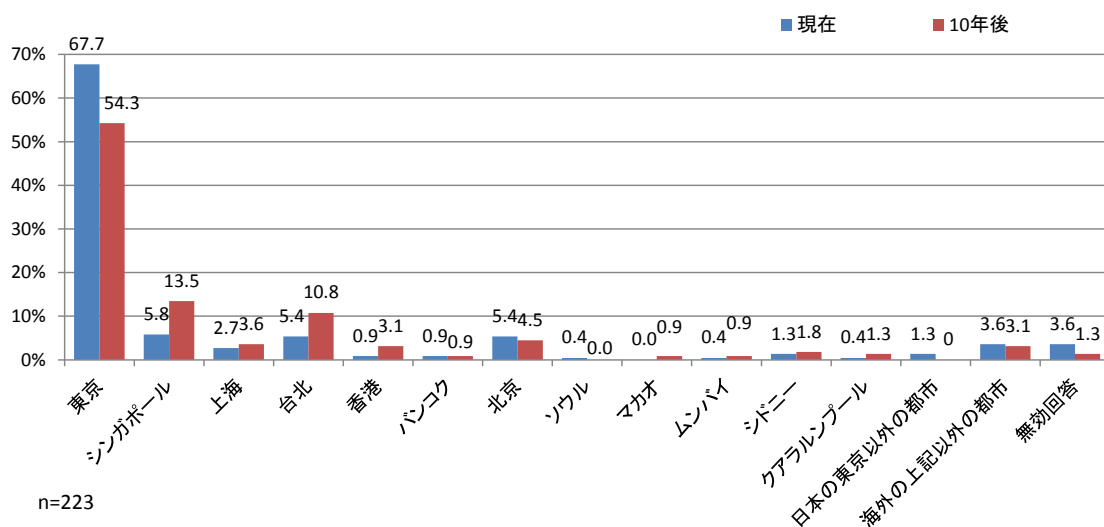
注) 「日本の東京以外の都市」の内訳は以下のとおり。横浜 (2.7%)、大阪、座間、岡山 (各 0.4%)。
 「海外の上記以外の都市」の内訳は以下のとおり。タシケント (ウズベキスタン) (2.7%)、アモイ、深圳、新竹 (台湾)、パリ (各 0.4%)。
 国名、地域名が書かれている場合は「無効回答」とした。「無効回答」の内訳は以下のとおり。ベトナム (2 票)、米国、ドバイ、徳島県、石川県、神奈川県 (各 1 票)。

図 3-19 所属企業のアジア・オセアニアにおける中心拠点都市 (外資系企業に勤務する回答者の回答)



注) 「その他」の内訳は以下のとおり。タシケント (ウズベキスタン) (2.8%)、北京、ソウル、ムンバイ、バンコク、シドニー、深圳 (中国)、新竹 (台湾) (各 1.4%)。
 国名、地域名が書かれている場合は「無効回答」とした。「無効回答」の内訳は以下のとおり。石川、ベトナム、ドバイ (各 1.4%)

図 3-20 回答者が予想する所属企業の 10 年後のアジア・オセアニアの中心拠点都市 (SA)

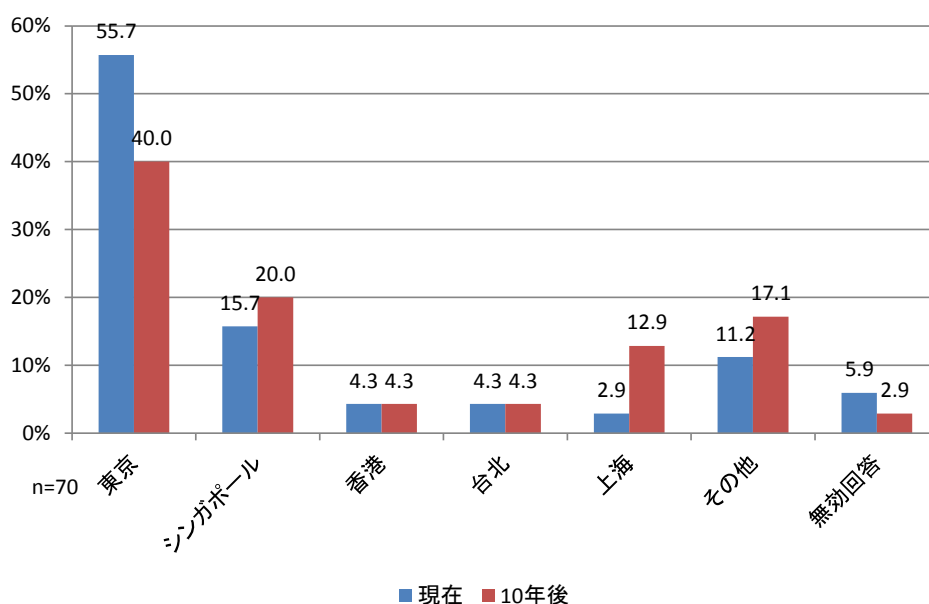


注) 現在の中心拠点都市の「その他」、「無効回答」の内訳は図 3-18 のとおり。

10 年後の中心拠点都市の予想の「海外の上記以外の都市」の内訳は以下のとおり。アルマトイ (カザフスタン) (0.9%)、ロサンゼルス、ニューヨーク、深圳、ホーチミン (各 0.4%)。

国名、地域名が書かれている場合は「無効回答」とした。10 年後の中心拠点都市の予想の「無効回答」の内訳は以下のとおり。ドバイ、ベトナム、石川県 (各 1 票)

図 3-21 回答者が予想する所属企業の 10 年後のアジア・オセアニアの中心拠点都市 (SA)
(外資系勤務の回答者の回答)

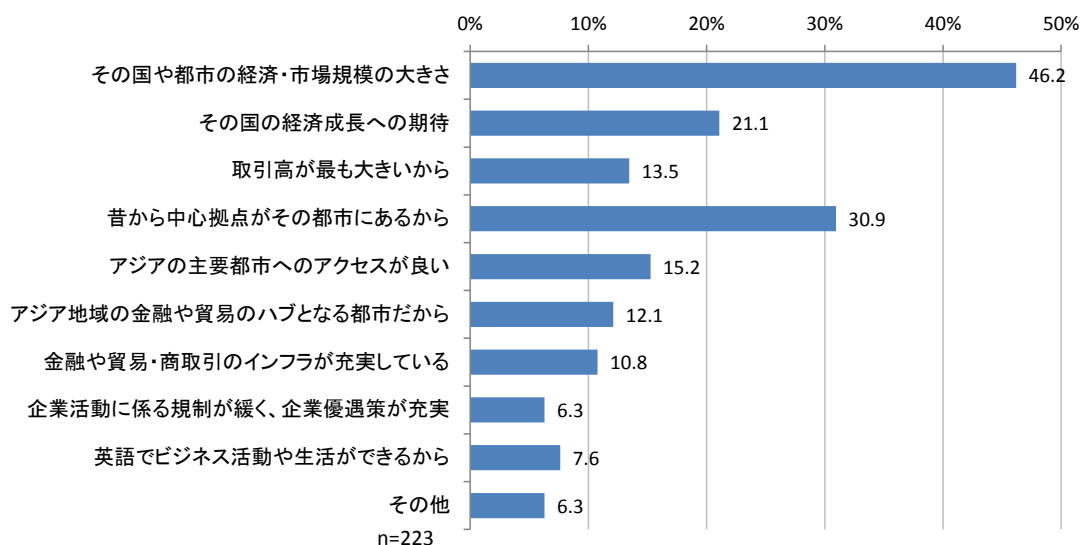


注) 現在の中心拠点都市の「その他」、「無効回答」の内訳は図 3-19 のとおり。

10 年後の中心拠点都市の予想の「その他」の内訳は以下のとおり。北京、クアラルンプール、シドニー、アルマトイ (ウズベキスタン) (各 2.9%)、ムンバイ、バンコク、深圳 (各 1.4%)。

国名、地域名が書かれている場合は「無効回答」とした。10 年後の中心拠点都市の「無効回答」の内訳は以下のとおり。石川県、ドバイ (各 1 票)

図 3-22 所属企業のアジア・オセアニアにおける中心拠点都市がその都市にある理由
(回答した都市に関わらず集計) (MA)

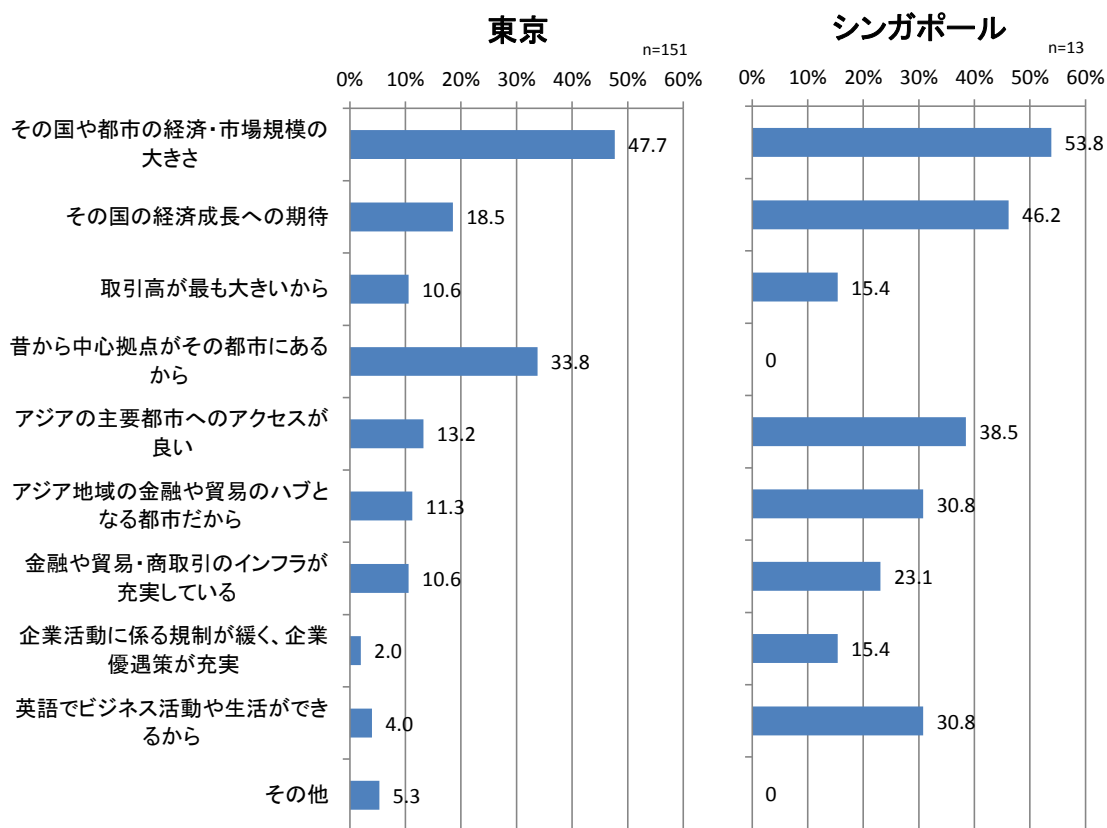


注) 回答者の回答した都市によらず各項目を単純集計したものである。

4) 東京がアジア・オセアニア地域の中心拠点となるための課題

- 所属企業のアジア・オセアニアにおける中心拠点都市上位2都市である東京とシンガポールで、中心拠点がその都市にある理由を比較したところ、以下のような特徴がみられた。
- 東京は「その国や都市の経済・市場規模の大きさ」や「昔から中心拠点がその都市にあるから」といった理由がシンガポールと比較して多い。
- 一方、シンガポールは「その国の経済成長への期待」、「アジアの主要都市へのアクセスが良い」、「アジア地域の金融や貿易のハブとなる都市だから」、「金融や貿易・商取引のインフラが充実している」、「企業活動に係る規制が緩く、企業優遇策が充実」、「英語でビジネス活動や生活ができるから」といった理由が東京と比較して多かった。
- これらは既往調査や「世界の都市総合力ランキング」の結果とも符合する点が多い。

図 3-23 所属企業のアジア・オセアニアにおける中心拠点都市が
その都市にある理由（上位 2 都市の比較）



- 東京が、アジア・オセアニア地域の中心拠点となるには、どのような課題があるかについて、記述回答で「市場・経済・規制・税・慣習等の課題」と「日々の生活（働く、住む、楽しむ、学ぶなど）を支える都市環境の課題」に区分して回答を得た。
- 経済環境や日々の生活環境のいずれにおいても、外国人の受け入れ体制（言葉や慣習等）が課題と指摘されている。
- また、日常の生活においては、インターナショナルスクールの充実といった教育環境に関する指摘があった。

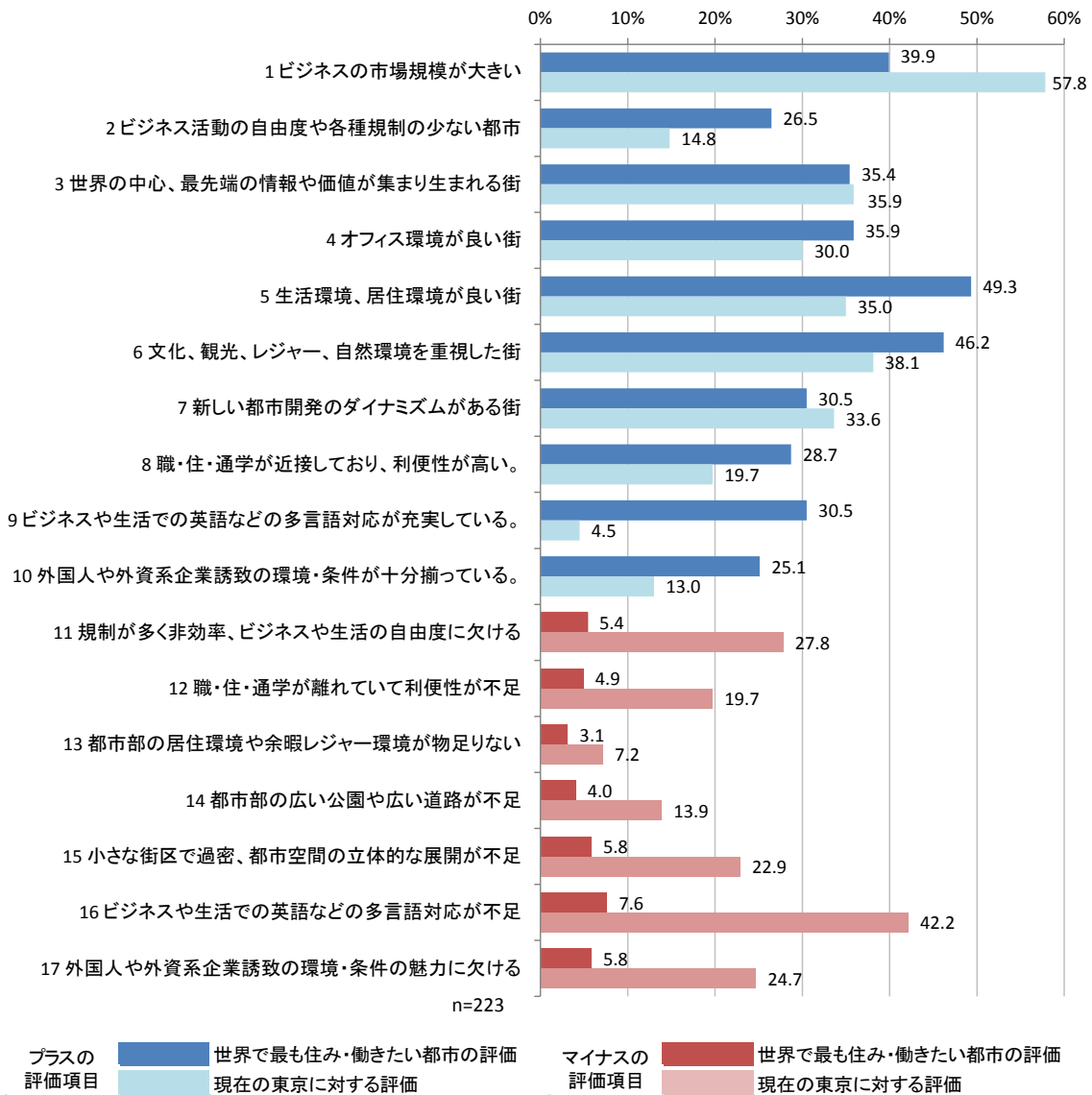
表 3-3 東京がアジア・オセアニア地域の中心拠点となるための課題（記述回答）

項目	主な課題
市場・経済・規制・税・慣習等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人（企業）の受け入れ（例：多言語環境が整っていないこと、日本人の考えが内向きであること） ・ 日本的な慣習 ・ 保守的な規制 ・ 経済の悪化（例：市場規模の縮小） ・ 高い税金 ・ 家賃の高さ など
日々の生活（働く、住む、楽しむ、学ぶなど）を支える都市環境の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人（企業）の受け入れ（例：多言語環境が整っていないこと、日本人の考えが内向きであること、外国人だと部屋を借りることが難しいこと） ・ 日本的な企業文化（例：長時間労働） ・ 教育環境の整備（例：保育施設・インターナショナルスクールの整備） ・ 公共交通機関の混雑緩和 ・ 緑を増やす、公園の整備 ・ 建物の耐震性の強化 ・ 無料 Wi-Fi の整備 ・ 自転車レーンの整備 ・ ジムの充実 ・ 家賃の高さ など

5) 最も住みたい都市に対する評価と現在の東京に対する印象

- 現在の東京に対する印象を尋ねたところ、最も多かった回答は「1：ビジネスの市場規模が大きい」であり、次いで「6：文化、観光、レジャー、自然環境を重視した街」、「3：世界の中心、最先端の情報や価値が集まり生まれる街」の順となった。
- 一方、マイナス評価も多く、「16：ビジネスや生活での英語などの多言語対応が不足」、「11：規制が多く非効率、ビジネスや生活の自由度に欠ける」、「17：外国人や外資系企業誘致の環境・条件の魅力に欠ける」との評価となっている。
- 最も住みたい都市に対する評価の全体の傾向と比較しても、東京は「経済規模」の面では評価されているが、「生活環境（住みやすいまちづくり、文化・自然、多言語・多文化環境）」や「ビジネス環境（規制の多さ、外国人や外資系企業誘致の環境・条件）」といった面ではマイナスの評価だった。

図 3-24 最も住みたい都市に対する評価と現在の東京に対する印象 (MA)



注) 「世界で最も住みたい都市の評価」には、「東京」と回答した回答者の結果も含まれている。

- 「住み働く街としての東京の評価」に関する記述回答を、「魅力・プラス評価」と「課題・マイナス評価」に分類整理した。
- プラス評価としては、安全安心やインフラの充実、利便性等が挙げられている。
- 一方、マイナス評価としては、外国人子弟の教育環境、多言語対応や労働慣習（長時間）、コスト高等が挙げられている。

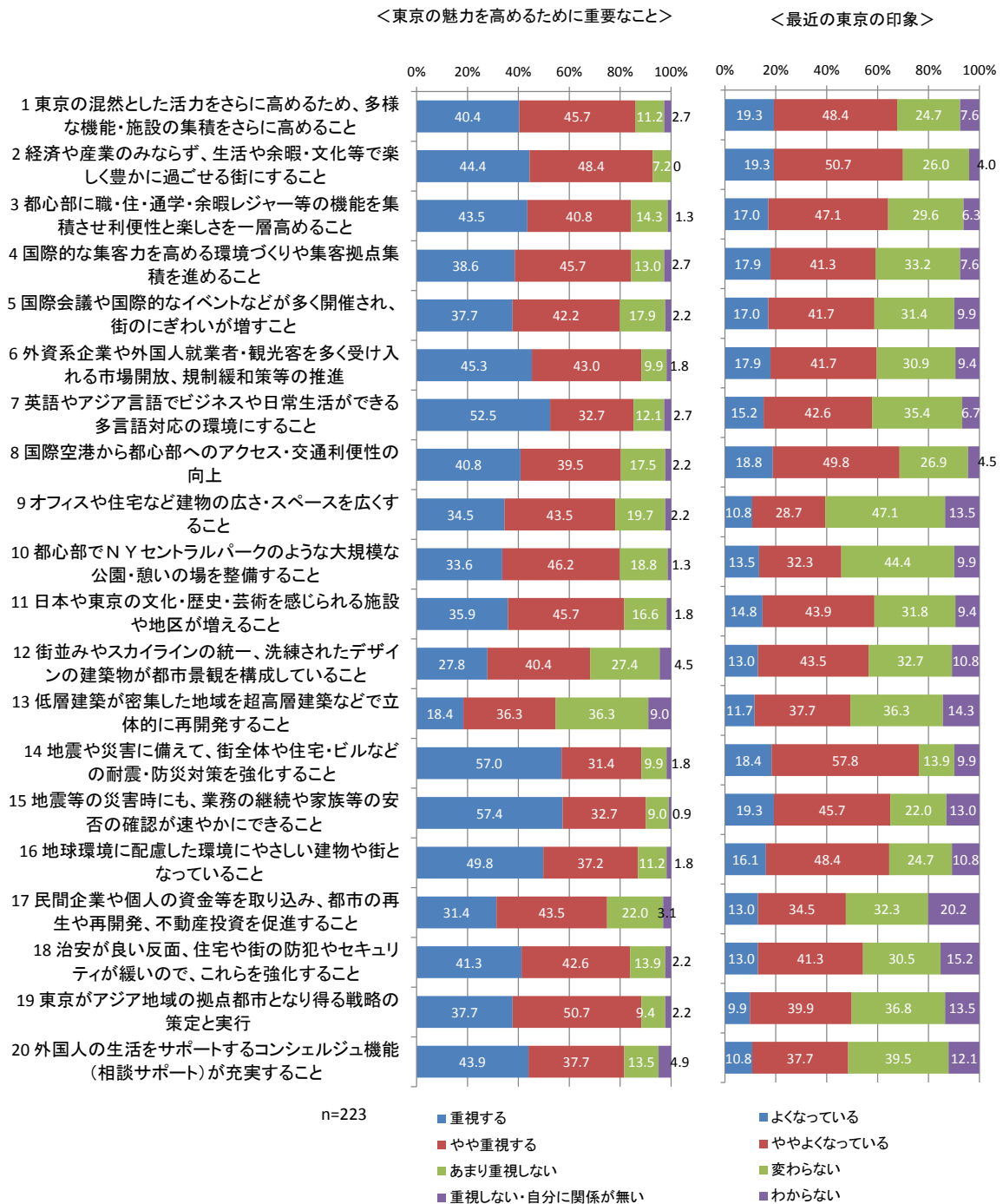
表 3-4 住み働く街としての東京の評価（記述回答）

	主な課題
魅力・プラス評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全である ・ 公共交通機関が発達している ・ 便利な街 ・ エンターテインメントが充実している ・ 商業施設が多く、買い物が便利 ・ ビジネスなどの機会が多く、働くにはよい ・ 最先端の技術を持っている など
課題・マイナス評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人の子どもへの教育環境 ・ 子育てにお金がかかる ・ 多言語環境ではないなど、外国人へのサポート不足 ・ 忙しい街 ・ 長時間労働など日本的な企業文化 ・ 狭い（道路など） ・ 人が多い（電車のラッシュなど） ・ 物価が高い ・ 自然がない ・ 地震が不安 など

6) 住み働く街として東京の魅力を高めるための諸方策

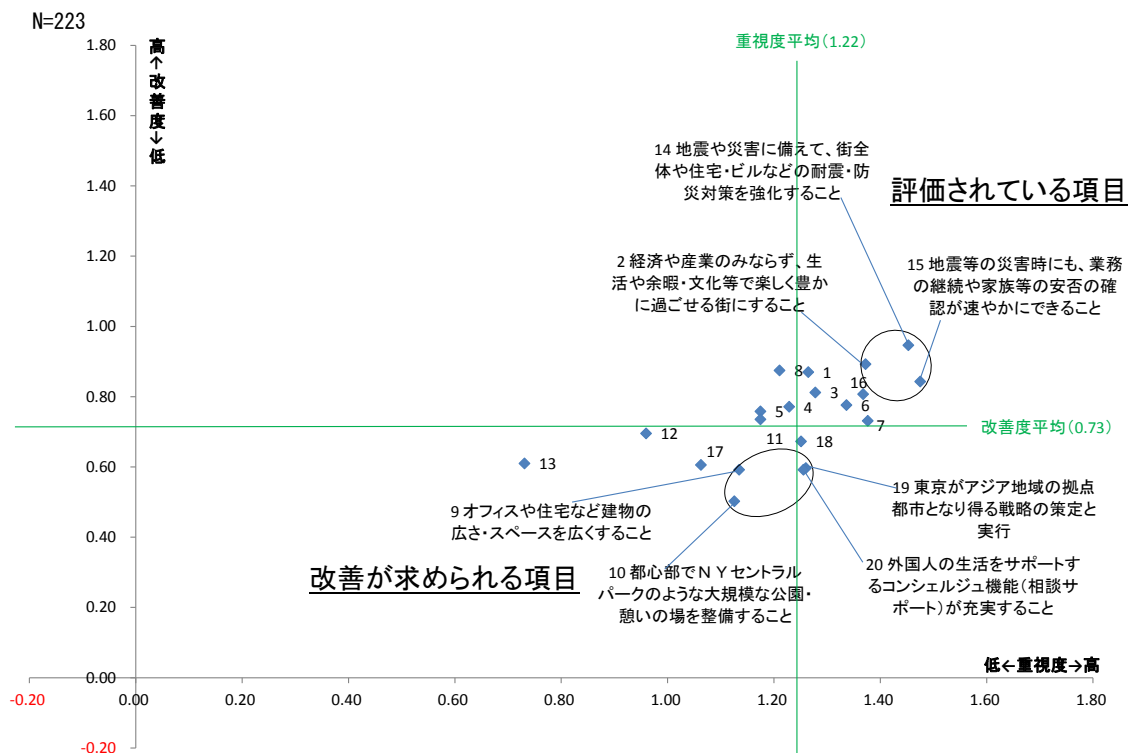
- 住み働く街として東京の魅力を高めるための諸方策について、「重視する」という回答が多かった上位3項目は「15：地震等の災害時にも、業務の継続や家族等の安否の確認が速やかにできること」、「14：地震や災害に備えて、街全体や住宅・ビルなどの耐震・防災対策を強化すること」、「7：英語やアジア言語でビジネスや日常生活ができる多言語対応の環境にすること」である。
- これらに次いで、「16：地球環境に配慮した環境にやさしい建物や街となっていること」、「6：外資系企業や外国人就業者・観光客を多く受け入れる市場開放、規制緩和策等の推進」、「2：経済や産業のみならず、生活や余暇・文化等で楽しく豊かに過ごせる街にすること」といった意見も多い。
- 住み働く街として東京の魅力について、回答者の最近の印象を尋ねたところ、「よくなっている」という回答が多かった上位3項目は、「1 東京の混然とした活力をさらに高めるため、多様な機能・施設を集積をさらに高めること」、「2 経済や産業のみならず、生活や余暇・文化等で楽しく豊かに過ごせる街にすること」、「15 地震等の災害時にも、業務の継続や家族等の安否の確認が速やかにできること」である。
- 一方、「変わらない」という回答が多かった上位3項目は「9：オフィスや住宅など建物の広さ・スペースを広くすること」、「10：都心部でNYセントラルパークのような大規模な公園・憩いの場を整備すること」、「20：外国人の生活をサポートするコンシェルジュ機能（相談サポート）が充実すること」などである。

図 3-25 住み働く街として東京の魅力を高めるための諸方策（SA）



- 下図は、住み働く街として東京の魅力を高めるための諸方策に関して、重視度、改善度それぞれを点数化して、各項目の分布を示したものである。
- 「9：オフィスや住宅など建物の広さ・スペースを広くすること」、「10：都心部でNYセントラルパークのような大規模な公園・憩いの場を整備すること」、「19：東京がアジア地域の拠点都市となり得る戦略の策定と実行」、「20：外国人の生活をサポートするコンシェルジュ機能（相談サポート）が充実すること」の4点が、比較的重視されているにもかかわらず改善度が低い項目として挙げられる。
- 一方、重視度・改善度がともに高かった項目は、「2：経済や産業のみならず、生活や余暇・文化等で楽しく豊かに過ごせる街にすること」、「14：地震や災害に備えて、街全体や住宅・ビルなどの耐震・防災対策を強化すること」、「15：地震等の災害時にも、業務の継続や家族等の安否の確認が速やかにできること」であった。これらは、東日本大震災以降の取り組みを通じて、近年改善が進んだと評価されている項目と認識できる。

図 3-26 住み働く街として東京の魅力を高めるための諸方策（SA）



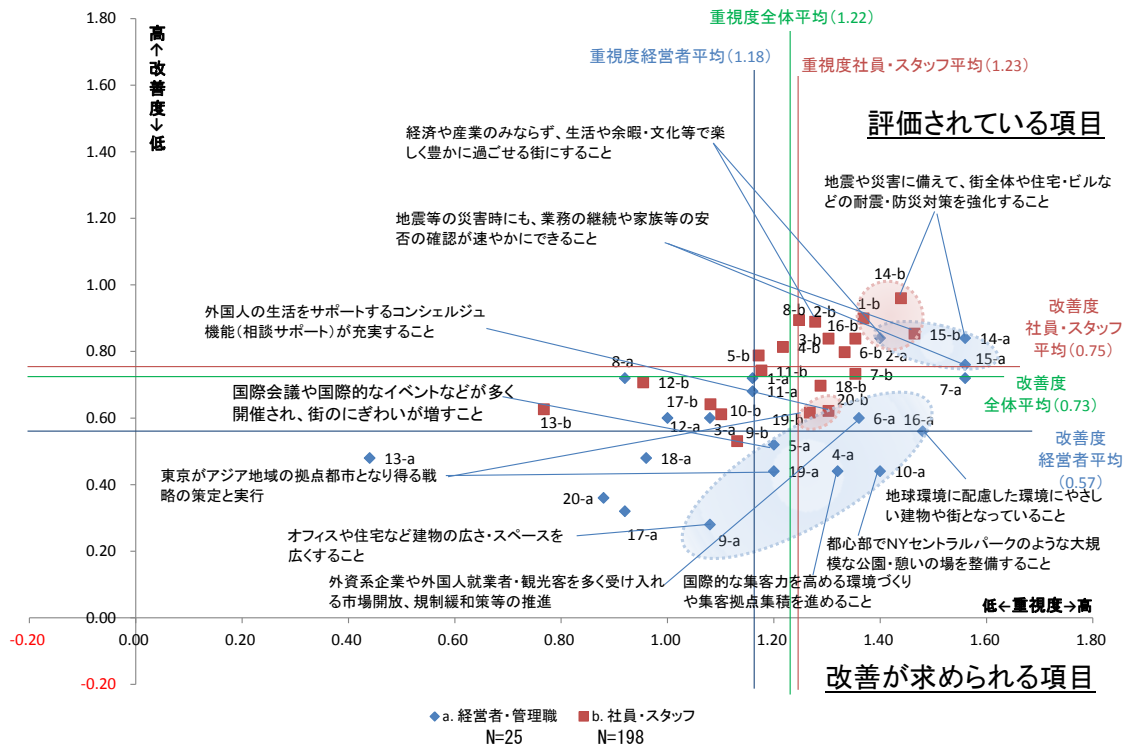
注) 東京の魅力を高めるための諸方策について尋ねた各項目の重視度については、「重視する」を2点、「やや重視する」を1点、「あまり重視しない」を-1点、「重視しない」を-2点、回答者が感じる最近の印象を尋ねた各項目の改善度については「よくなっている」を2点、「ややよくなっている」を1点、「変わらない」、「分からない」を0点と配点し、各選択肢の分布図を作成した。

表 3-5 住み働く街として東京の魅力を高めるための諸方策（SA）
（重視度、改善度上位順）

重視度順位	重視度	改善度	改善度順位	重視度	改善度
15 地震等の災害時にも、業務の継続や家族等の安否の確認が速やかにできること	1.48	0.84	14 地震や災害に備えて、街全体や住宅・ビルなどの耐震・防災対策を強化すること	1.45	0.95
14 地震や災害に備えて、街全体や住宅・ビルなどの耐震・防災対策を強化すること	1.45	0.95	2 経済や産業のみならず、生活や余暇・文化等で楽しく豊かに過ごせる街にすること	1.37	0.89
7 英語やアジア言語でビジネスや日常生活ができる多言語対応の環境にすること	1.38	0.73	8 国際空港から都心部へのアクセス・交通利便性の向上	1.21	0.87
2 経済や産業のみならず、生活や余暇・文化等で楽しく豊かに過ごせる街にすること	1.37	0.89	1 東京の混然とした活力をさらに高めるため、多様な機能・施設の集積をさらに高めること	1.26	0.87
16 地球環境に配慮した環境にやさしい建物や街となっていること	1.37	0.81	15 地震等の災害時にも、業務の継続や家族等の安否の確認が速やかにできること	1.48	0.84
6 外資系企業や外国人就業者・観光客を多く受け入れる市場開放、規制緩和策等の推進	1.34	0.78	3 都心部に職・住・通学・余暇レジャー等の機能を集積させ利便性と楽しさを一層高めること	1.28	0.81
3 都心部に職・住・通学・余暇レジャー等の機能を集積させ利便性と楽しさを一層高めること	1.28	0.81	16 地球環境に配慮した環境にやさしい建物や街となっていること	1.37	0.81
1 東京の混然とした活力をさらに高めるため、多様な機能・施設の集積をさらに高めること	1.26	0.87	6 外資系企業や外国人就業者・観光客を多く受け入れる市場開放、規制緩和策等の推進	1.34	0.78
19 東京がアジア地域の拠点都市となり得る戦略の策定と実行	1.26	0.60	4 国際的な集客力を高める環境づくりや集客拠点集積を進めること	1.23	0.77
20 外国人の生活をサポートするコンシェルジュ機能（相談サポート）が充実すること	1.26	0.59	5 国際会議や国際的なイベントなどが多く開催され、街のにぎわいが増すこと	1.17	0.76
18 治安が良い反面、住宅や街の防犯やセキュリティが緩いので、これらを強化すること	1.25	0.67	11 日本や東京の文化・歴史・芸術を感じられる施設や地区が増えること	1.17	0.74
4 国際的な集客力を高める環境づくりや集客拠点集積を進めること	1.23	0.77	7 英語やアジア言語でビジネスや日常生活ができる多言語対応の環境にすること	1.38	0.73
8 国際空港から都心部へのアクセス・交通利便性の向上	1.21	0.87	12 街並みやスカイラインの統一、洗練されたデザインの建築物が都市景観を構成していること	0.96	0.70
5 国際会議や国際的なイベントなどが多く開催され、街のにぎわいが増すこと	1.17	0.76	18 治安が良い反面、住宅や街の防犯やセキュリティが緩いので、これらを強化すること	1.25	0.67
11 日本や東京の文化・歴史・芸術を感じられる施設や地区が増えること	1.17	0.74	13 低層建築が密集した地域を超高層建築などで立体的に再開発すること	0.73	0.61
10 都心部でNYセントラルパークのような大規模な公園・憩いの場を整備すること	1.13	0.59	17 民間企業や個人の資金等を取り込み、都市の再生や再開発、不動産投資を促進すること	1.06	0.61
9 オフィスや住宅など建物の広さ・スペースを広くすること	1.13	0.50	19 東京がアジア地域の拠点都市となり得る戦略の策定と実行	1.26	0.60
17 民間企業や個人の資金等を取り込み、都市の再生や再開発、不動産投資を促進すること	1.06	0.61	10 都心部でNYセントラルパークのような大規模な公園・憩いの場を整備すること	1.13	0.59
12 街並みやスカイラインの統一、洗練されたデザインの建築物が都市景観を構成していること	0.96	0.70	20 外国人の生活をサポートするコンシェルジュ機能（相談サポート）が充実すること	1.26	0.59
13 低層建築が密集した地域を超高層建築などで立体的に再開発すること	0.73	0.61	9 オフィスや住宅など建物の広さ・スペースを広くすること	1.13	0.50
平均	1.22	0.73	平均	1.22	0.73

- 次頁の図は、東京の魅力を高めるための諸方策に関して、職階別（経営者・管理職と社員・スタッフ別）で重視度、改善度それぞれを点数化して、各項目の分布を示したものである。
- 全般的に、経営者・管理者の方が社員・スタッフより評価が厳しい傾向にある。
- 以下は、経営者・管理者が重視する項目であるにも関わらず、十分な改善が見られないと評価されている項目である。
 - ・ 「4：国際的な集客力を高める環境づくりや集客拠点集積を進めること」
 - ・ 「5：国際会議や国際的なイベントなどが多く開催され、街のにぎわいが増すこと」
 - ・ 「6：外資系企業や外国人就業者・観光客を多く受け入れる市場開放、規制緩和策等の推進」
 - ・ 「9：オフィスや住宅など建物の広さ・スペースを広くすること」
 - ・ 「10：都心部でNYセントラルパークのような大規模な公園・憩いの場を整備すること」
 - ・ 「16：地球環境に配慮した環境にやさしい建物や街となっていること」
 - ・ 「19：東京がアジア地域の拠点都市となり得る戦略の策定と実行」
- また、以下は、社員・スタッフが重視する項目であるにもかかわらず、十分な改善が見られないと評価された項目である。
 - ・ 「19：東京がアジア地域の拠点都市となり得る戦略の策定と実行」
 - ・ 「20：外国人の生活をサポートするコンシェルジュ機能（相談サポート）が充実すること」
- 経営者・管理者、社員・スタッフの双方で、「19：東京がアジア地域の拠点都市となり得る戦略の策定と実行」が、重視度は高いが改善度が低い項目となっていた。
- 重視度・改善度双方とも高かったのは、経営者・管理者、社員・スタッフともに、「2：経済や産業のみならず、生活や余暇・文化等で楽しく豊かに過ごせる街にすること」、「14：地震や災害に備えて、街全体や住宅・ビルなどの耐震・防災対策を強化すること」、「15：地震等の災害時にも、業務の継続や家族等の安否の確認が速やかにできること」であった。文化やレジャー等の街の楽しさや災害対策について一定の評価を得ていると言える。
- また、経営者・管理者のみの特徴として、「4：国際的な集客力を高める環境づくりや集客拠点集積を進めること」、「5：国際会議や国際的なイベントなどが多く開催され、街のにぎわいが増すこと」といった項目で重視度は高いが改善度が低くなっている。グローバルビジネスの拠点として、人や企業の活発な交流を生む、環境整備が求められる。

図 3-27 職階別・住み働く街として東京の魅力を高めるための諸方策 (SA)



注) 東京の魅力を高めるために重要なことについて尋ねた各項目の重視度については、「重視する」を2点、「やや重視する」を1点、「あまり重視しない」を-1点、「重視しない」を-2点、回答者が感じる最近の印象を尋ねた各項目の改善度については「よくなっている」を2点、「ややよくなっている」を1点、「変わらない」、「分からない」を0点と配点し、各選択肢の分布図を作成した。

No.	東京の魅力を高めるために重視する項目
1	東京の混然とした活力をさらに高めるため、多様な機能・施設を集積をさらに高めること
2	経済や産業のみならず、生活や余暇・文化等で楽しく豊かに過ごせる街にすること
3	都心部に職・住・通学・余暇レジャー等の機能を集積させ利便性と楽しさを一層高めること
4	国際的な集客力を高める環境づくりや集客拠点集積を進めること
5	国際会議や国際的なイベントなどが多く開催され、街のにぎわいが増すこと
6	外資系企業や外国人就業者・観光客を多く受け入れる市場開放、規制緩和策等の推進
7	英語やアジア言語でビジネスや日常生活ができる多言語対応の環境にすること
8	国際空港から都心部へのアクセス・交通利便性の向上
9	オフィスや住宅など建物の広さ・スペースを広くすること
10	都心部でNYセントラルパークのような大規模な公園・憩いの場を整備すること
11	日本や東京の文化・歴史・芸術を感じられる施設や地区が増えること
12	街並みやスカイラインの統一、洗練されたデザインの建築物が都市景観を構成していること
13	低層建築が密集した地域を超高層建築などで立体的に再開発すること
14	地震や災害に備えて、街全体や住宅・ビルなどの耐震・防災対策を強化すること
15	地震等の災害時にも、業務の継続や家族等の安否の確認が速やかにできること
16	地球環境に配慮した環境にやさしい建物や街となっていること
17	民間企業や個人の資金等を取り込み、都市の再生や再開発、不動産投資を促進すること
18	治安が良い反面、住宅や街の防犯やセキュリティが緩いので、これらを強化すること
19	東京がアジア地域の拠点都市となり得る戦略の策定と実行
20	外国人の生活をサポートするコンシェルジュ機能(相談サポート)が充実すること

- 東京の魅力を高めるために重要な方向性や対策に関する自由記述回答を分析したところ、主として「外国人の受け入れ体制」、「自然環境」、「日本文化のアピール」、「住みやすい、観光しやすい街づくり」に関する回答が多かった。
多言語対応環境の整備や、都心部で自然と触れ合える環境を充実すべきという提案などがあった。また、「日本文化のアピール」では日本の伝統や文化を積極的に海外に発信すべきといった、日本の文化を評価した上で、情報発信の不足を指摘する提案もあった。

表 3-6 東京の魅力を高めるために重要とお考えの方向性や対策（記述回答）

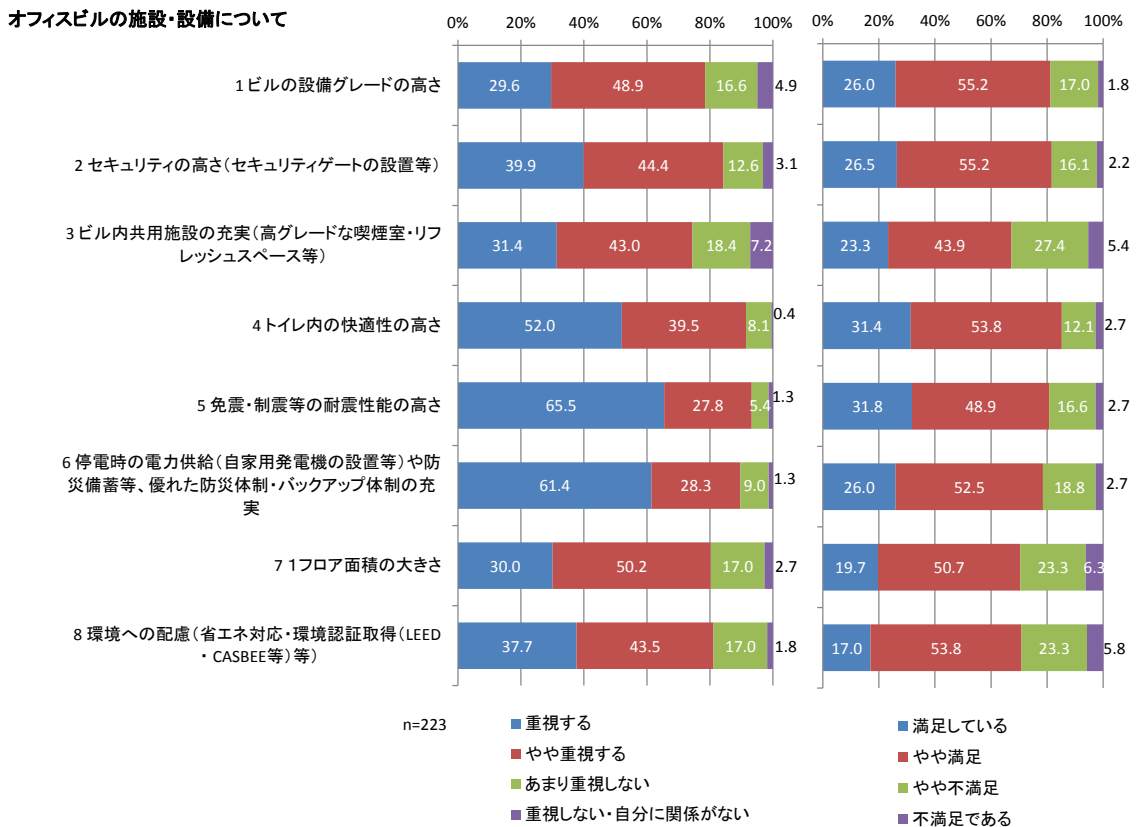
項目	主な課題
外国人の受け入れ体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多言語対応環境の整備 （オフィスビルや観光地での案内板の表記に英語・日本語の双方とも表記するなど） ・ 国際イベントの開催
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都内に公園をつくる ・ 自然がない
日本文化のアピール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の伝統文化をもっと海外へ発信すべき ・ 日本・東京らしい建築デザインが欲しい。すべて欧米風でがっかりした。 ・ 伝統的なイベントの開催
住みやすい街づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子連れ、高齢者、妊婦にやさしい街づくり ・ 環境にやさしい街づくり ・ 観光しやすい街づくり ・ 空港へのアクセスが不便 ・ 無料 Wi-Fi ・ 自転車レーン ・ 地震対策 ・ 通勤ラッシュの緩和 ・ 歩きたばこ

7) オフィスビルに求められる機能及び現在の満足度

a. オフィスの施設・設備の重視度及び満足度

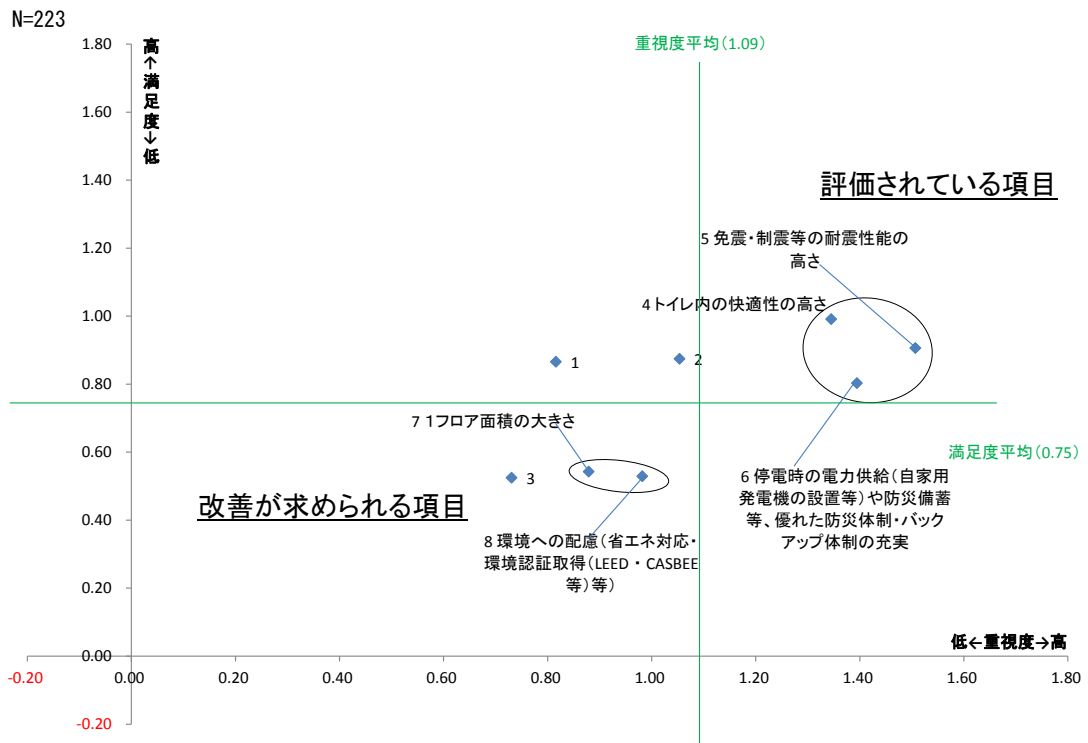
- オフィスの施設、設備の全ての項目において、高い満足度を得ている。
- 特に「重視する」との回答が多かったのは「5：免震・制振等の耐震性能の高さ」や「6：停電時の電力供給や防災備蓄倉庫等、優れた防災体制・バックアップ体制の充実」であった。オフィスビルについて、防災性能が最も重視されていることがわかる。
- 一方、「不満足である」という回答が最も多かったのは、「7：1フロア面積の大きさ」や「8：環境への配慮（省エネ対応・環境認証取得（LEED・CASBEE 等）等）」であった。

図 3-28 オフィスの施設・設備の重視度及び満足度 (SA)



- 次頁の図は、オフィスの施設・設備について、重視度、満足度それぞれを点数化して、各項目の分布を示したものである。
- オフィスの施設・設備については、先にも示した通り、全般的に満足度は高い。特に、「4：トイレ内の快適性の高さ」、「5：免震・制震等の耐震性能の高さ」、「6：停電時の電力供給（自家発電機の設置等）や防災備蓄等、優れた防災体制・バックアップ体制の充実」は、他の項目と比較して重視度・満足度ともに高かった。
- 一方、重視度は相対的に高くはないが、「7：1フロア面積の大きさ」、「8：環境への配慮（省エネ対応・環境認証取得（LEED・CASBEE等）等）」について、満足度が低い結果となった。

図 3-29 オフィスの施設・設備の重視度及び満足度 (SA)



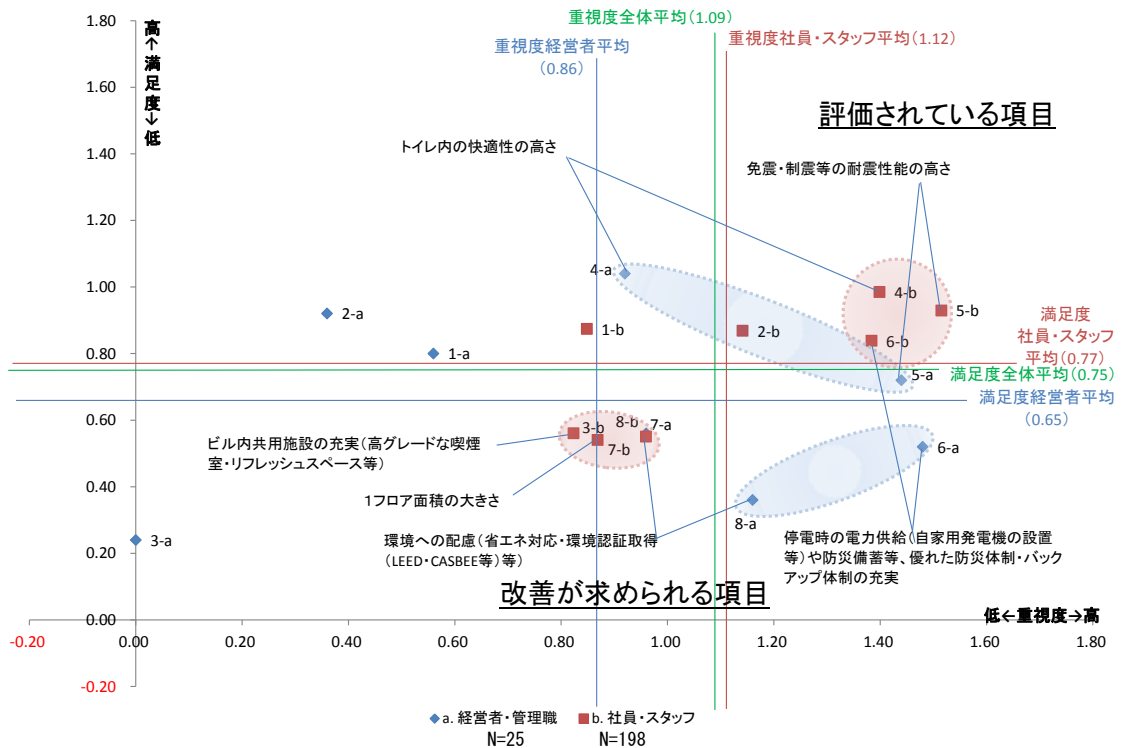
注) オフィスの施設・設備について尋ねた各項目の重視度、満足度について、「重視する」、「満足している」を+2点、「やや重視する」、「やや満足」を+1点、「あまり重視しない」、「やや不満足」を-1点、「重視しない」、「不満足である」を-2点と配点し、各選択肢の分布図を作成した。

表 3-7 オフィスの施設・設備の重視度及び満足度 (SA)
(重視度、満足度上位順)

重視度順位	重視度	満足度	満足度順位	重視度	満足度
5 免震・制震等の耐震性能の高さ	1.51	0.91	4 トイレ内の快適性の高さ	1.35	0.99
6 停電時の電力供給(自家発電機の設置等)や防災備蓄等、優れた防災体制・バックアップ体制の充実	1.39	0.80	5 免震・制震等の耐震性能の高さ	1.51	0.91
4 トイレ内の快適性の高さ	1.35	0.99	2 セキュリティの高さ(セキュリティゲートの設置等)	1.05	0.87
2 セキュリティの高さ(セキュリティゲートの設置等)	1.05	0.87	1 ビルの設備グレードの高さ	0.82	0.87
8 環境への配慮(省エネ対応・環境認証取得(LEED・CASBEE等)等)	0.98	0.53	6 停電時の電力供給(自家発電機の設置等)や防災備蓄等、優れた防災体制・バックアップ体制の充実	1.39	0.80
7 1フロア面積の大きさ	0.88	0.54	7 1フロア面積の大きさ	0.88	0.54
1 ビルの設備グレードの高さ	0.82	0.87	8 環境への配慮(省エネ対応・環境認証取得(LEED・CASBEE等)等)	0.98	0.53
3 ビル内共用施設の充実(高グレードな喫煙室・リフレッシュスペース等)	0.73	0.52	3 ビル内共用施設の充実(高グレードな喫煙室・リフレッシュスペース等)	0.73	0.52
平均	1.09	0.75	平均	1.09	0.75

- 次頁の図は、オフィスの施設・設備に関して、職階別（経営者・管理職と社員・スタッフ別）で重視度、満足度それぞれを点数化して、各項目の分布を示したものである。
- 経営者・管理職では「6：停電時の電力供給（自家用発電機の設置等）や防災備蓄等、優れた防災体制・バックアップ体制の充実」、「8：環境への配慮（省エネ対応・環境認証取得（LEED・CASBEE等）等）」といった項目で重視度は高いが満足度が低い。
- 社員・スタッフでは「3：ビル内共用施設の充実（高グレードな喫煙室・リフレッシュスペース等）」、「7：1フロア面積の大きさ」、「8：環境への配慮（省エネ対応・環境認証取得（LEED・CASBEE等）等）」といった項目で満足度が低くなっていた。ただし、これらは相対的に重視度が低かった。
- 一方、重視度・満足度双方とも高かったのは、社員・スタッフでは「4：トイレ内の快適性の高さ」、「5：免震・制震等の耐震性能の高さ」、「6：停電時の電力供給（自家用発電機の設置等）や防災備蓄等、優れた防災体制・バックアップ体制の充実」となっていた。経営者・管理職では、双方に高い項目はなく、「4：トイレ内の快適性の高さ」や「5：免震・制震等の耐震性能の高さ」が、比較的評価されている項目であることがわかった。
- 経営者・管理職、社員・スタッフともに、「5：免震・制震等の耐震性能の高さ」は重視しかつ満足度も高い一方、「8：環境への配慮（省エネ対応・環境認証取得（LEED・CASBEE等）等）」は重視するが満足度は低いという傾向が見られた。
- 「6：停電時の電力供給（自家用発電機の設置等）や防災備蓄等、優れた防災体制・バックアップ体制の充実」に関して、重視度は経営者・管理職、社員・スタッフで差がないが、経営者・管理職の方が満足度は低いという結果だった。経営者・管理職の事業継続を重視する姿勢がうかがえる。

図 3-30 職階別・オフィスの施設・設備の重視度及び満足度（SA）



注) オフィスの施設・設備について尋ねた各項目の重視度、満足度について、「重視する」、「満足している」を+2点、「やや重視する」、「やや満足」を+1点、「あまり重視しない」、「やや不満足」を-1点、「重視しない」、「不満足である」を-2点と配点し、各選択肢の分布図を作成した。

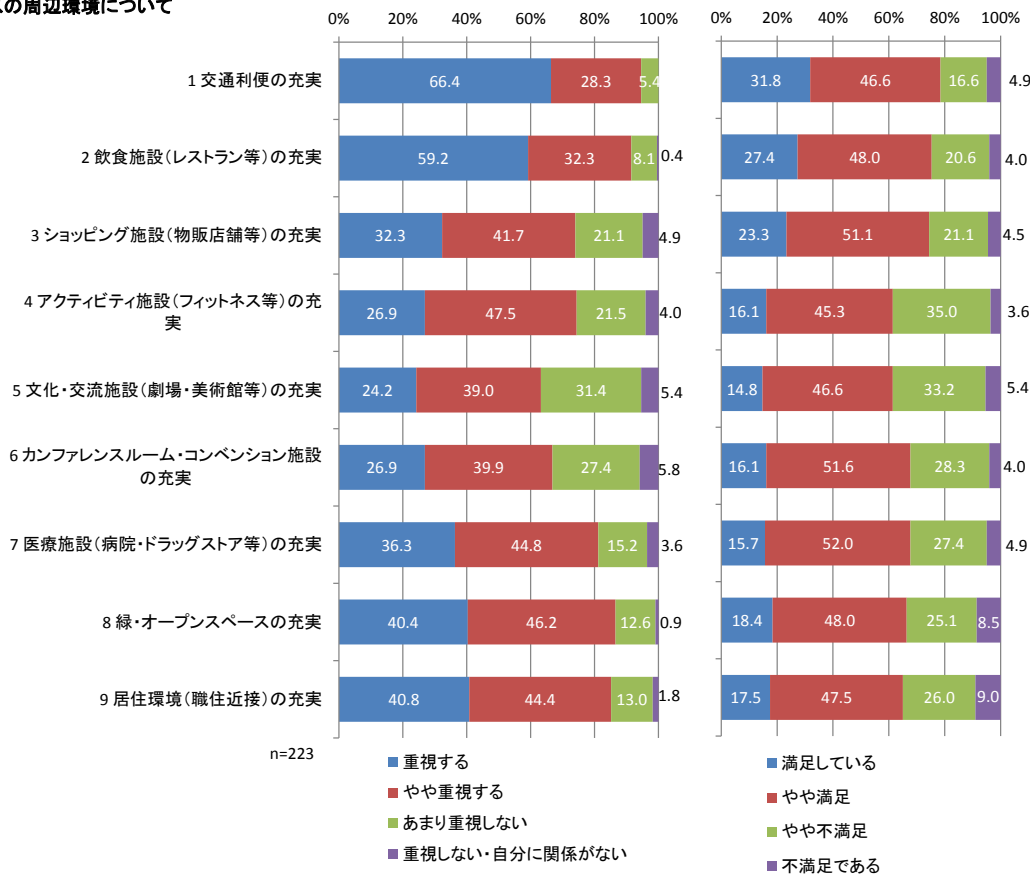
No.	オフィスの施設・設備の重視度及び満足度の項目
1	ビルの設備グレードの高さ
2	セキュリティの高さ（セキュリティゲートの設置等）
3	ビル内共用施設の充実（高グレードな喫煙室・リフレッシュスペース等）
4	トイレ内の快適性の高さ
5	免震・制震等の耐震性能の高さ
6	停電時の電力供給（自家発電機の設置等）や防災備蓄等、優れた防災体制・バックアップ体制の充実
7	1フロア面積の大きさ
8	環境への配慮（省エネ対応・環境認証取得（LEED・CASBEE等）等）

b. オフィスの周辺環境の重視度及び満足度

- オフィスの周辺環境について「重視する」との回答が多かったのは「1：交通利便の充実」や「2：飲食施設（レストラン等）の充実」であった。
- 「1：交通利便の充実」や「2：飲食施設（レストラン等）の充実」については、最も重視される項目であると同時に、「満足している」という回答の割合が高い項目ともなっている。
- 重視度は他に比べ高くはないが、「不満足である」という回答の割合が高いのは、「8：緑・オープンスペースの充実」や「9：居住環境（職住近接）の充実」である。

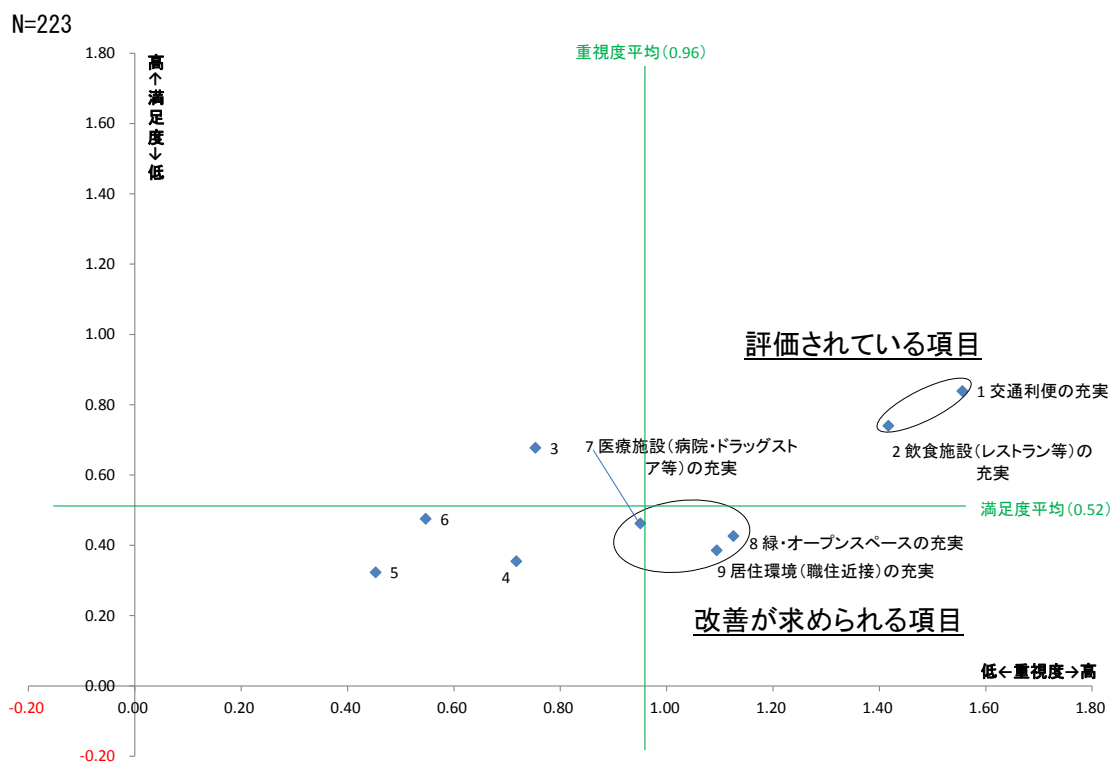
図 3-31 オフィスの周辺環境の重視度及び満足度 (SA)

オフィスの周辺環境について



- 次頁の図は、オフィスの周辺環境に関して、重視度、満足度それぞれを点数化して、各項目の分布を示したものである。
- 「1：交通利便の充実」や「2：飲食施設（レストラン等）の充実」は、重視度・満足度ともに高い項目となっていた。
- 一方、重視度は高いが、満足度が低い項目としては、「7：医療施設（病院・ドラッグストア等）の充実」、「8：緑・オープンスペースの充実」、「9：居住環境（職住近接）の充実」が挙げられる。

図 3-32 オフィスの周辺環境の重視度及び満足度 (SA)



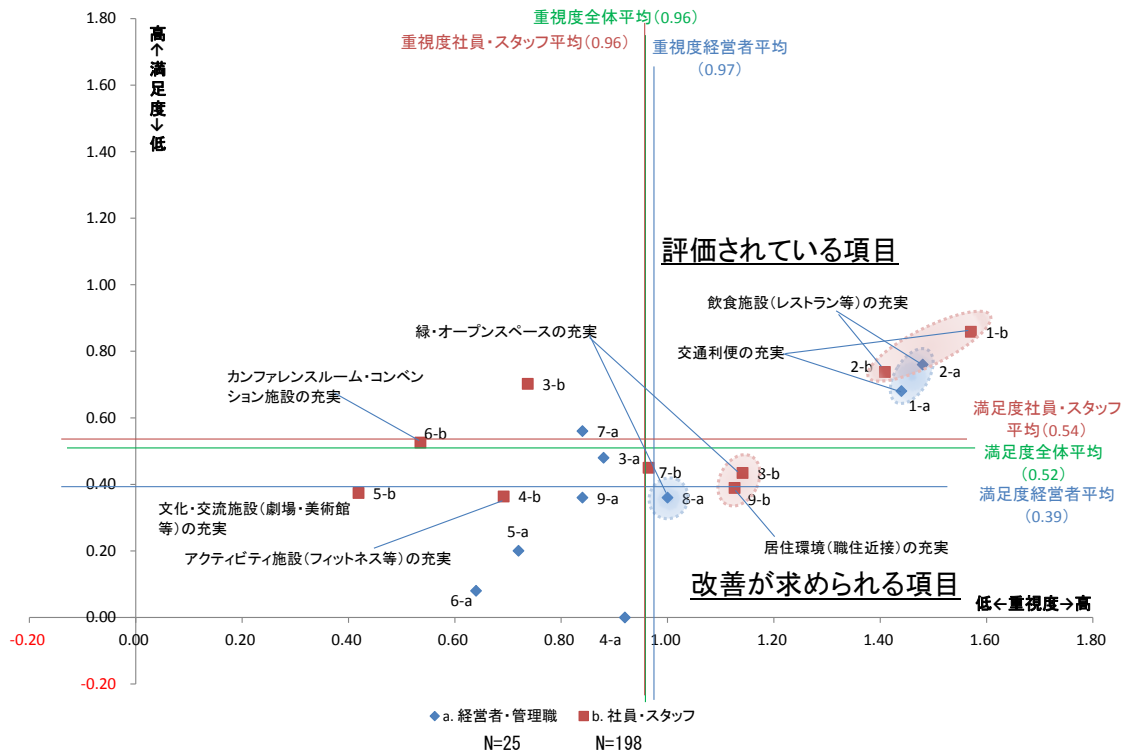
注) オフィスの周辺環境について尋ねた各項目の重視度、満足度について、「重視する」、「満足している」を+2点、「やや重視する」、「やや満足」を+1点、「あまり重視しない」、「やや不満足」を-1点、「重視しない」、「不満足である」を-2点と配点し、各選択肢の分布図を作成した。

表 3-8 オフィスの周辺環境の重視度及び満足度 (重視度、満足度上位順)

重視度順位	重視度	満足度	満足度順位	重視度	満足度
1 交通利便の充実	1.56	0.84	1 交通利便の充実	1.56	0.84
2 飲食施設(レストラン等)の充実	1.42	0.74	2 飲食施設(レストラン等)の充実	1.42	0.74
8 緑・オープンスペースの充実	1.13	0.43	3 ショッピング施設(物販店舗等)の充実	0.75	0.68
9 居住環境(職住近接)の充実	1.09	0.39	6 カンファレンスルーム・コンベンション施設の充実	0.55	0.48
7 医療施設(病院・ドラッグストア等)の充実	0.95	0.46	7 医療施設(病院・ドラッグストア等)の充実	0.95	0.46
3 ショッピング施設(物販店舗等)の充実	0.75	0.68	8 緑・オープンスペースの充実	1.13	0.43
4 アクティビティ施設(フィットネス等)の充実	0.72	0.35	9 居住環境(職住近接)の充実	1.09	0.39
6 カンファレンスルーム・コンベンション施設の充実	0.55	0.48	4 アクティビティ施設(フィットネス等)の充実	0.72	0.35
5 文化・交流施設(劇場・美術館等)の充実	0.45	0.32	5 文化・交流施設(劇場・美術館等)の充実	0.45	0.32
平均	0.96	0.52	平均	0.96	0.52

- 次頁の図は、オフィス周辺環境に関して、職階別（経営者・管理職と社員・スタッフ別）で重視度、満足度それぞれを点数化して、各項目の分布を示したものである。
- 経営者・管理職では、「8：緑・オープンスペースの充実」について、重視度は高いが満足度が低く評価されている。なお、以下は、相対的に重視度は高くないものの、満足度が低い項目である。
 - ・ 「4：アクティビティ施設（フィットネス等）の充実」
 - ・ 「5：文化・交流施設（劇場・美術館等）の充実」
 - ・ 「6：カンファレンスルーム・コンベンション施設の充実」
- 社員・スタッフでは、「8：緑・オープンスペースの充実」や「9：居住環境（職住近接）の充実」が改善点として指摘できる。
- 経営者・管理職のみの特徴として、「5：文化・交流施設（劇場・美術館等）の充実」及び「6：カンファレンスルーム・コンベンション施設の充実」の満足度が低いという点が挙げられる。これは「図 3-27」の傾向とも合致しており、国際的な会議や文化交流イベントを開催できる施設の充実が求められる。
- 重視度・改善度双方とも高い評価を得たのは、経営者・管理職、社員・スタッフともに「1：交通利便の充実」、「2：飲食施設（レストラン等）の充実」であった。

図 3-33 職階別・オフィスの周辺環境の重視度及び満足度 (SA)



注) オフィスの周辺環境について尋ねた各項目の重視度、満足度について、「重視する」、「満足している」を+2点、「やや重視する」、「やや満足」を+1点、「あまり重視しない」、「やや不満足」を-1点、「重視しない」、「不満足である」を-2点と配点し、各選択肢の分布図を作成した。

No.	オフィスの周辺環境の重視度及び満足度の項目
1	交通利便の充実
2	飲食施設（レストラン等）の充実
3	ショッピング施設（物販店舗等）の充実
4	アクティビティ施設（フィットネス等）の充実
5	文化・交流施設（劇場・美術館等）の充実
6	カンファレンスルーム・コンベンション施設の充実
7	医療施設（病院・ドラッグストア等）の充実
8	緑・オープンスペースの充実
9	居住環境（職住近接）の充実

8) オフィスビルに対する要望

オフィスに対するニーズ及びオフィス周辺に求める施設とその理由を記述回答形式で尋ねたところ、以下のような特徴があった。その結果を下表にまとめた。

表 3-9 オフィスに対するニーズ及びオフィス周辺に求める施設とその理由（記述回答）

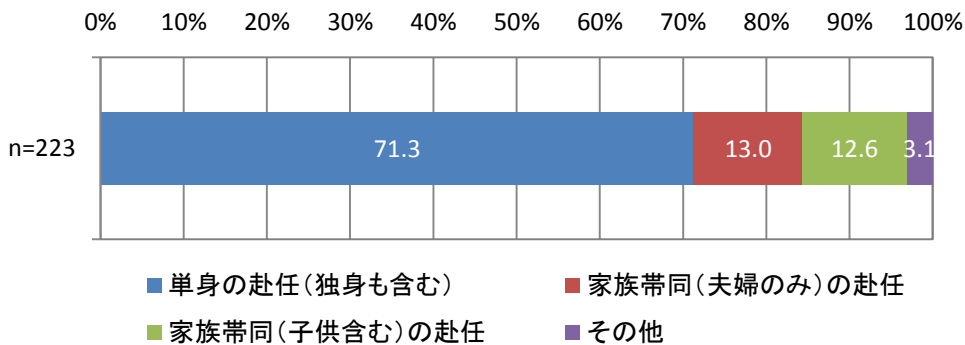
区分	求める施設	理由
オフィスに求めるニーズ（新しい設備、サービスや複合機能等）	耐震機能	・ 地震対策
	休憩室	・ 社員同士の交流、リラックスのため ・ 夜遅くまで残業しているため、睡眠をとりたい
	無料 Wi-Fi	・ お客様にも使えるように
	レストラン・飲食店	・ 残業が多いので、深夜営業のレストランがほしい ・ もっとランチなどに食べられる種類を増やしてほしい ・ 禁煙レストラン ・ 安いレストラン
	カフェ	・ 落ち着きたい ・ 仕事終了後に行く
	スーパー	・ いつも帰りが遅いから
	医療施設	・ 仕事が忙しいと行きにくいから
	託児所	・ 迎えに行きやすいように
	カンファレンスセンター	・ 他企業との交流のため
	ジム	・ 健康維持 ・ 仕事終了後の日課 ・ 気分転換
	自然	・ 工作中・後のリラックスのため
オフィス周辺に求める施設	レストラン	・ 昼は特に混雑する ・ より安いレストランがほしい ・ 仕事終わりに仲間と交流する
	ショッピングセンター	・ 仕事帰りがあると便利 ・ 夜遅くまで残業する時に便利
	ホテル	・ 終電を逃しても会社の近くで泊まりたい
	映画館・美術館・劇場	・ 仕事後に楽しみたい
	インターナショナルスクール	・ 都内は少ない ・ 安いインターナショナルスクールが欲しい
	託児所	・ 子供がいる女性が安心して働けるように ・ 都心に広くて安いものがない
	医療施設	・ 帰りが遅いので、近くで行ける場所がほしい
	ジム	・ 退社後運動したい ・ 運動不足だから
	駅	・ 近くに駅がないので不便
	住居・住宅	・ サービスアパートメントがあれば仕事に行くのに便利 ・ 長距離通勤はストレス
	公園・自然	・ リラックスのため

3.2.3 日本での生活や仕事における外国人ビジネスマンのニーズや課題

1) 日本での赴任形態

- 日本への赴任形態は「単身の赴任（独身も含む）」が 71.3%、「家族帯同（夫婦のみ）の赴任」が 13.0%、「家族帯同（子供含む）の赴任」が 12.6%となっている。

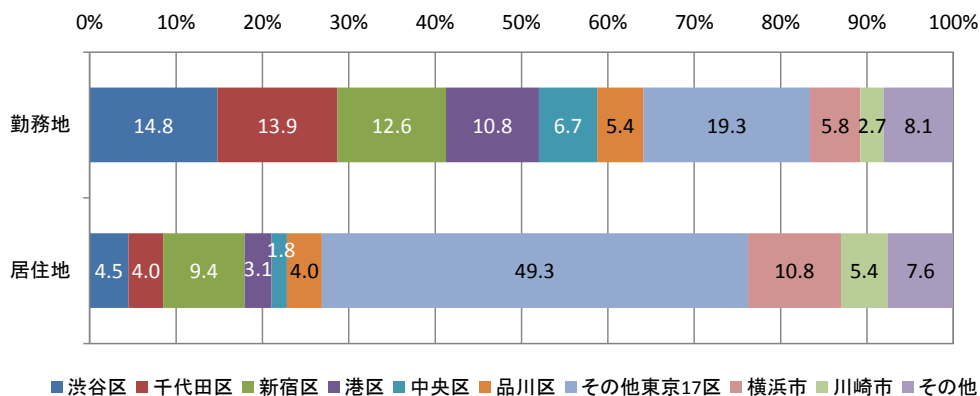
図 3-34 日本での赴任形態（SA）



2) 住まいと勤務先の所在地と通勤時間

- 回答者の日本での主要な勤務先の所在地は、「渋谷区」（14.8%）が最も多く、次いで「千代田区」（13.9%）、「新宿区」（12.6%）、「港区」（10.8%）、「中央区」（6.7%）、「品川区」（5.4%）、「横浜市」（5.8%）、「川崎市」（2.7%）となっていた。
- 現在の居住地は、東京 23 区内が 76.2%を占めた。東京 23 区内では、「新宿区」（9.4%）、「大田区」（4.9%）、「江東区」（4.5%）、「世田谷区」（4.5%）等であった。

図 3-35 主要な勤務先の所在地及び日本での居住地（SA）



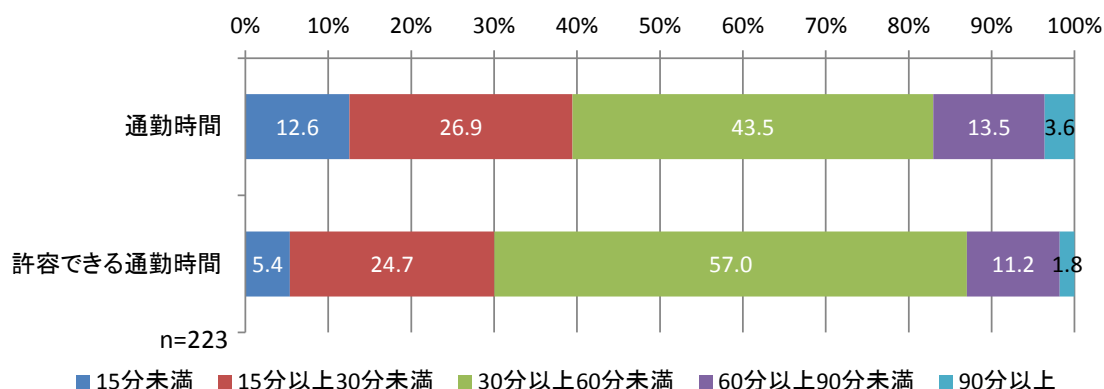
注) 勤務地の「その他東京 18 区」の内訳は以下のとおり。台東区 (3.1%)、豊島区 (2.7%)、江東区、足立区 (各 2.2%)、文京区、世田谷区 (各 1.8%)、中野区 (1.3%)、目黒区、大田区、練馬区、江戸川区 (各 0.9%)、墨田区 (0.4%)。

居住地の「その他東京 18 区」の内訳は以下のとおり。大田区 (4.9%)、江東区、世田谷区 (各 4.5%)、杉並区、豊島区 (各 4.0%)、足立区 (3.6%)、台東区、目黒区、練馬区、江戸川区 (各 3.1%)、荒川区 (2.7%)、文京区 (2.2%)、北区 (1.8%)、中野区 (1.3%)、板橋区、墨田区 (各 0.9%)

a. 自宅から会社までの通勤時間及び許容できる通勤時間

- 通勤時間は「30分以上60分未満」が43.5%、「15分以上30分未満」が26.9%となっており、30分未満の人を合わせると70.4%となっていた。
- 許容できる通勤時間としては、「30分以上60分未満」が最も多く（57.0%）、次いで「15分以上30分未満」（24.7%）となっていた。

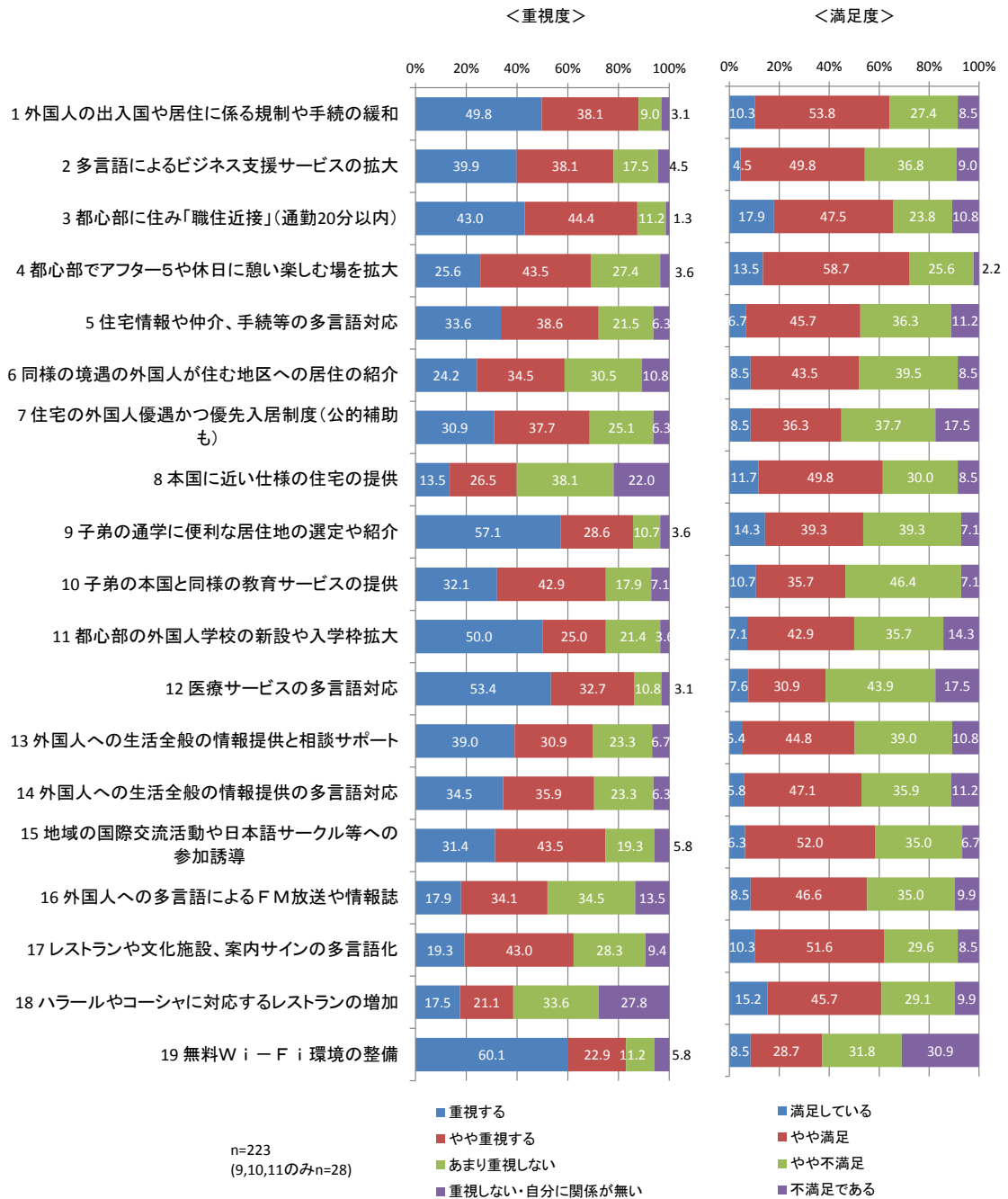
図 3-36 自宅から会社までの通勤時間及び許容できる通勤時間 (SA)



3) 日本での生活をより豊かに快適にするための諸方策

- 日本での生活をより豊かに快適にするための諸方策に関して、在日外国人がどの程度重視し、また満足しているかという評価を19項目について尋ねた。
- 「重視する」という回答が多かったのは、「1：外国人の出入国や居住に係る規制や手続の緩和」、「2：多言語によるビジネス支援サービスの拡大」、「3：都心部に住み「職住近接」（通勤20分以内）」、「12：医療サービスの多言語対応」、「13：外国人への生活全般の情報提供と相談サポート」、「19：無料Wi-Fi環境の整備」であった。
- 上記の項目の中で、「満足している」という回答の割合が特に高かったのは「1：外国人の出入国や居住に係る規制や手続の緩和」、「3：都心部に住み「職住近接」（通勤20分以内）」である。
- 「不満足である」という回答の割合が高かったのは、「7：住宅の外国人優遇かつ優先入居制度（公的補助も）」、「12：医療サービスの多言語対応」、「19：無料Wi-Fi環境の整備」であった。
- 「9：子弟の通学に便利な居住地の選定や紹介」、「10：子弟の本国と同様の教育サービスの提供」、「11：都心部の外国人学校の新設や入学枠拡大」の子どもに関連する項目は、子供のいる回答者のみの回答を分析した。その結果、「9：子弟の通学に便利な居住地の選定や紹介」、「11：都心部の外国人学校の新設や入学枠拡大」に関しては「重視する」という回答が半数以上であり、子育て世帯における教育環境の重要性（多言語）が伺える。

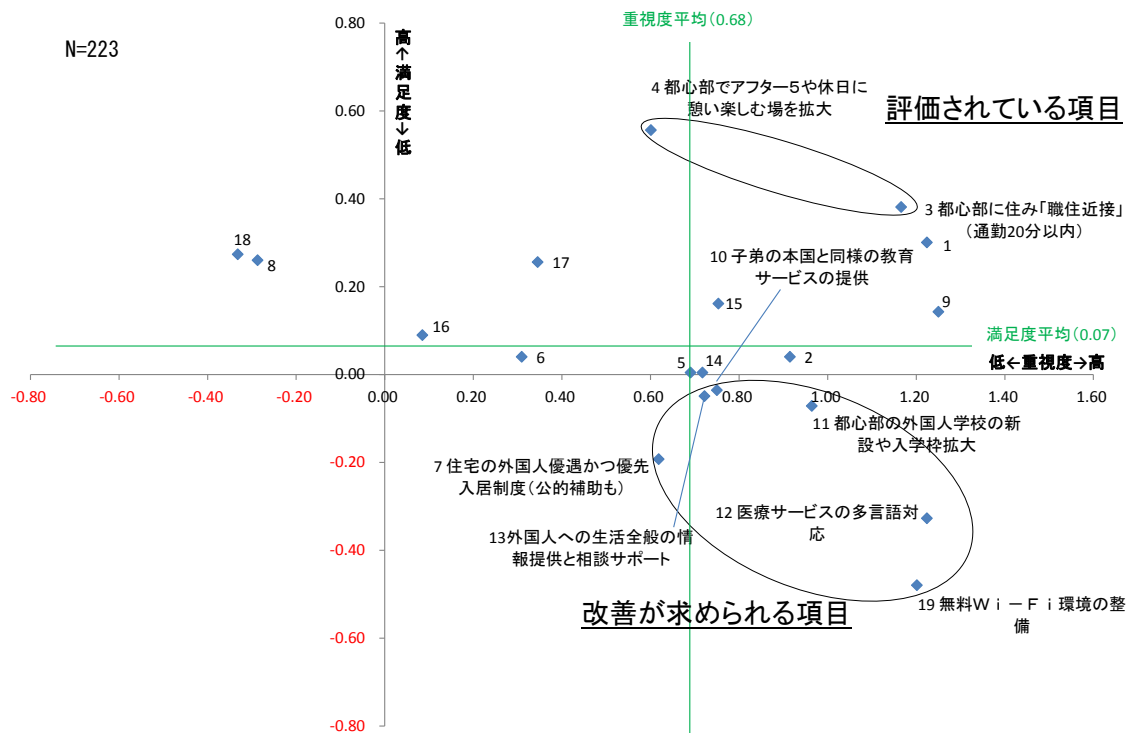
図 3-37 日本での生活をより豊かに快適にするための諸方策（SA）



注) 諸方策 9、10、11 に関しては、子供がいる回答者のみ (N=28) を対象にグラフを作成した。

- 下図は、日本での生活をより豊かに快適にするための諸方策に関して、重視度、満足度それぞれを点数化して、各項目の分布を示したものである。
- 重視度・満足度ともに高かったのは、「1：外国人の出入国や居住に係る規制や手続の緩和」、「3：都心部に住み「職住近接」（通勤20分以内）」、「4：都心部でアフター5や休日に憩い楽しむ場を拡大」であった。本アンケート調査では、若年層（20代48.9%・30代43.9%（図3-2））の回答が多く、また、単身（71.3%）又は夫婦のみ（13.0%）での赴任形態（図3-34）が多くなっており、都心部で職住近接を実現できている者が多いと想定される。
- 一方、重視度は高いが満足度が低い、改善すべき項目としては、「7：住宅の外国人優遇かつ優先入居制度（公的補助も）」、「12：医療サービスの多言語対応」、「19：無料Wi-Fi環境の整備」、「13：外国人への生活全般の情報提供と相談サポート」が挙げられる。
- また、子どもを持つ回答者に限った回答では、「10：子弟の本国と同様の教育サービスの提供」や「11：都心部の外国人学校の新設や入学枠拡大」が重視度は高いものの満足度は低く、改善が求められる。

図 3-38 日本での生活をより豊かに快適にするための諸方策（SA）



注) 日本での生活をより豊かに快適にするための諸方策についての尋ねた各項目の重視度、満足度について、「重視する」、「満足している」を+2点、「やや重視する」、「やや満足」を+1点、「あまり重視しない」、「やや不満足」を-1点、「重視しない」、「不満足である」を-2点と配点し、各選択肢の分布図を作成した。

諸方策9、10、11に関しては、子供がいる回答者のみを対象に分布図を作成した。

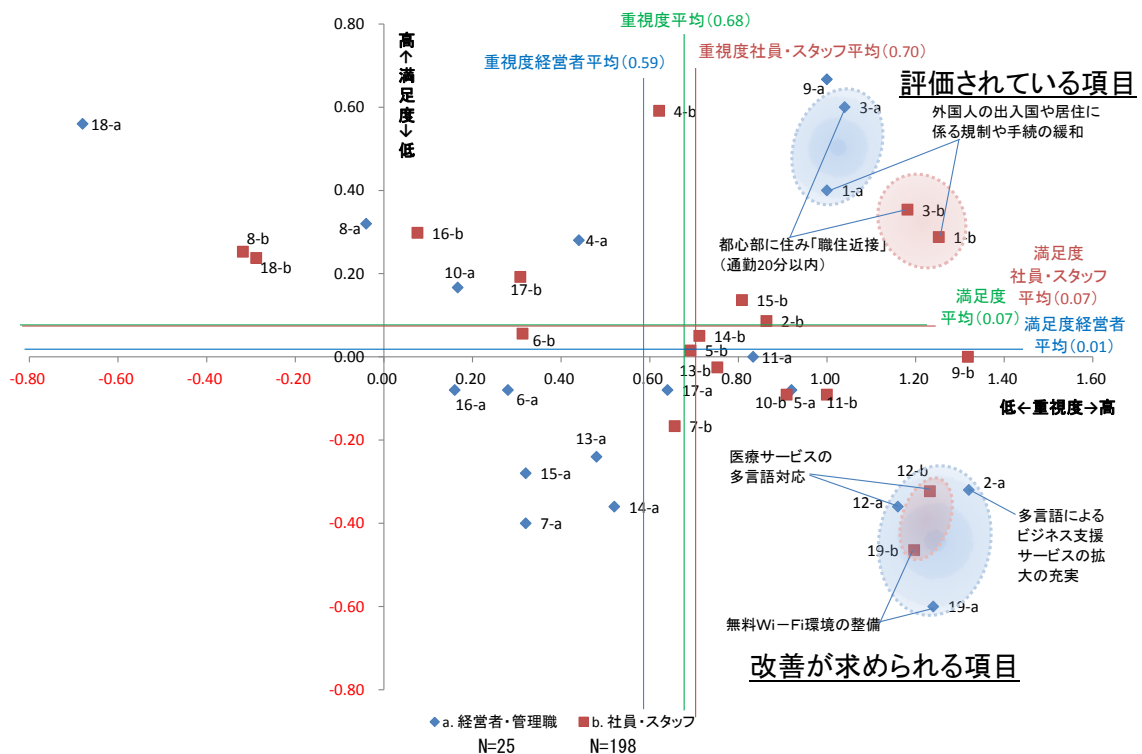
表 3-10 日本での生活をより豊かに快適にするための諸方策
(重視度、満足度上位順)

重視度順位	重視度	満足度	満足度順位	重視度	満足度
9 子弟の通学に便利な居住地の選定や紹介	1.25	0.14	4 都心部でアフター5や休日に憩い楽しむ場を拡大	0.60	0.56
1 外国人の出入国や居住に係る規制や手続の緩和	1.22	0.30	3 都心部に住み「職住近接」(通勤 20 分以内)	1.17	0.38
12 医療サービスの多言語対応	1.22	-0.33	1 外国人の出入国や居住に係る規制や手続の緩和	1.22	0.30
19 無料Wi-Fi環境の整備	1.20	-0.48	18 ハラールやコーシャに対応するレストランの増加	-0.33	0.27
3 都心部に住み「職住近接」(通勤 20 分以内)	1.17	0.38	8 本国に近い仕様の住宅の提供	-0.29	0.26
11 都心部の外国人学校の新設や入学枠拡大	0.96	-0.07	17 レストランや文化施設、案内サインの多言語化	0.35	0.26
2 多言語によるビジネス支援サービスの拡大	0.91	0.04	15 地域の国際交流活動や日本語サークル等への参加誘導	0.75	0.16
15 地域の国際交流活動や日本語サークル等への参加誘導	0.75	0.16	9 子弟の通学に便利な居住地の選定や紹介	1.25	0.14
10 子弟の本国と同様の教育サービスの提供	0.75	-0.04	16 外国人への多言語によるFM放送や情報誌	0.09	0.09
13 外国人への生活全般の情報提供と相談サポート	0.72	-0.05	2 多言語によるビジネス支援サービスの拡大	0.91	0.04
5 住宅情報や仲介、手続等の多言語対応	0.72	0.00	6 同様の境遇の外国人が住む地区への居住の紹介	0.31	0.04
14 外国人への生活全般の情報提供の多言語対応	0.69	0.00	5 住宅情報や仲介、手続等の多言語対応	0.72	0.00
7 住宅の外国人優遇かつ優先入居制度(公的補助も)	0.62	-0.19	14 外国人への生活全般の情報提供の多言語対応	0.69	0.00
4 都心部でアフター5や休日に憩い楽しむ場を拡大	0.60	0.56	10 子弟の本国と同様の教育サービスの提供	0.75	-0.04
17 レストランや文化施設、案内サインの多言語化	0.35	0.26	13 外国人への生活全般の情報提供と相談サポート	0.72	-0.05
6 同様の境遇の外国人が住む地区への居住の紹介	0.31	0.04	11 都心部の外国人学校の新設や入学枠拡大	0.96	-0.07
16 外国人への多言語によるFM放送や情報誌	0.09	0.09	7 住宅の外国人優遇かつ優先入居制度(公的補助も)	0.62	-0.19
8 本国に近い仕様の住宅の提供	-0.29	0.26	12 医療サービスの多言語対応	1.22	-0.33
18 ハラールやコーシャに対応するレストランの増加	-0.33	0.27	19 無料Wi-Fi環境の整備	1.20	-0.48
平均	0.68	0.07	平均	0.68	0.07

注) 諸方策 9、10、11 に関しては、子供がいる家庭のみを対象に重視度、満足度を算出した。

- 下図は、日本での生活をより豊かに快適にするための諸方策に関して、職階別（経営者・管理職と社員・スタッフ別）で重視度、満足度それぞれを点数化して、各項目の分布を示したものである。
- 重視度・改善度双方とも高かったのは、経営者・管理職、社員・スタッフともに、「1：外国人の出入国や居住に係る規制や手続の緩和」、「3：都心部に住み「職住近接」（通勤20分以内）」であった。
- 経営者・管理職において、重視度は高いが改善度が低い、改善すべき点として、「2：多言語によるビジネス支援サービスの拡大の充実」、「12：医療サービスの多言語対応」、「19：無料Wi-Fi環境の整備」、社員スタッフでは「12：医療サービスの多言語対応」、「19：無料Wi-Fi環境の整備」が挙げられる。
- 経営者・管理職、社員・スタッフともに、「12：医療サービスの多言語対応」及び「19：無料Wi-Fi環境の整備」の満足度は低く、より一層の改善が求められる。
- なお、経営者・管理職のみの特徴として、「2：多言語によるビジネス支援サービスの拡大」で特に重視度は高いが満足度は低い。これは他の質問項目においても「多言語環境への対応」が主な課題として挙げられていたことと同様の背景と考えられる。

図 3-39 職階別・日本での生活をより豊かに快適にするための諸方策（SA）



注) 日本での生活をより豊かに快適にするための諸方策について尋ねた各項目の重視度、満足度について、「重視する」、「満足している」を+2点、「やや重視する」、「やや満足」を+1点、「あまり重視しない」、「やや不満足」を-1点、「重視しない」、「不満足である」を-2点と配点し、各選択肢の分布図を作成した。

諸方策9、10、11に関しては、子供がいる家庭のみを対象に分布図を作成した。

No.	日本での生活をより豊かに快適にするための諸方策
1	外国人の出入国や居住に係る規制や手続の緩和
2	多言語によるビジネス支援サービスの拡大
3	都心部に住み「職住近接」（通勤 20 分以内）
4	都心部でアフター 5 や休日に憩い楽しむ場を拡大
5	住宅情報や仲介、手続等の多言語対応
6	同様の境遇の外国人が住む地区への居住の紹介
7	住宅の外国人優遇かつ優先入居制度（公的補助も）
8	本国に近い仕様の住宅の提供
9	子弟の通学に便利な居住地の選定や紹介
10	子弟の本国と同様の教育サービスの提供
11	都心部の外国人学校の新設や入学枠拡大
12	医療サービスの多言語対応
13	外国人への生活全般の情報提供と相談サポート
14	外国人への生活全般の情報提供の多言語対応
15	地域の国際交流活動や日本語サークル等への参加誘導
16	外国人への多言語によるFM放送や情報誌
17	レストランや文化施設、案内サインの多言語化
18	ハラルやコーシャに対応するレストランの増加
19	無料W i - F i 環境の整備

4) 日本での生活・文化・諸活動で特に気に入っていることと、気に入らないこと

- 日本での生活・文化・諸活動で特に気に入っていること、気に入らないことについての記述回答を整理したところ、「都市」、「自然」、「日本社会や日本人の人間性・生活様式」の3つに分類された。
- プラスの評価として、日本社会や日本人の人間性・生活様式を評価する意見が特に多かった。また、都市の安全性や清潔さ、利便性を評価する意見も多い。
- 一方、マイナスの評価として、ルールの多さや外国人受入への受容性、長時間労働といったダイバーシティ社会の実現に向けた課題や混雑、通勤ラッシュなどが指摘されている。

表 3-11 日本での生活・文化・諸活動で特に気に入っていること（記述回答）

		主な指摘
プラス 評価	日本社会や 日本人の 人間性・生活様式	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秩序がある ・ ルールを守る ・ 礼儀正しい ・ 時間に正確 ・ おもてなし ・ 日本の伝統的な文化（衣装や祭り、花火大会など） ・ アニメ・漫画といったエンターテインメントが豊富 ・ 食べ物がおいしい ・ 温泉文化 ・ 食べ物が安全 ・ 公共交通機関が便利
	都市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全 ・ きれい ・ 道がきれい ・ 空気がきれい ・ 便利である ・ 公共交通機関が便利 ・ 観光施設や案内板は完備されている ・ ヘルスケアサービスが充実
	自然	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四季 ・ 季節ごとの行事
マイナス 評価	日本社会や 日本人の 人間性・生活様式	<ul style="list-style-type: none"> ・ ルールが多い ・ 外国人を受け入れない（多言語環境ではない・外国人に対する差別など） ・ 日本人の国民性（神経質、冷たいなど） ・ 長時間労働 ・ 企業文化（上下関係・飲み会文化など） ・ ストレス社会 ・ 物価の高さ
	都市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 混雑 ・ 車を持ちにくい ・ 通勤ラッシュ ・ 公共の場や室内での喫煙
	自然	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏の暑さ ・ 自然災害（地震）

5) 日本での生活で感じる不安や不自由

- 母国にいるとき以上に、日本での生活で不安や不自由を感じるかについては、「感じる」が 11.7%、「少し感じる」が 39.5%、あわせて 51.2%となっている。一方、「ほとんど感じない」人は 48.9%と、不安を感じる人と感じない人がほぼ半々であるという結果であった。
- 日本での生活で感じた不安や不自由の内容は、「地震等の災害」(64.0%)が最も多く、次いで「言語・意思疎通」(47.4%)、「居住、就労等手続き」(40.4%)、「在留資格手続き」(28.1%)、「日本の学校・教育」(21.1%)、「病気やけが」(20.2%)となっている。

図 3-40 日本での生活で不安や不自由 (SA)

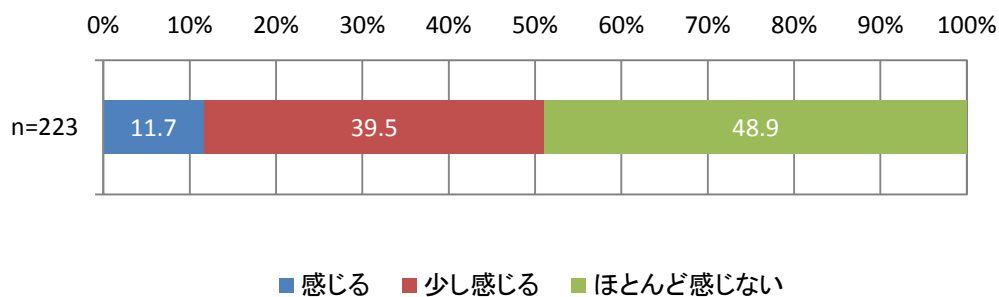
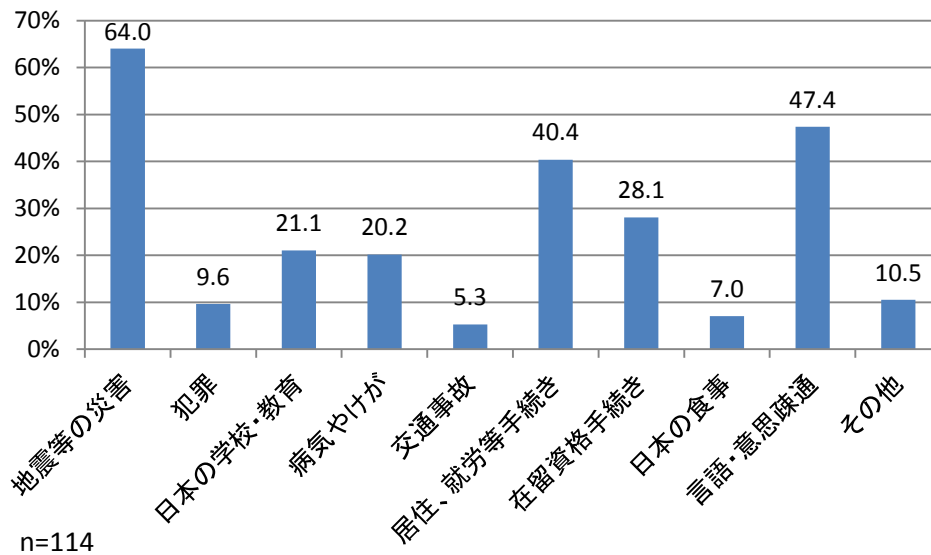


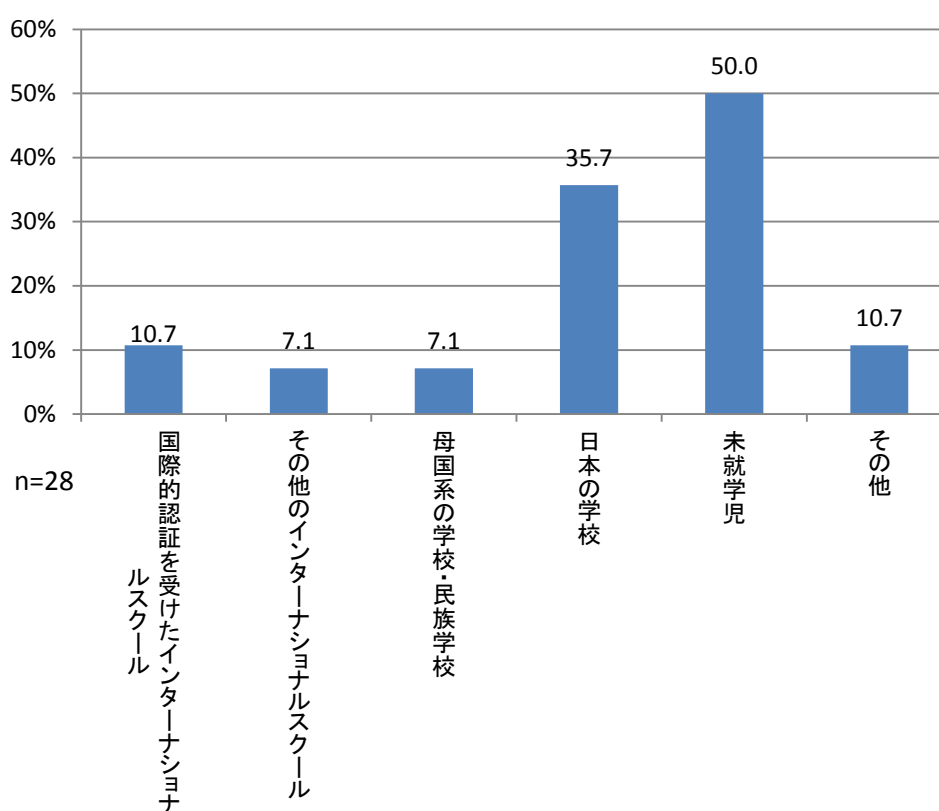
図 3-41 日本での生活で不安や不自由の内容 (MA)



6) 日本での教育・育児について

- 子どもの通学先を尋ねたところ、「未就学児」（50.0%）が最も多く、次いで、「日本の学校」（35.7%）に通う子どもが多かった。
- 「国際的認証を受けたインターナショナルスクール」に通う子どもは10.7%、「その他のインターナショナルスクール」は7.1%であった。
- 他の質問項目の分析結果（図 3-38）で「子弟の本国と同様の教育サービスの提供」や「都心部の外国人学校の新設や入学枠拡大」は、重視度が高いものの満足度が低い結果となっており、インターナショナルスクールに進学したくても通えず日本の学校に通っている子供が少なからずいるものと推察される。

図 3-42 子どもの通学先（SA）



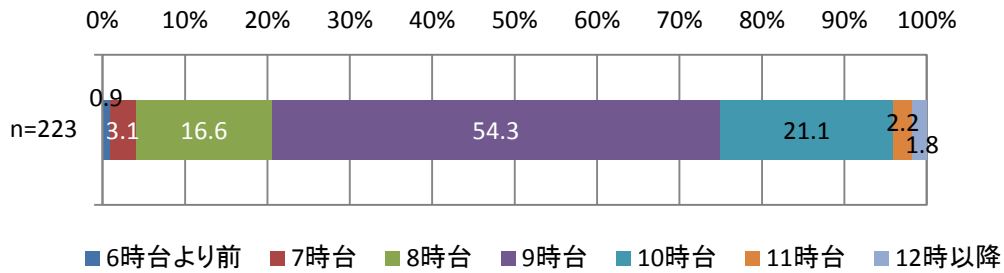
注) 国際認証を受けたインターナショナルスクールとは、国際的な教育認定団体が認める認定校であり、国際的な修了資格が認められる学校である。国際バカロレア、WASC (Western Association of Schools and Colleges、米国・西部学校大学協会)、CIS (Council of International Schools、英国・インターナショナルスクール会議)、ACSI (Association of Christian Schools International、キリスト教学校国際協会)等が日本にはある。

7) 外国人ビジネスマンの余暇の過ごし方

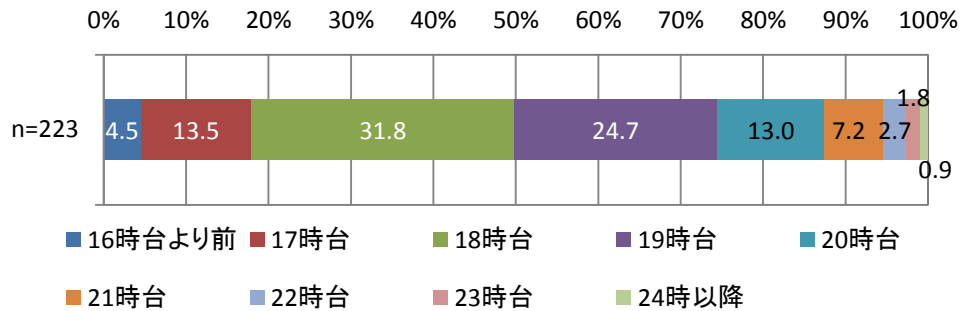
- 勤務開始時間は、「9 時台」が過半数（54.3%）で、次いで「10 時台」（21.1%）、「8 時台」（16.6%）となっている。
- 勤務終了時間は、「18 時台」が最も多く（31.8%）、次いで「19 時台」（24.7%）、「17 時台」（13.5%）、「20 時台」（13.0%）となっている。

図 3-43 勤務開始時間及び勤務終了時間（記述回答）

勤務開始時間



勤務終了時間



- 休日のお気に入りの街や施設についてその理由と共に記述回答形式で尋ねたところ、回答者の休日の過ごし方には以下のような特徴があった。

表 3-12 休日のお気に入りの街・施設とその理由

		項目	理由
休日	お気に入りの街	新宿	<ul style="list-style-type: none"> ・ 便利、買い物しやすい ・ なんでもある ・ アクセスもいい
		渋谷	<ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物が便利 ・ 友達と一緒に遊べる ・ 賑やかで友達とよく渋谷で食事をする
		池袋	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家に近い ・ サブカルチャー豊かな街 ・ 自宅に近くて買い物や外食に便利
		表参道	<ul style="list-style-type: none"> ・ おしゃれ ・ パンケーキ
		原宿	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園に近い ・ ショッピングができる ・ カフェもある
		銀座	<ul style="list-style-type: none"> ・ ショッピングが楽しめる ・ 豪華 ・ 好きなブランドが揃っている ・ 劇場がある
		上野	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安くて、外国の物産が多い ・ 買い物に便利 ・ 賑やかな雰囲気 ・ 上野公園
		浅草	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の文化に親しめる ・ 下町の雰囲気が好き ・ 日本の歴史と古い建物が好き
		吉祥寺	<ul style="list-style-type: none"> ・ おしゃれ ・ 何でもあり ・ 便利で落ち着ける ・ きれいで公園がある
		鎌倉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海も森もあり、ゆっくり、静かにすごせる環境 ・ 自然を楽しめる
	お気に入りの施設	公園（明治神宮・皇居・代々木公園・葛西臨海公園・新宿御苑など）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然を楽しめる ・ 開放感がある ・ 家族で楽しめる
		みなとみらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海に近い ・ きれい ・ 家族で楽しめる
		山（高尾山など）	<ul style="list-style-type: none"> ・ きれいな景色
		東京の郊外（江の島、鎌倉、日光など）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気分転換
		東京スカイツリー	<ul style="list-style-type: none"> ・ ショッピングに便利
		カフェ	<ul style="list-style-type: none"> ・ のんびりできる
		ジム・スポーツクラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 筋トレができる

表 3-13 アフターファイブのお気に入りの街・施設とその理由

		項目	理由
アフターファイブ	お気に入りの街	新宿	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飲み屋が多い ・ アクセスが良い ・ レストランや商業施設がそろっている
		渋谷	<ul style="list-style-type: none"> ・ ショッピング ・ レストランが多い ・ アクセスが良い ・ クラブやバーがある
		池袋	<ul style="list-style-type: none"> ・ 帰宅途中に寄りやすい ・ 各国のおいしい料理がある ・ アクセスが良い
		銀座	<ul style="list-style-type: none"> ・ オフィスに近い ・ ウィンドウショッピング
		表参道	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊びやすい ・ おしゃれ ・ 観光客が多い ・ 友達とよくぶらぶらする
		恵比寿	<ul style="list-style-type: none"> ・ おしゃれ ・ おしゃれなレストランで友達と交流
		六本木	<ul style="list-style-type: none"> ・ レストランが多くておいしい ・ バーがある
		秋葉原	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電化製品を買える
	お気に入りの施設	家で過ごす	<ul style="list-style-type: none"> ・ リラックス ・ 家族と過ごす ・ 家族と夕飯を食べる ・ 読書や勉強のため
		公園	<ul style="list-style-type: none"> ・ リラックス ・ ジョギングや散歩
		ジム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動が好き ・ リフレッシュできる
		レストラン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近くて便利 ・ 同僚と話ができる
		居酒屋	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同僚との飲み会など

3.2.4 住まい・居住環境に関する外国人ビジネスマンのニーズや課題

1) 現在の住宅の形態

- 現在の住宅の形態は「戸建」が 27.8%、「集合住宅」が 62.3%、「サービスアパートメント」が 9.9%となっている。
- 職階別にみると、経営者は戸建て住宅の方が集合住宅をやや上回るのに対して、管理職や社員スタッフは、6割超が集合住宅に居住している。なお、管理職や社員スタッフでは約 1割がサービスアパートメントを利用していることも特徴的である。

図 3-44 現在の住宅の形態 (SA)

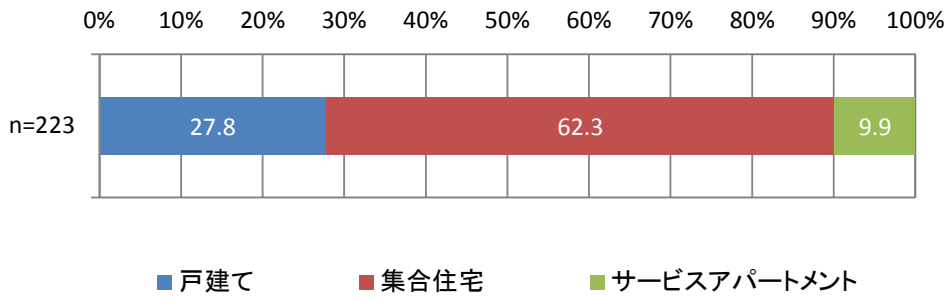
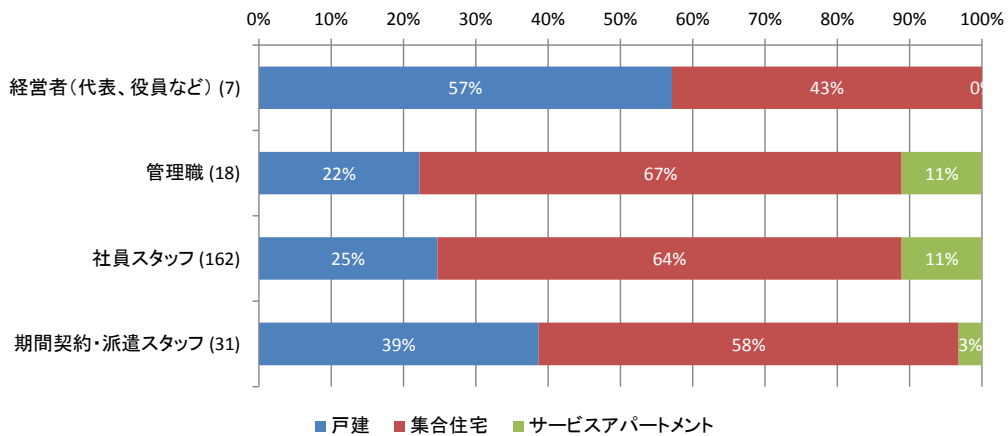


図 3-45 職階別の現在の住宅の形態 (SA)

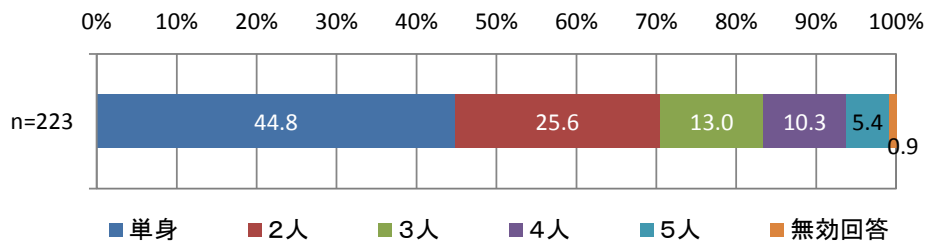


注) 職階別の回答のうち、その他 (5) は除いた。

2) 現在の同居人数

- 現在の同居人数は「単身」が 44.8% であり、次いで「2人」(25.6%)、「3人」(13.0%)、「4人」(10.3%) となっていた。

図 3-46 現在の同居人数 (回答者自身を含む) (記述回答)

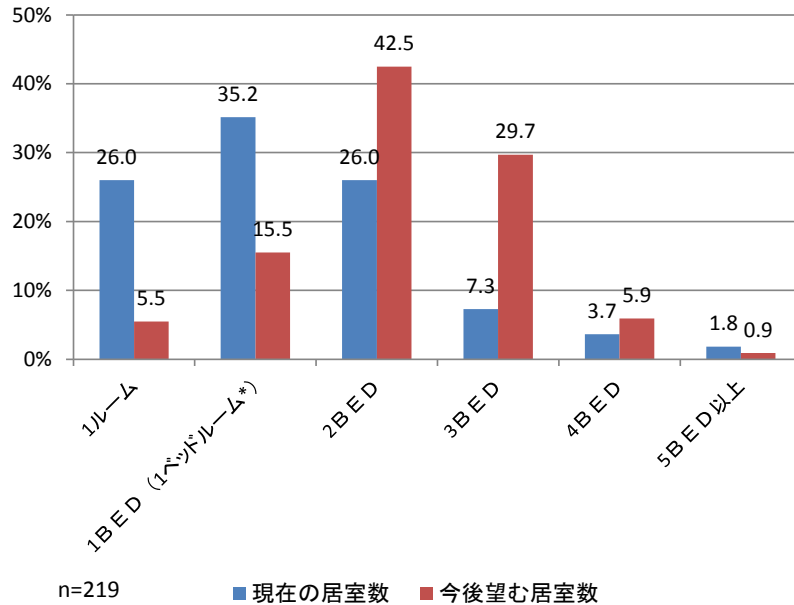


3) 住宅の居室数の現状と今後の要望

- 現在の居室数は、「1ルーム」が 26.0%、「1BED」が 35.2%、「2BED」が 26.0%、「3BED」が 7.3%、「4BED」以上が 5.5% となっている。
- 今後希望の居室数は、1ルームが 5.5%、「1BED」が 15.5%、「2BED」が 42.5%、「3BED」が 29.7%、「4BED」以上が 6.8% となっている。

- 現在から今後希望への変化をみると、1ルーム・「1BED」が減少し、「2BED」・「3BED」が大幅に増加しており、現在の居室数と比べて1-2室多い住宅を求めるニーズがうかがえる。

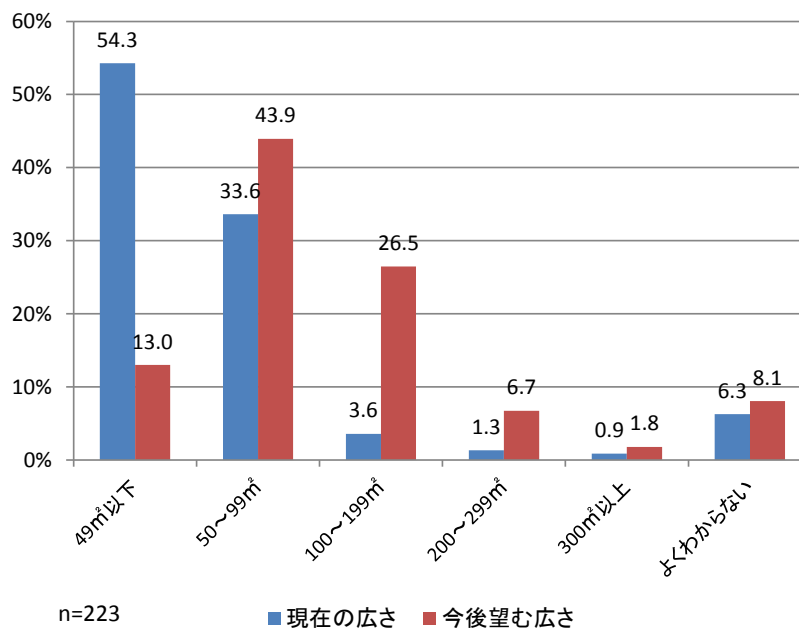
図 3-47 住まいの居室数（現在／将来）（SA）



4) 住宅の広さの現状と今後の希望

- 現在の住宅の広さは、「49 m²以下」が 54.3%と最も多く、次いで「50-99 m²」が 33.6%となっている。
- 今後の希望は、「50-99 m²」が 43.9%と最も多く、次いで「100 m²台」が 26.5%、「49 m²以下」が 13.0%となっている。

図 3-48 住まいの広さ（現在／将来）（SA）



5) 現在の住まいの総合的な満足度

- 現在の住まいの総合的な満足度は、「非常に満足」が9.9%、「満足」が35.9%、「やや満足」が37.2%となっており、8割超が現在の住まいに満足している。
- 一方、不満足とする人を合わせても、17.0%となっている。
- 現在の住まいについて、職階別では、経営者や管理職の方が社員スタッフより満足している傾向にある。

図 3-49 現在の住まいの総合的な満足度 (SA)

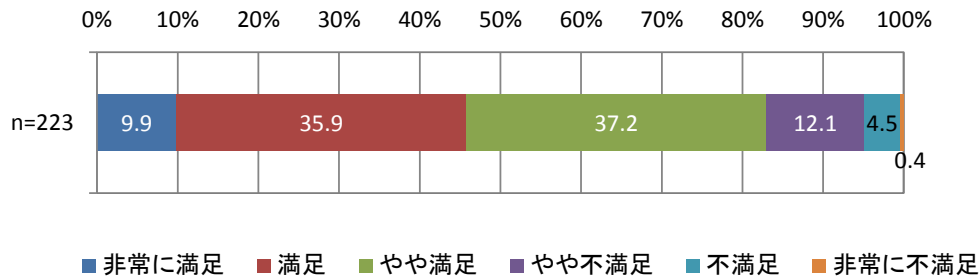
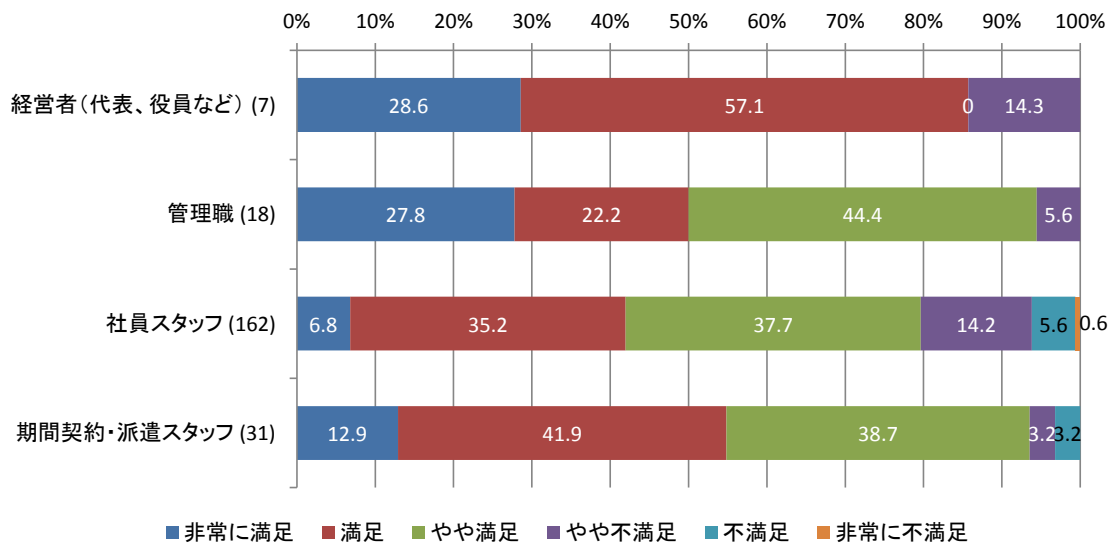


図 3-50 職階別の現在の住まいの総合的な満足度 (SA)



注) 職階別の回答のうち、その他 (5) は除いた。

6) 住まいや居住環境に求めることとその理由

- 住まいや居住環境に求めることとその理由を記述回答で尋ねたところ、「立地条件や周辺環境」、「敷地条件・居住条件」、「室内環境」に関して、以下の要望が見受けられた。
- 立地条件や周辺環境では、「インターナショナルスクール・保育園など教育施設が充実している」や「駅に近い」、「会社に近い」など、子弟の教育環境や職住近接を求める意見等があった。また、「外国人を受け入れてくれる雰囲気」という、社会や地域における外国人に対する受容性に対する要望もあった。

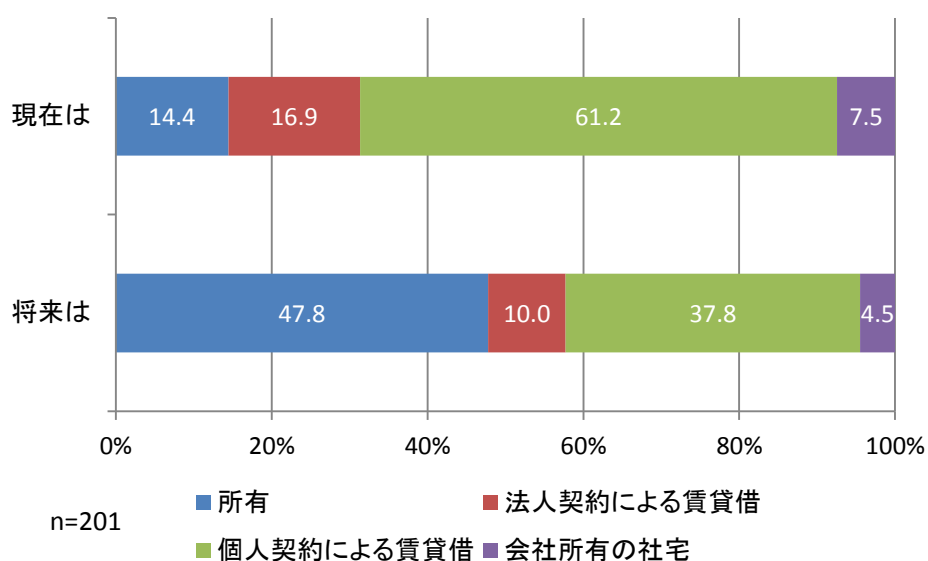
表 3-14 住まいや居住環境に求めることとその理由（記述回答）

項目	主な要望
立地条件や周辺環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターナショナルスクール・保育園など教育施設が充実している ・ 駅に近い ・ 会社と近い ・ スーパーやコンビニがあって買い物に便利な場所 ・ 外国人を受け入れてくれる雰囲気 ・ 治安の良さ ・ 静かな場所 ・ 自然が残っているところ など
敷地条件・居住条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広さ（家族やゲストのため） ・ 庭がついていること（BBQ、子どもと遊ぶ） ・ ペット可 ・ 値段（安さ） ・ 耐震性 ・ 日当たり ・ 景色がよいこと ・ 静かな場所 など
室内環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しさ ・ 間取り（料理が好きなのでキッチンが必須など） ・ 和室ではない ・ 収納が多いところ ・ 断熱材の導入などエネルギー効率がいいところ ・ ウォッシュレットトイレ ・ 24時間管理、セキュリティガードなどサービスがいいところ など

7) 住宅所有形態の現状と将来の選択

- 回答者（全体）の現在の住宅所有形態は、「所有」が 14.4%、「法人契約による賃貸借」が 16.9%、「個人契約による賃貸借」が 61.2%、「会社所有の社宅」が 7.5%となっている。
- 住宅所有形態についての将来の選択は、「所有」が 47.8%、「法人契約による賃貸借」が 10.0%、「個人契約による賃貸借」が 37.8%、「会社所有の社宅」が 4.5%と、「所有」への意向が強い。

図 3-51 住宅の所有形態の現状と将来の選択（SA）



添付資料 1 2006 年調査との比較・考察

1. はじめに

本資料は、2006 年に一般社団法人不動産協会で実施された「外国人ビジネスマンの都市・オフィス・居住ニーズ調査」（有効回答 118 票。以降、2006 年調査）と、今年度実施した同種の調査（有効回答 223 票。以降、2015 年調査）の結果について、比較考察を行ったものである。

回答者の概要に示す通り、2006 年調査は欧米の特に経営者や管理職層の意向等を把握することに重点を置き調査実施されたものである。一方、2015 年調査は、昨今のグローバル経済の中でのアジア地域の急激な成長とともに、その成長力を我が国に取り込む必要があるという観点等を踏まえ、欧米等の地域や一部の職階に限らず、幅広く外国人ビジネスパーソンの意向を把握することを目的として実施した。

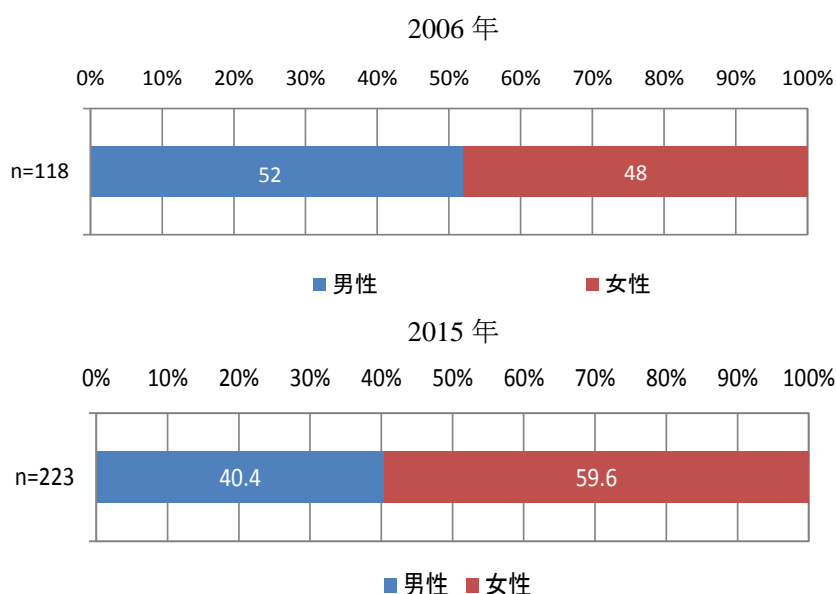
2006 年調査と 2015 年調査には、こうした対象の差異があるため、必ずしも正確な比較とはならないことに留意して読み進めていただきたい。

2. 回答者の概要

(1) 性別・年齢

- 2015 年調査はやや女性が多い。
- 年齢については 2015 年調査の方が全般的に若い世代が多い。

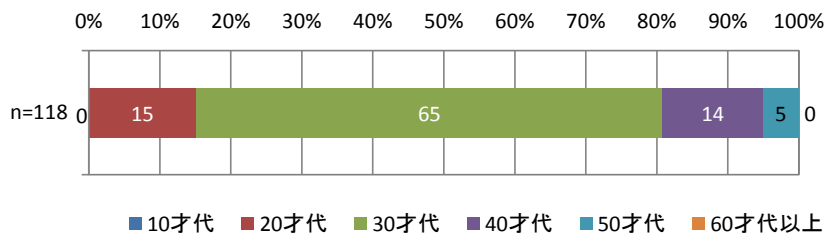
図 1 性別 (SA³)



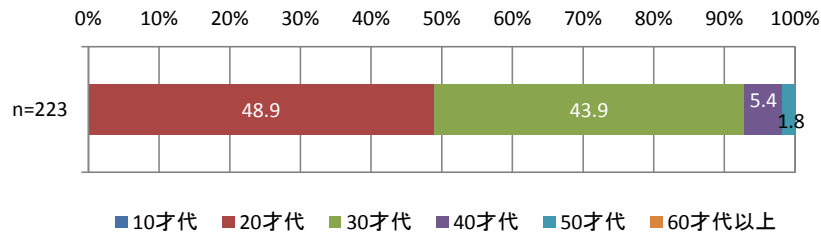
³ SA (single answer) : 単一回答設問のことを指す。

図 2 年齢 (SA)

2006 年



2015 年

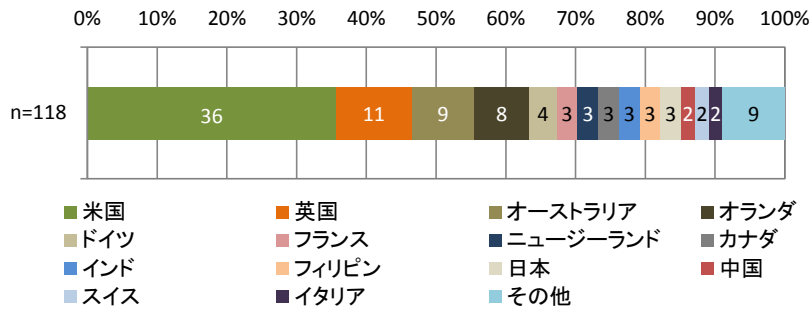


(2) ホームタウン (本拠地と認識している国 (地域))

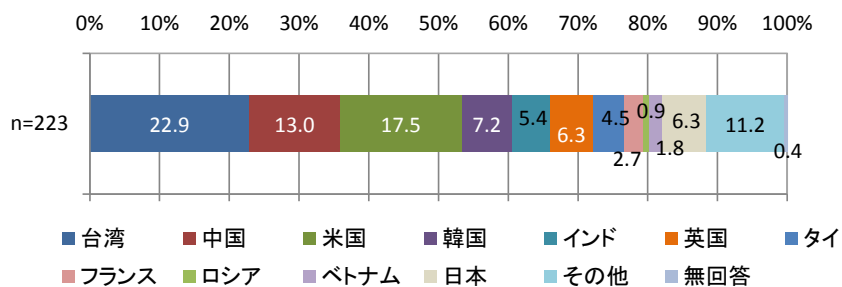
- 2006 年調査は、米国、英国などの欧米を重点対象としたため、下図のような割合となっている。
- 2015 年調査は東アジアをホームタウンとする回答者が多い。なお、この割合はアンケート調査会社のモニターの割合と概ね同様であった。

図 3 ホームタウン (本拠地と認識している国 (地域)) (SA)

2006 年



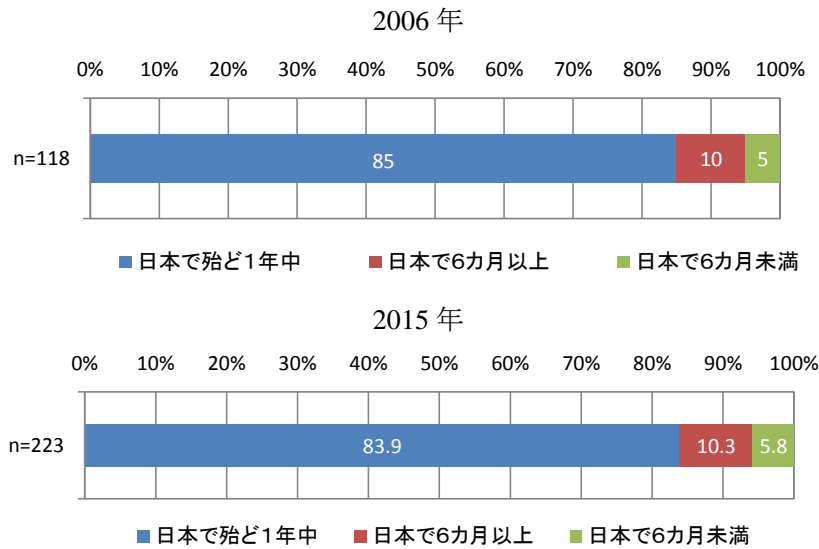
2015 年



(3) 1年間のうち日本で働いている期間

- 1年間のうち、日本で働く期間にかかる回答は2006年調査、2015年調査いずれも同様の結果となった。

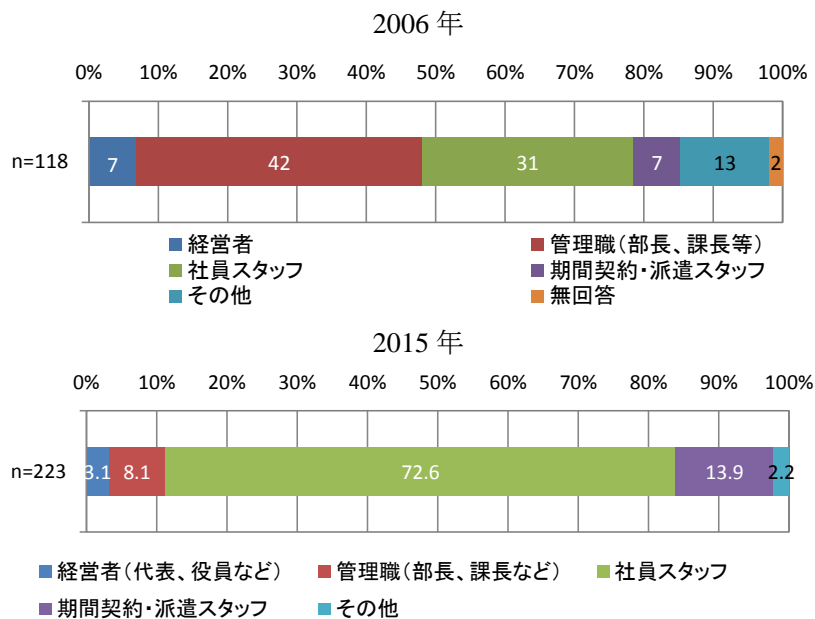
図 4 1年間のうち日本で働いている期間 (SA)



(4) 職階

- 2006年調査は経営者、管理者を重点対象として調査を実施した。
- 2015年調査は、職階を限定せず調査を実施した。そのため社員スタッフが最も多く、日本で働く外国人ビジネスパーソンの実態に近い割合になっている。

図 5 回答者の職階

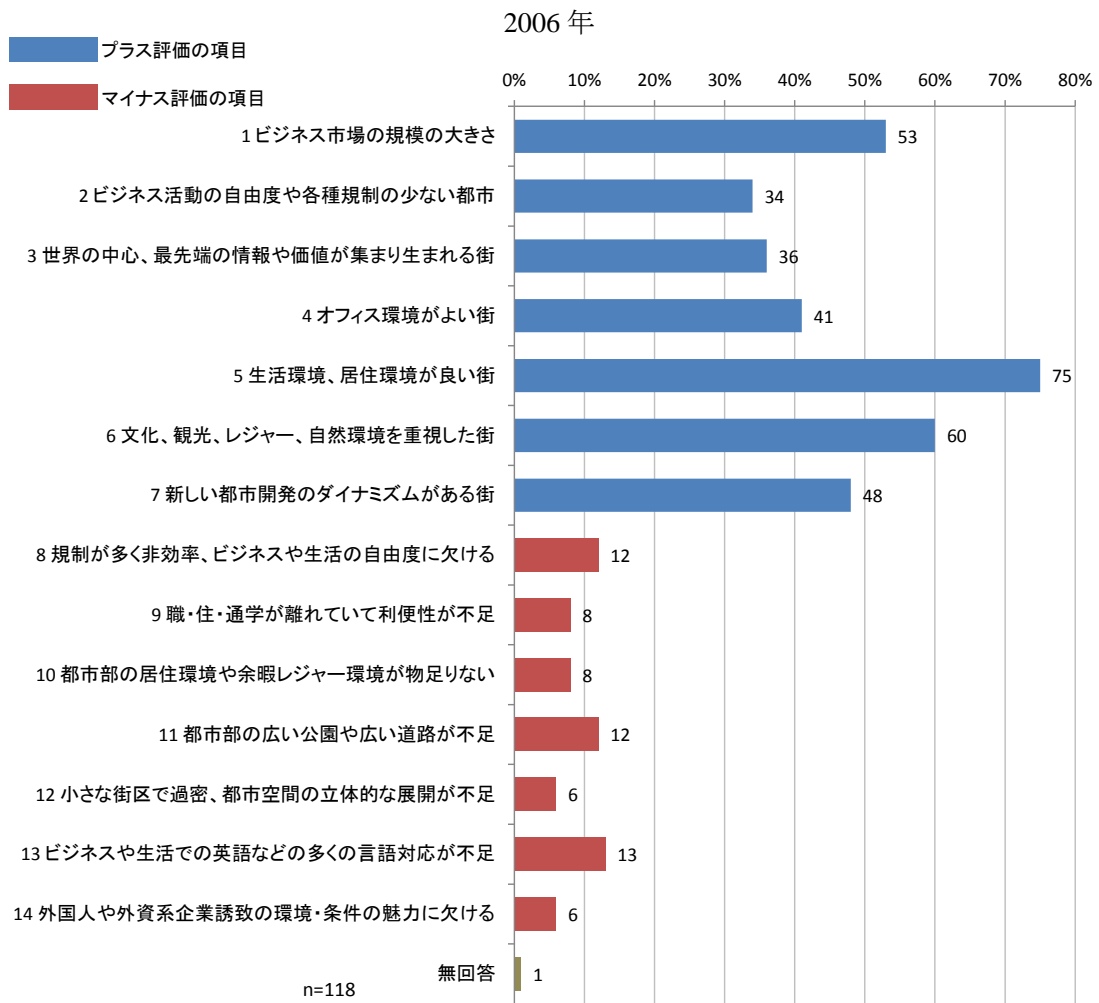


3. 「世界で最も住みたい都市」と東京との比較及び魅力向上策

(1) 世界で最も住みたい都市

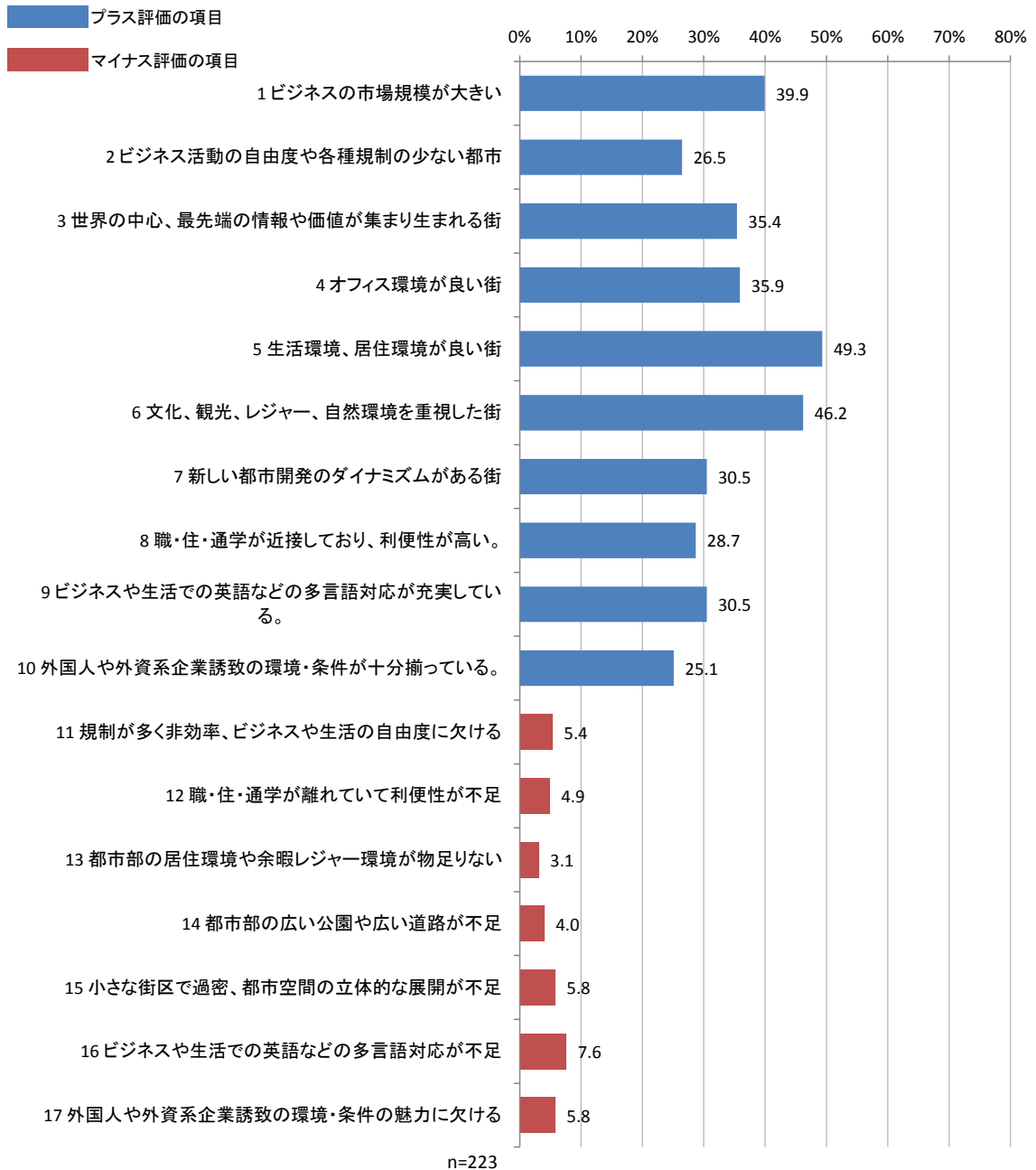
- 最も住みたい都市を評価する理由として、「5：生活環境、居住環境が良い街」という項目の回答者の割合が一番多いのは2006年調査、2015年調査同様の結果であった。
- 2015年調査では、「5：生活環境、居住環境が良い街」以外の項目を選択した回答者の割合との差が2006年に比べ小さく、求められている都市の評価軸が多様化していると考えられる。
- 住みたい都市に対するマイナス評価の項目は、全体的に数値が減少している。回答者が選んだ住みたい都市における、マイナス評価項目が改善されつつあると考えられる。
- ただし、2015年調査の結果に見られたように、経営者・管理者の方が社員・スタッフ等に比べて全般的に厳しい評価をする傾向にあり、2006年調査の方が経営者・管理職の割合が大きいことから、それらが影響した可能性もある。

図 6 世界で最も住みたい都市の評価（回答した都市に関わらず集計）（MA⁴）



⁴ MA (Multiple answer) :複数回答設問のことを指す。

2015 年

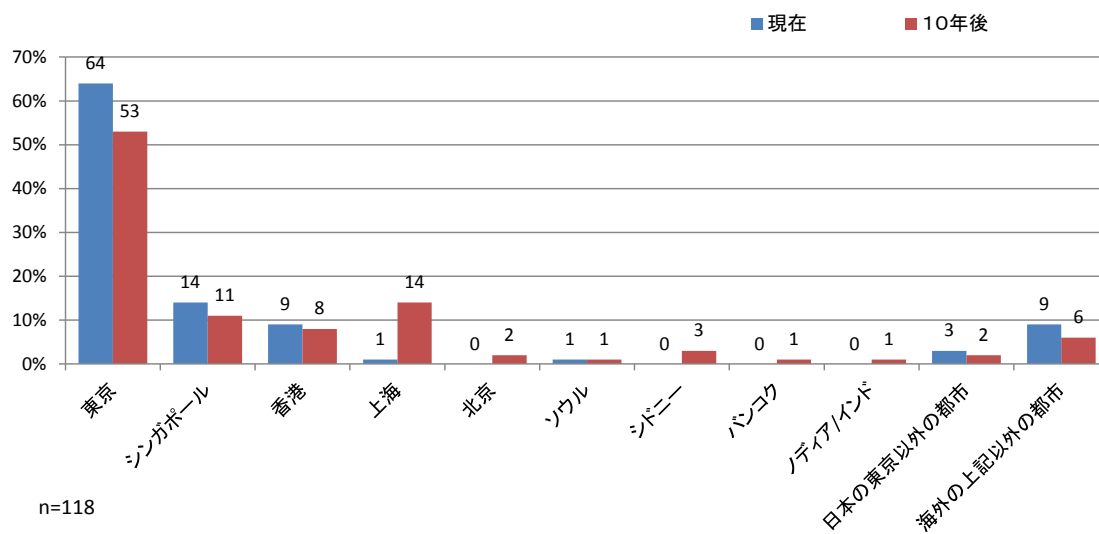


(2) アジア・オセアニアの中心拠点都市

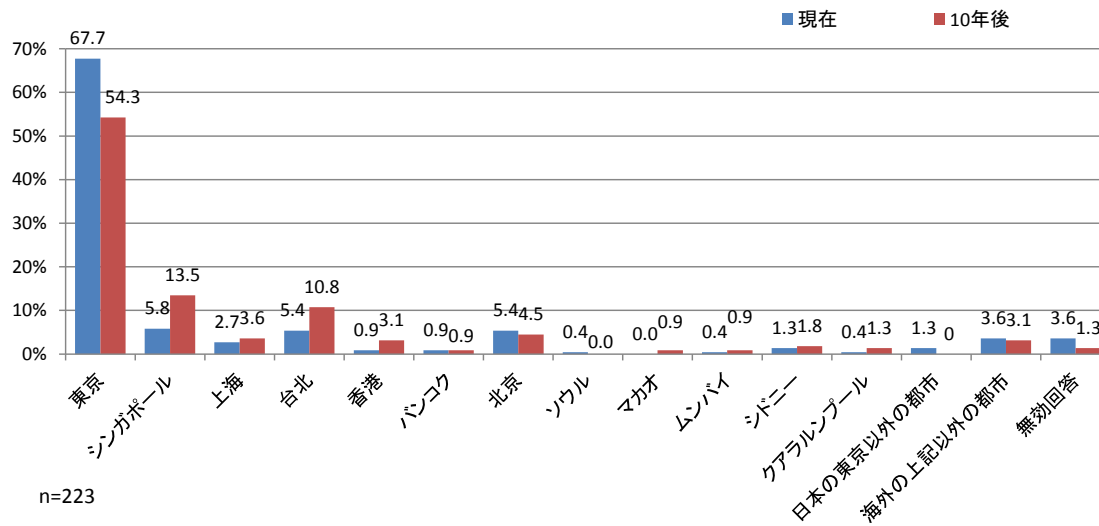
- 2006年調査、2015年調査、いずれも、「東京」を現在の中心拠点都市、予想する10年後の中心拠点都市と回答した回答者の割合が最も多い。
- 「シンガポール」は、2006年時点では、現在の中心拠点都市としての割合より10年後の中心拠点都市としての割合が減少していた。しかし、2015年調査では、逆転し、10年後の中心拠点都市として選ばれる割合が上昇している。
- 既往の都市のランキングの調査結果でも共通するようにアジアにおける東京の地位の相対的低下と、シンガポールの地位の向上が、従業者の実感として調査結果に表れたとも見て取れる。

図 7 回答者が予想する所属企業の10年後のアジア・オセアニアの中心拠点都市 (SA)

2006年



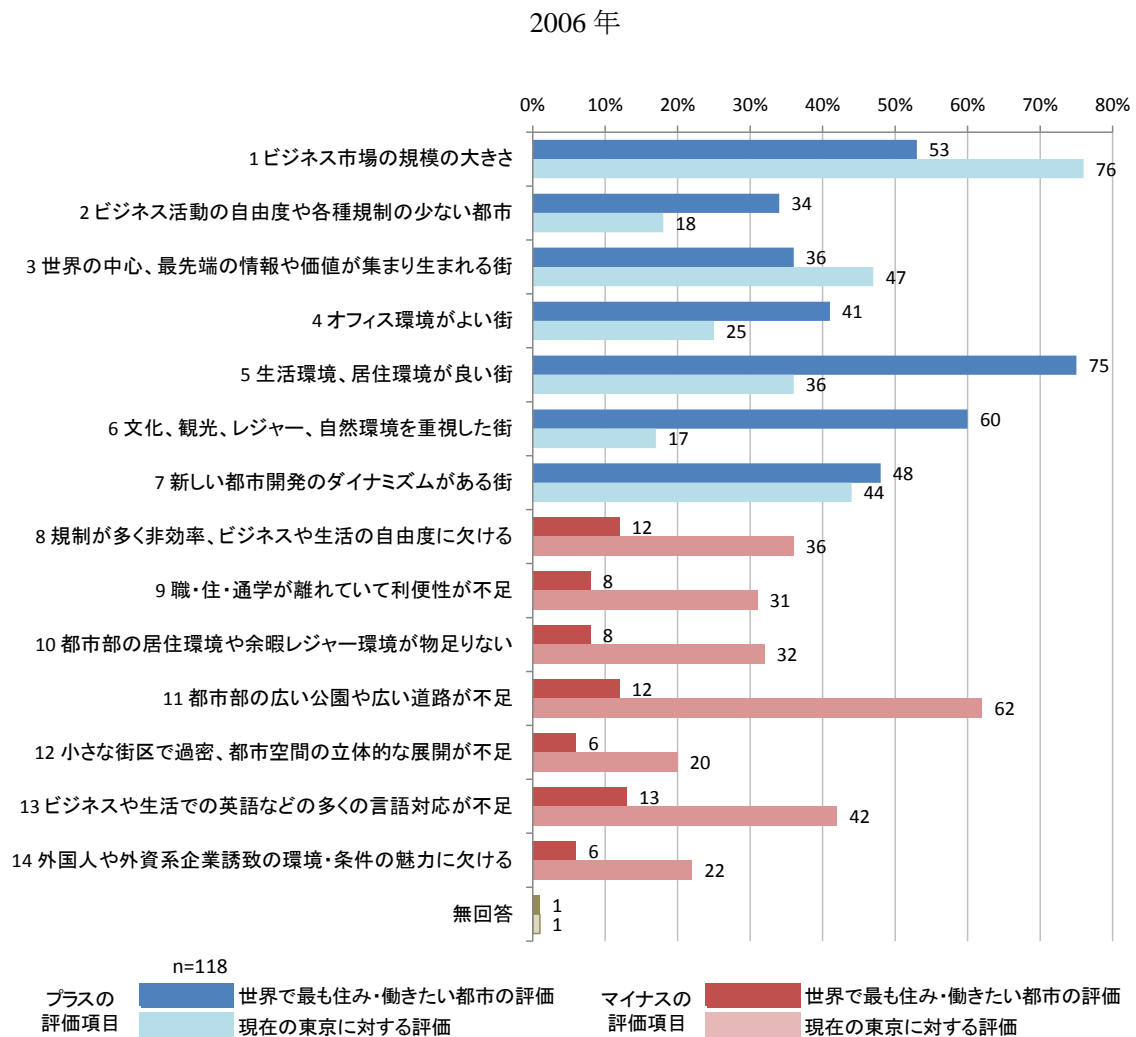
2015年



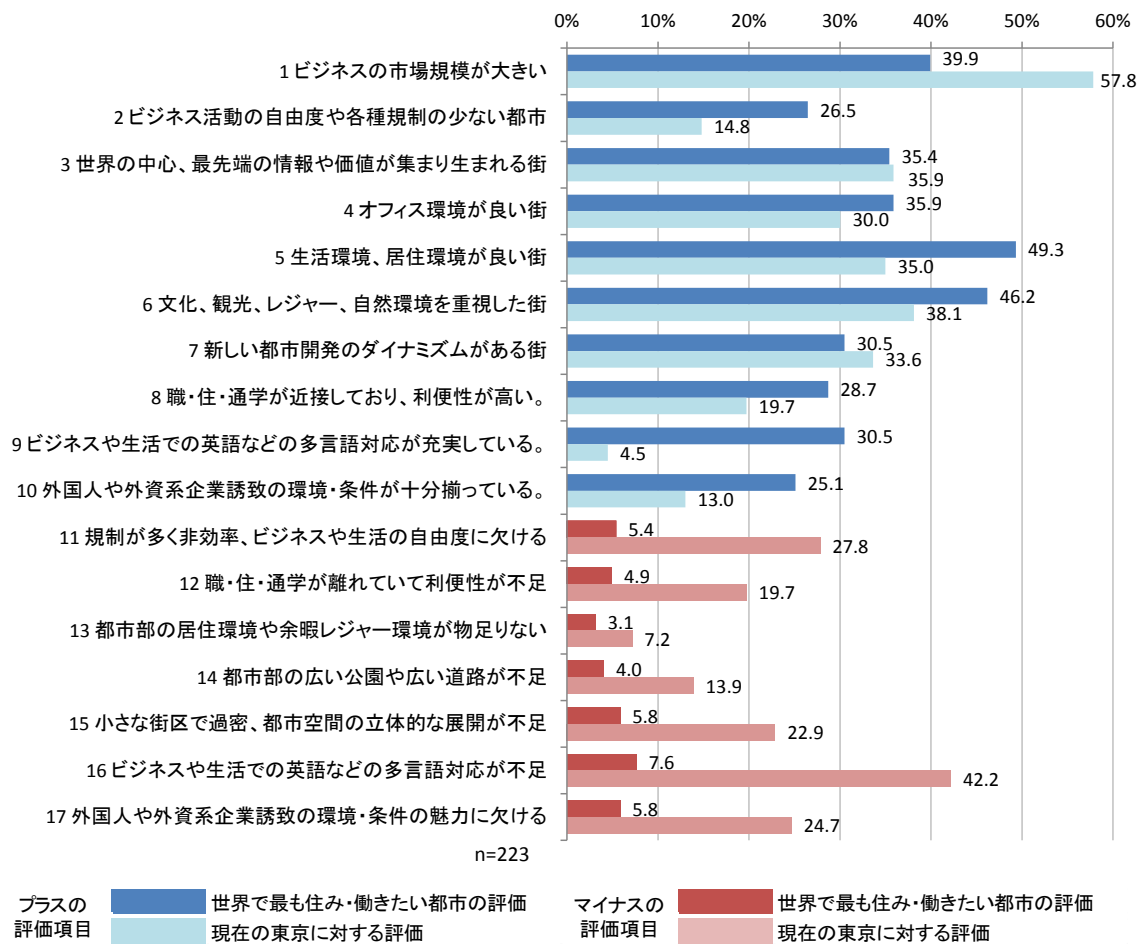
(3) 東京の評価

- プラスの評価項目では、2006年に比べ、2015年は、「5：生活環境、居住環境が良い街」、「6：文化、観光、レジャー、自然環境を重視した街」の2項目において、東京に対する評価が上昇し、最も住みたい都市に対する評価の割合との差が減少している。（経営者・管理者が2006年は多く、厳しい見方をしたとの可能性もある。）
- マイナスの評価項目では、2006年に割合の高かった「13：都市部の居住環境や余暇レジャー環境が物足りない」、「14：都市部の広い公園や広い道路が不足」の2項目において、2015年は割合が大幅に減少しており、ここ10年で改善されてきたとも考えられる。

図 8 最も住みたい都市に対する評価と現在の東京に対する印象 (MA)

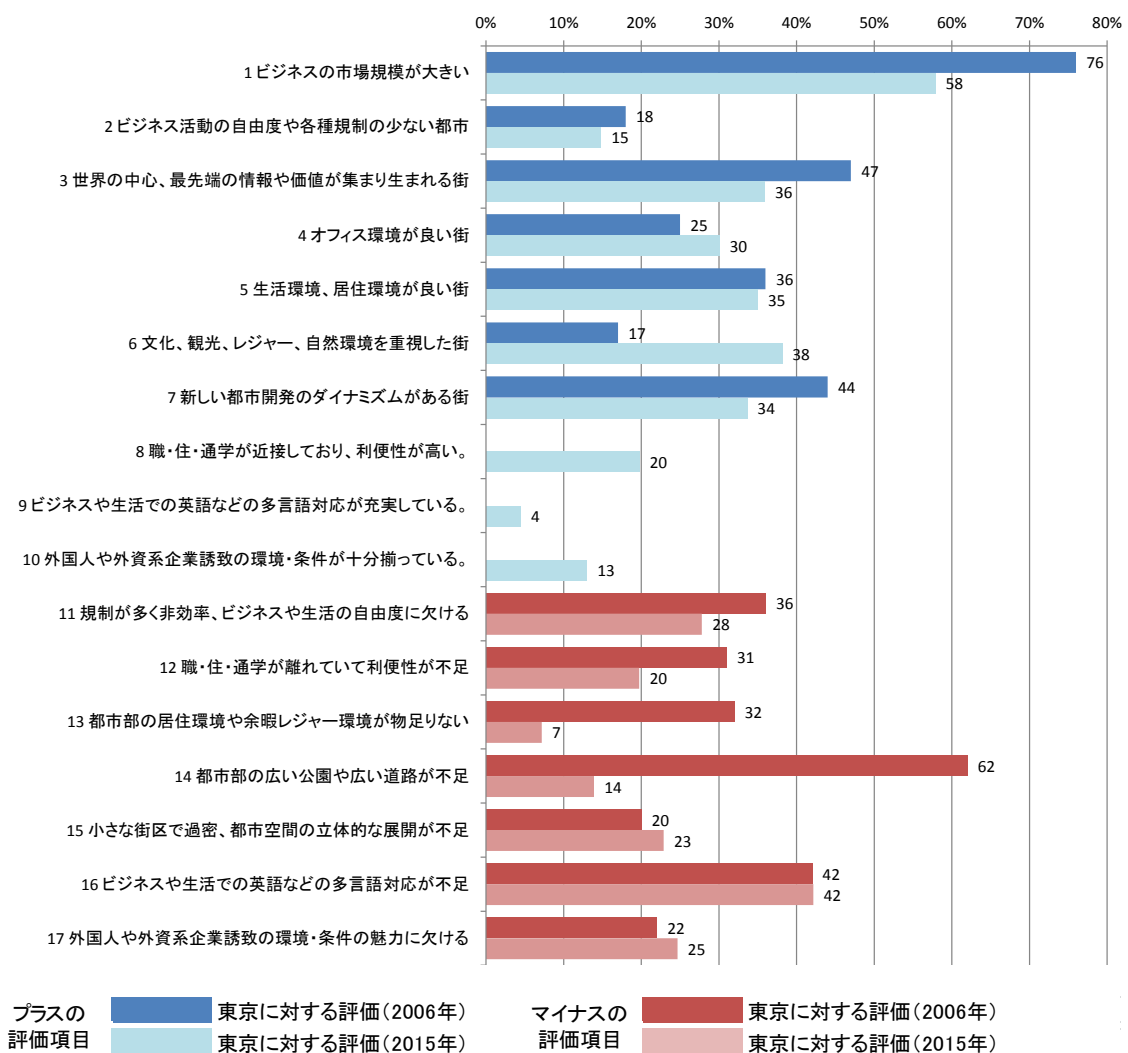


2015年



- 下図は、前図（図 3-3）で掲載した 2006 年調査と 2015 年調査の東京に対する評価結果を上下に示した図である。
- 2006 年当時、東京は「ビジネスの市場規模が大きい」について、圧倒的に高く評価されていたが、2015 年調査では評価を下げる結果となった。
- ICT 技術に代替されることなく人や企業がそこに集まらなければ得られない価値に繋がる「世界の中心、最先端の情報や価値が集まり生まれる街」という評価も、アジア地域における競争下の中、東京の評価が相対的に下がる結果となった。
- 一方で、オフィス環境が良い街や、文化、観光、レジャー、自然環境を重視した街など、都市環境インフラそのものは改善、評価されている。
- このようにハード面の評価に改善が見られるものの、「世界の中心、最先端の情報や価値が集まり生まれる街」や「外国人や外資系企業誘致や環境・条件の魅力に欠ける」といったグローバルなビジネスの創出を期待できる環境づくりや、制度面でのビジネス環境の向上は引き続き大きな課題と言える。

図 9 東京に対する印象 2006 年と 2015 年の比較 (MA)



4. 日本での生活や仕事における外国人ビジネスマンのニーズや課題

(1) 日本での生活をより豊かに快適にするための諸方策

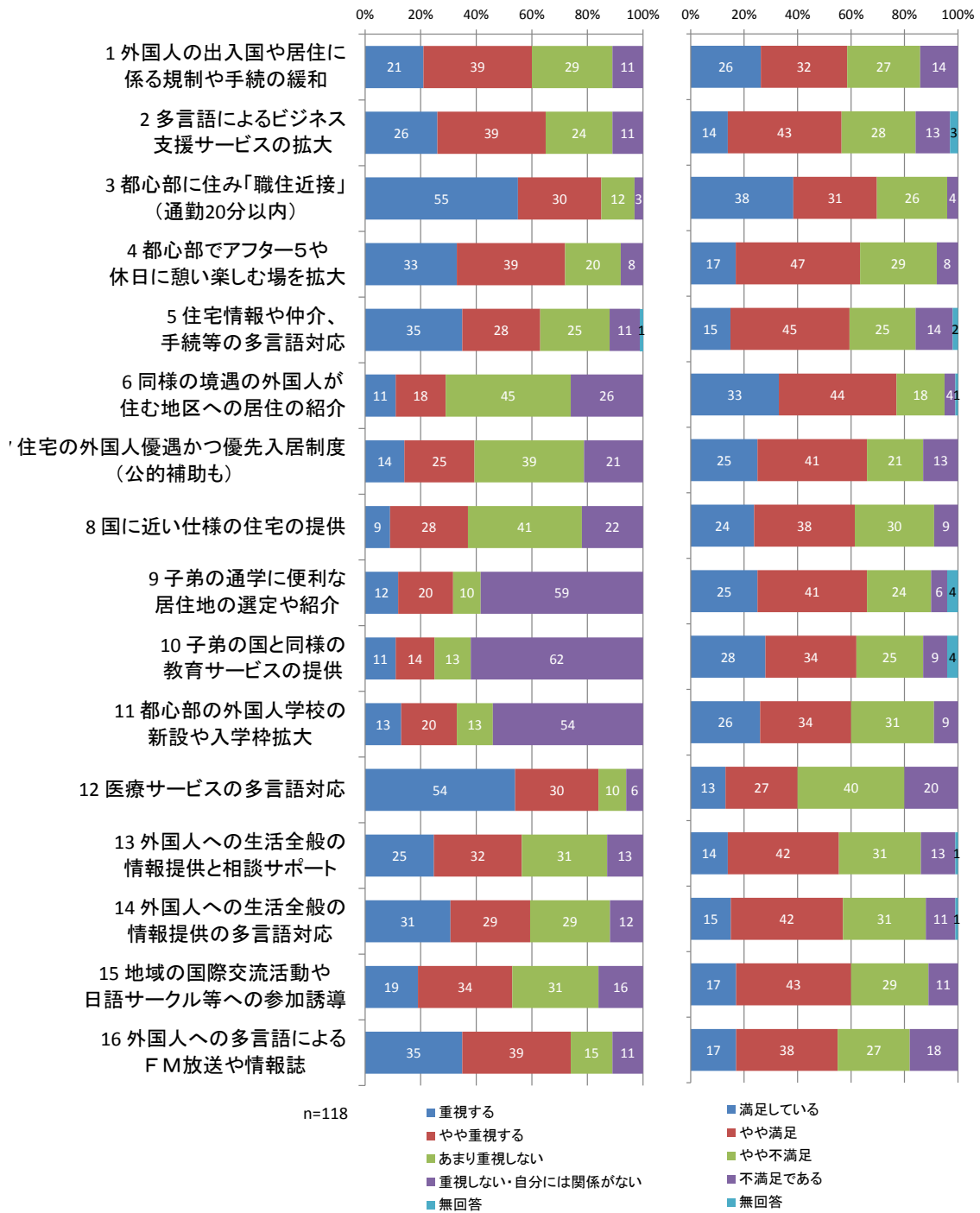
- 2006年調査に比べ、2015年調査は以下の項目において「重視する」、「やや重視する」と回答した人の割合が増加していた。(図3-1)
 - ・ 「1：外国人の出入国や居住に係る規制や手続きの緩和」
 - ・ 「6：同様の境遇の外国人が住む地区への居住の紹介」
 - ・ 「7：住宅の外国人優遇かつ優先入居制度」
 - ・ 「9：指定の通学に便利な居住地の選定や紹介」
 - ・ 「10：子弟の本国と同様の教育サービスの提供」
 - ・ 「11：都心部の外国人学校の新設や入学枠拡大」
 - ・ 「15：地域の国際交流活動や日本語サークル等への参加誘導」
- 2006年調査、2015年調査の回答者の属性は、職階は異なるものの、1年間のうち日本で働いている期間が概ね同じであるということを踏まえると、日本での生活をより重視する傾向が強まったと言える。
- 2006年調査、2015年調査のいずれの調査でも「11：都心部の外国人学校の新設や入学枠拡大」と「12：医療サービスの多言語対応」は、重視度は高いものの満足度は低い結果となっており、重視されているにもかかわらず、一向に改善が進まない項目と考えられる。これら項目については、強く改善が求められる。(図4-2)

図 10 日本での生活をより豊かに快適にするための諸方策 (SA)

2006 年

<重視度>

<満足度>



2015年

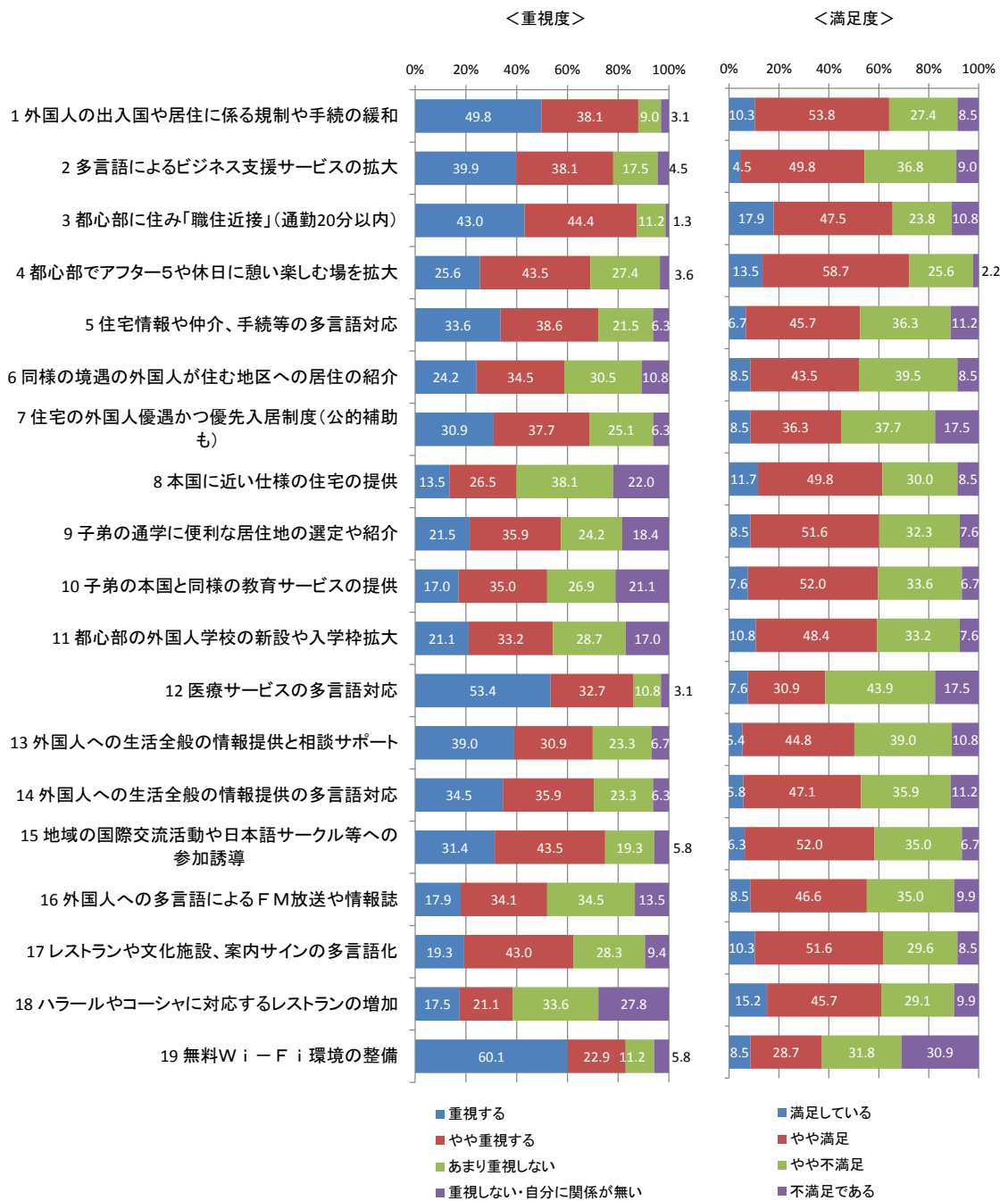
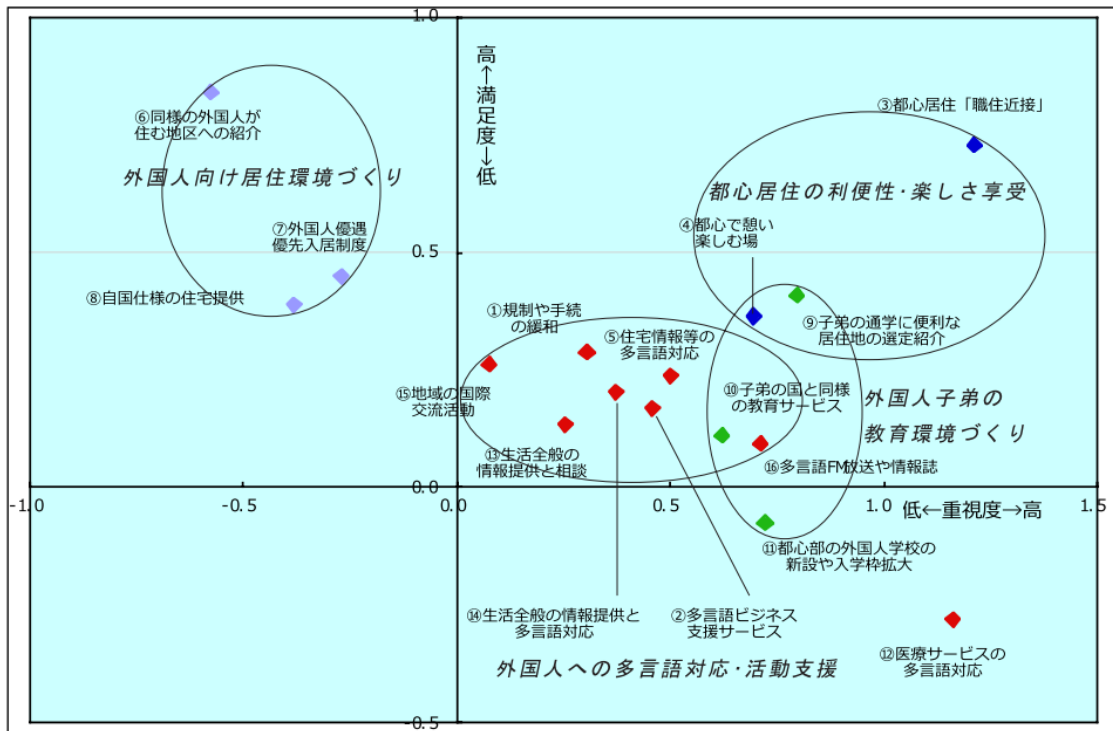
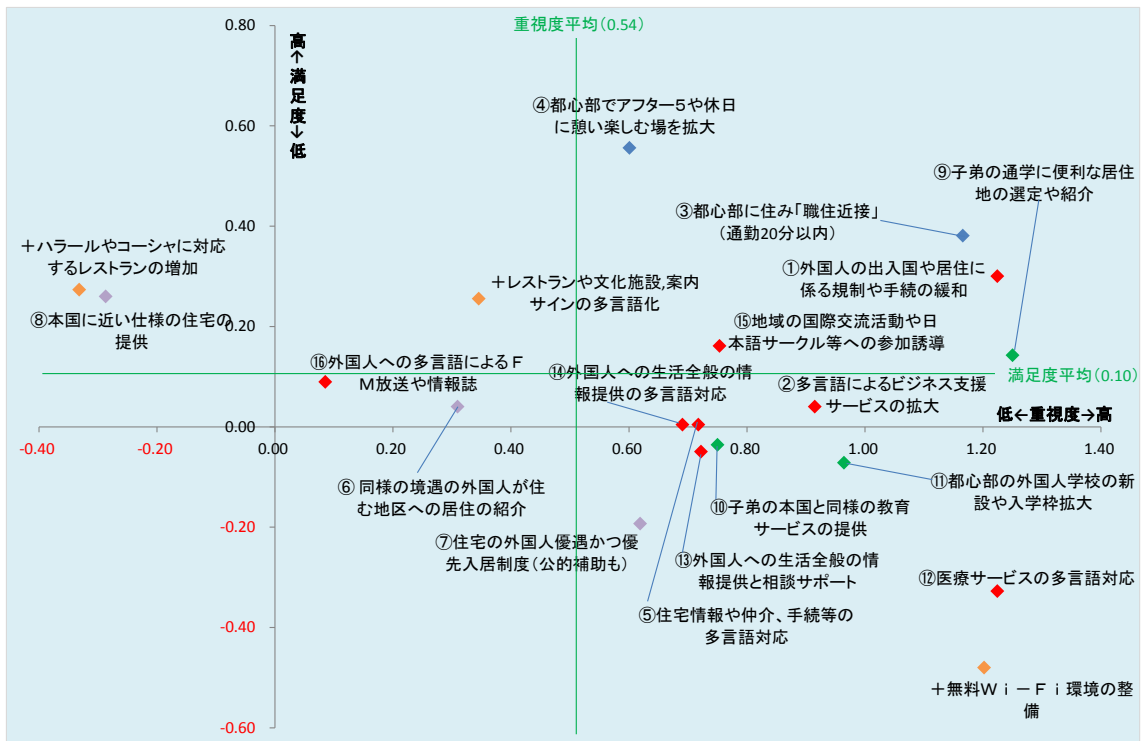


図 11 日本での生活をより豊かに快適にするための諸方策 (SA)

2006年



2015年

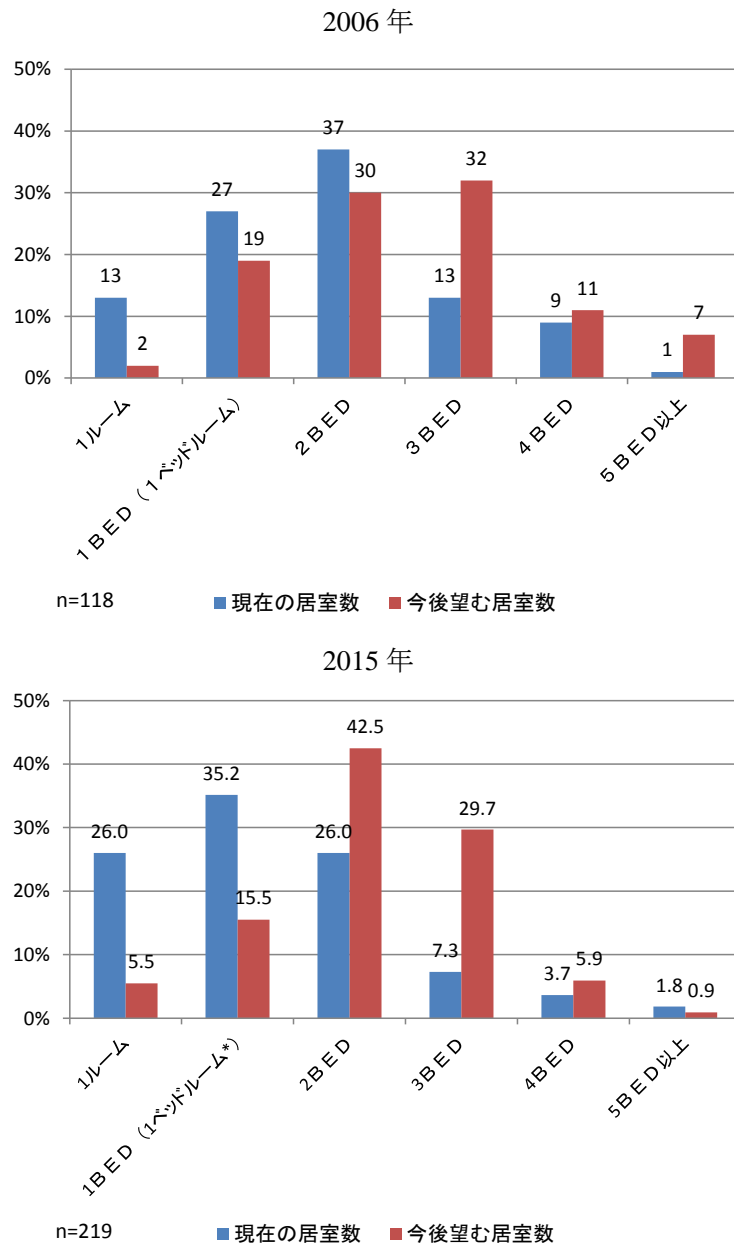


5. 住まい・居住環境に関する外国人ビジネスマンのニーズや課題

(1) 住宅の居室数の現状と今後の要望

- 2006年調査で、現在の住宅の居室数の割合が最も高かったのは、2BEDであったが、2015年は1BEDと回答した割合が最も高かった。これは回答者の職階の違いに起因するものと想定される。

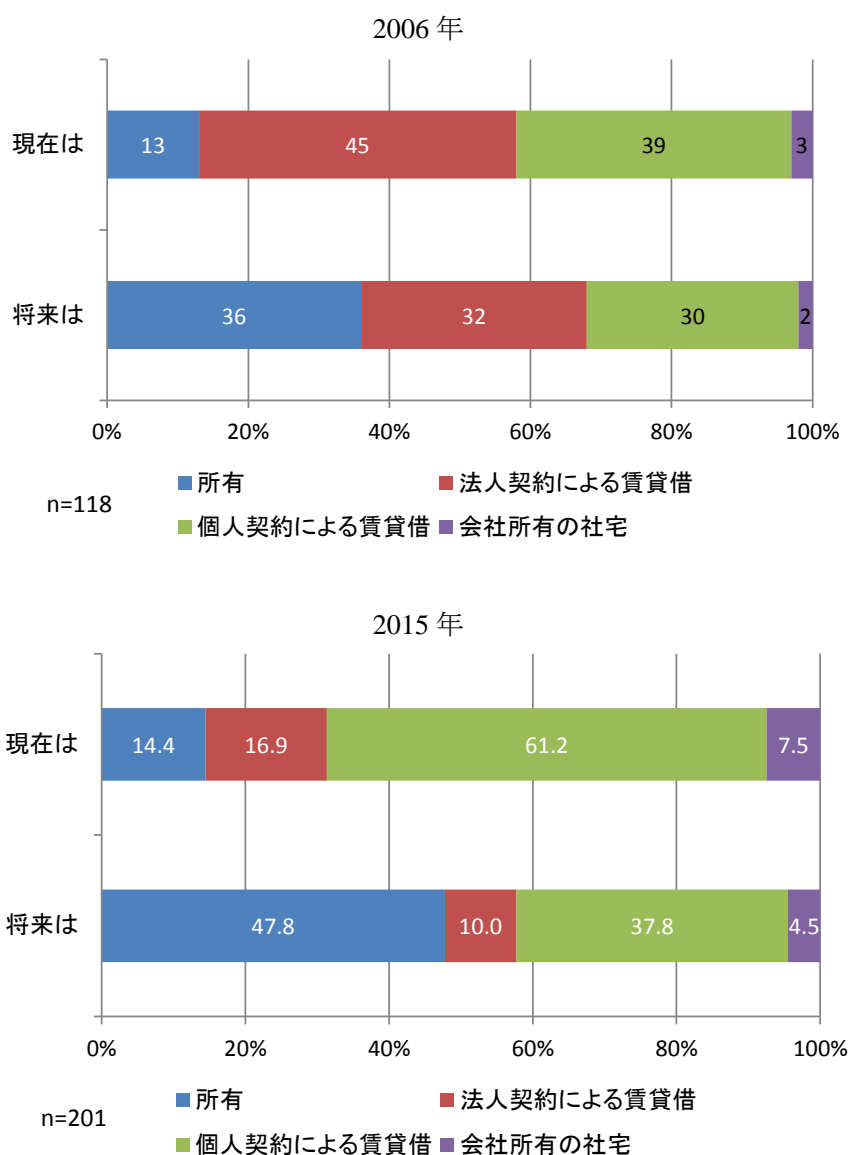
図 12 住宅の居室数の現状と今後の要望 (SA)



(2) 住宅の所有形態の現状と将来の選択

- 2006年に比べ、2015年には、法人契約による賃貸借が減少し、個人契約による賃貸借をしている回答者の割合が大きく増加している。これは職階の違いが影響していると想定される。
- 2006年に比べ、2015年には、将来的には住宅を所有したいと考えている回答者の割合が大きく増加し、半数を占める。これは、所有意向が高まったとも考えられるものの、2006年調査と2015年調査の回答者属性の違いから来る赴任時の前提条件（一時赴任か否かなど）の違いが影響していることも考えられる。

図 13 住宅の所有形態の現状と将来の選択 (SA)



添付資料2 アンケート調査票（和文）

「都市・オフィス・居住ニーズに関するアンケート」

最初に居住環境や住まいに関する諸条件についてお尋ねします。

Q1. 現在の住宅は戸建てですか、集合住宅ですか。選択肢から1つ選んで下さい。

- | | | |
|--------|---------|-----------------|
| 1. 戸建て | 2. 集合住宅 | 3. サービスドアパートメント |
|--------|---------|-----------------|

※サービスドアパートメントとは、フロントサービスや家具つきの高級賃貸マンションのことで、中長期の出張で日本を訪れる外国人ビジネスマンを中心に利用されています。

Q2. 前問で「1 戸建て 2 集合住宅」とお答えの方にお尋ねします。

住宅は所有していますか、賃貸借ですか。選択肢から1つ選んで下さい。

- | | | | |
|-------|---------------|---------------|------------|
| 1. 所有 | 2. 法人契約による賃貸借 | 3. 個人契約による賃貸借 | 4. 会社所有の社宅 |
|-------|---------------|---------------|------------|

- | | | | |
|-------|---------------|---------------|------------|
| 1. 所有 | 2. 法人契約による賃貸借 | 3. 個人契約による賃貸借 | 4. 会社所有の社宅 |
|-------|---------------|---------------|------------|

(1) 現在は

(2) 将来は

※(2)の「将来は」については、日本国内で従業する場合を想定して回答して下さい。

Q3. 現在の住宅を選ぶ際の意志決定は誰が行いましたか。選択肢から1つ選んで下さい。

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1. 自分主導で決めた | 2. パートナー主導（家族など）で決めた |
| 3. 会社が物件を指定した | |

Q4. あなたの住宅の間取りについてお尋ねします。選択肢から1つ選んで下さい。

(1) 現在の居室数は

- | | | |
|---------|--------------------|-----------|
| 1. 1ルーム | 2. 1BED (1ベッドルーム*) | 3. 2BED |
| 4. 3BED | 5. 4BED | 6. 5BED以上 |

*1ベッドルームは1K・1DK・1LDK、2ベッドルームは2K・2DK・2LDK、同様に5ベッドルームは5K・5DK・5LDKとご理解下さい。

(2) 今後望む居室数は（日本国内で居住する場合を想定して回答して下さい。）

- | | | |
|---------|--------------------|-----------|
| 1. 1ルーム | 2. 1BED (1ベッドルーム*) | 3. 2BED |
| 4. 3BED | 5. 4BED | 6. 5BED以上 |

*1ベッドルームは1K・1DK・1LDK、2ベッドルームは2K・2DK・2LDK、同様に5ベッドルームは5K・5DK・5LDKとご理解下さい。

Q5. あなたの住宅の広さについてお尋ねします。選択肢から1つ選んで下さい。

(3)現在の広さ*は

- | | | | | |
|------------|-----------|-------------|-------------|-----------|
| 1. 49㎡未満 | 2. 50～99㎡ | 3. 100～199㎡ | 4. 200～299㎡ | 5. 300㎡以上 |
| 6. よくわからない | | | | |

*広さは住宅の延べ床面積（㎡）でお考え下さい。

(4)今後望む広さは（日本国内で居住する場合を想定して回答して下さい。）

- | | | | | |
|------------|-----------|-------------|-------------|-----------|
| 1. 49㎡未満 | 2. 50～99㎡ | 3. 100～199㎡ | 4. 200～299㎡ | 5. 300㎡以上 |
| 6. よくわからない | | | | |

*広さは住宅の延べ床面積（㎡）でお考え下さい。

Q6. 現在の住まいについてあなたの満足度は総合的に考えてどの程度ですか。選択肢から1つ選んで下さい。

- | | | | | | |
|---------|------|--------|---------|-------|----------|
| 1 非常に満足 | 2 満足 | 3 やや満足 | 4 やや不満足 | 5 不満足 | 6 非常に不満足 |
|---------|------|--------|---------|-------|----------|

Q7. 前問で「4 やや不満足 5 不満足 6 非常に不満足」とお答えの方にお尋ねします。
どのような点がご不満ですか。以下にご記入下さい。

--

Q8. あなたが今後とくに居住環境や住まいに求める事柄とその理由をご記入下さい。

--

Q9. 日本であなたを含めて同居しているのは、何人ですか。人数をご記入下さい。

[] 人

Q10. 日本へは単身の赴任ですか、家族帯同の赴任ですか、選択肢から1つ選んで下さい。

- | | | |
|--------------------------------|------------------|------------------|
| 1. 単身の赴任（独身も含む） | 2. 家族帯同（夫婦のみ）の赴任 | 3. 家族帯同（子供含む）の赴任 |
| 4. その他（ ） | | |

Q11. 前問で「3. 子供含む」とお答えの方にお尋ねします。お子様の通学先はどこですか。2人以上のお子様がいいらっしゃる場合には、あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|--------------------------------|----------------------|
| 1. 国際的認証を受けた*インターナショナル
スクール | 2. その他のインターナショナルスクール |
| 3. 母国系の学校・民族学校 | 4. 日本の学校 |
| 5. 就学年齢だが家庭で教えている | 6. 未就学児 |
| 7. その他（ | ） |

* 国際的な教育認定団体が認める認定校であり、国際的な修了資格が認められる学校であること。国際バカロレア、WASC (Western Association of Schools and Colleges、米国・西部学校大学協会)、CIS (Council of International Schools、英国・インターナショナルスクール会議)、ACSI (Association of Christian Schools International、キリスト教学校国際協会) 等が日本にはある。

Q12. 日本でのお子様の教育や育児で、不自由な点や改善のご要望があれば具体的にご記入下さい。

--

Q13. あなたが現在、日本で住んでいる所を、選択肢から1つ選んで下さい。

東京都・区部

- | | | | | |
|---------|----------|----------|---------|---------|
| 1. 千代田区 | 2. 中央区 | 3. 港区 | 4. 新宿区 | 5. 文京区 |
| 6. 台東区 | 7. 墨田区 | 8. 江東区 | 9. 品川区 | 10. 目黒区 |
| 11. 大田区 | 12. 世田谷区 | 13. 渋谷区 | 14. 中野区 | 15. 杉並区 |
| 16. 豊島区 | 17. 北区 | 18. 荒川区 | 19. 板橋区 | 20. 練馬区 |
| 21. 足立区 | 22. 葛飾区 | 23. 江戸川区 | | |

東京都・市部

- | | | | | |
|-----------|---------|----------|----------|-----------|
| 24. 八王子市 | 25. 立川市 | 26. 武蔵野市 | 27. 三鷹市 | 28. 青梅市 |
| 29. 府中市 | 30. 昭島市 | 31. 調布市 | 32. 町田市 | 33. 小金井市 |
| 34. 小平市 | 35. 日野市 | 36. 東村山市 | 37. 国分寺市 | 38. 国立市 |
| 39. 福生市 | 40. 狛江市 | 41. 東大和市 | 42. 清瀬市 | 43. 東久留米市 |
| 44. 武蔵村山市 | 45. 多摩市 | 46. 稲城市 | 47. 羽村市 | 48. あきる野市 |
| 49. 西東京市 | | | | |

東京都・町村部

- | | | | | |
|---------|----------|---------|----------|--|
| 50. 瑞穂町 | 51. 日の出町 | 52. 檜原村 | 53. 奥多摩町 | |
|---------|----------|---------|----------|--|

東京都・島部

- | | | | | |
|----------|---------|----------|----------|---------|
| 54. 大島町 | 55. 利島村 | 56. 新島村 | 57. 神津島村 | 58. 三宅村 |
| 59. 御蔵島村 | 60. 八丈町 | 61. 青ヶ島村 | 62. 小笠原村 | |

神奈川県

- | | | | | |
|----------|---------|----------|----------|----------|
| 63. 横浜市 | 64. 川崎市 | 65. 相模原市 | 66. 横須賀市 | 67. 平塚市 |
| 68. 鎌倉市 | 69. 藤沢市 | 70. 小田原市 | 71. 茅ヶ崎市 | 72. 逗子市 |
| 73. 三浦市 | 74. 秦野市 | 75. 厚木市 | 76. 大和市 | 77. 伊勢原市 |
| 78. 海老名市 | 79. 座間市 | 80. 南足柄市 | 81. 綾瀬市 | 82. 葉山町 |
| 83. 寒川町 | 84. 大磯町 | 85. 二宮町 | 86. 中井町 | 87. 大井町 |
| 88. 松田町 | 89. 山北町 | 90. 開成町 | 91. 箱根町 | 92. 真鶴町 |
| 93. 湯河原町 | 94. 愛川町 | 95. 清川村 | | |

その他の都道府県

96. その他

Q14. あなたのメインの職場がある所を、選択肢から1つ選んで下さい。

東京都・区部

- | | | | | |
|---------|----------|----------|---------|---------|
| 1. 千代田区 | 2. 中央区 | 3. 港区 | 4. 新宿区 | 5. 文京区 |
| 6. 台東区 | 7. 墨田区 | 8. 江東区 | 9. 品川区 | 10. 目黒区 |
| 11. 大田区 | 12. 世田谷区 | 13. 渋谷区 | 14. 中野区 | 15. 杉並区 |
| 16. 豊島区 | 17. 北区 | 18. 荒川区 | 19. 板橋区 | 20. 練馬区 |
| 21. 足立区 | 22. 葛飾区 | 23. 江戸川区 | | |

東京都・市部

- | | | | | |
|-----------|---------|----------|----------|-----------|
| 24. 八王子市 | 25. 立川市 | 26. 武蔵野市 | 27. 三鷹市 | 28. 青梅市 |
| 29. 府中市 | 30. 昭島市 | 31. 調布市 | 32. 町田市 | 33. 小金井市 |
| 34. 小平市 | 35. 日野市 | 36. 東村山市 | 37. 国分寺市 | 38. 国立市 |
| 39. 福生市 | 40. 狛江市 | 41. 東大和市 | 42. 清瀬市 | 43. 東久留米市 |
| 44. 武蔵村山市 | 45. 多摩市 | 46. 稲城市 | 47. 羽村市 | 48. あきる野市 |
| 49. 西東京市 | | | | |

東京都・町村部

- | | | | | |
|---------|----------|---------|----------|--|
| 50. 瑞穂町 | 51. 日の出町 | 52. 檜原村 | 53. 奥多摩町 | |
|---------|----------|---------|----------|--|

東京都・島部

- | | | | | |
|----------|---------|----------|----------|---------|
| 54. 大島町 | 55. 利島村 | 56. 新島村 | 57. 神津島村 | 58. 三宅村 |
| 59. 御蔵島村 | 60. 八丈町 | 61. 青ヶ島村 | 62. 小笠原村 | |

神奈川県

- | | | | | |
|----------|---------|----------|----------|----------|
| 63. 横浜市 | 64. 川崎市 | 65. 相模原市 | 66. 横須賀市 | 67. 平塚市 |
| 68. 鎌倉市 | 69. 藤沢市 | 70. 小田原市 | 71. 茅ヶ崎市 | 72. 逗子市 |
| 73. 三浦市 | 74. 秦野市 | 75. 厚木市 | 76. 大和市 | 77. 伊勢原市 |
| 78. 海老名市 | 79. 座間市 | 80. 南足柄市 | 81. 綾瀬市 | 82. 葉山町 |
| 83. 寒川町 | 84. 大磯町 | 85. 二宮町 | 86. 中井町 | 87. 大井町 |
| 88. 松田町 | 89. 山北町 | 90. 開成町 | 91. 箱根町 | 92. 真鶴町 |
| 93. 湯河原町 | 94. 愛川町 | 95. 清川村 | | |

その他の都道府県

96. その他

Q15. あなたの家を出てから会社につくまでの通勤時間はどの程度ですか。選択肢から1つ選んで下さい。

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 15分未満 | 2. 15分以上30分未満 | 3. 30分以上60分未満 |
| 4. 60分以上90分未満 | 5. 90分以上 | |

Q16. 通勤時間に許容できる時間はどの程度ですか。選択肢から一つ選んで下さい。

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 15分未満 | 2. 15分以上30分未満 | 3. 30分以上60分未満 |
| 4. 60分以上90分未満 | 5. 90分以上 | |

Q17. あなたの主な通勤手段は何ですか。選択肢から1つ選んで下さい。

- | | | | | |
|------------|--------|-------|-------|--------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. 電車 | 4. バス | 5. 自動車 |
| 6. その他 () | | | | |

※複数ご利用の場合、移動距離の長いものをお知らせください。

次に、生活全般についてお尋ねします。

Q18. 日本での生活や文化、諸活動などであなたがとくに気に入っているのはどのようなことですか。

--

Q19. 反対に、あなたがとくに気に入らないのはどのようなことですか。

--

Q20. 母国にいる時以上に、日本の生活で不安や不自由を感じますか。選択肢から1つ選んで下さい。

- | | | |
|-------|---------|------------|
| 1 感じる | 2 少し感じる | 3 ほとんど感じない |
|-------|---------|------------|

Q21. 前問で「1 感じる 2 少し感じる」とお答えの方はどのような不安ですか。選択肢からいくつでも選んで下さい。

- | | | | |
|-----------|-------------|------------|---------|
| 1 地震等の災害 | 2 犯罪 | 3 日本の学校・教育 | 4 病気やけが |
| 5 交通事故 | 6 居住、就労等手続き | 7 在留資格手続き | 8 日本の食事 |
| 9 言語・意思疎通 | 10 その他 | () | |

Q22. あなたの平日の勤務時間帯は平均して何時から何時ですか。残業時間も含めてお答え下さい。

記入例（ 9 時～19 時）

「1」～「24」が、入力可能です。

勤務開始時間 [] 時～ 勤務終了時間 [] 時

Q23. あなたの休日は一週間のうち何曜日ですか。選択肢からいくつでも選んで下さい。

1 日曜日	2 月曜日	3 火曜日	4 水曜日	5 木曜日	6 金曜日	7 土曜日
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

Q24. あなたが休日やアフターファイブによく行く、お気に入りの街や施設はありますか。

具体的にその街や施設の名前と、お気に入りの理由をご記入下さい。

<記入例> 休 日：都心の公園（新宿御苑など）…身近にあり解放感がある。

東京郊外の観光地やリゾート地（伊豆、高尾山）…1時間以内で日本の自然に触れ合える

銀座や六本木、丸の内の都心…友人との歓談やショッピングに便利

浅草や日本橋…日本の歴史・伝統を感じる

アフターファイブ：六本木や赤坂、青山、丸の内のレストランで友人と交流

六本木や渋谷で劇場、映画鑑賞

自宅で家族と過ごす

	<お気に入りの街や施設名>	<お気に入りの理由>
1、休日のお気に入り		
2、アフターファイブのお気に入り		

Q25. あなたの日本での生活をより豊かに快適にする為の対策について、下表の項目をあなたはどの程度重視しますか。各項目1 つずつお選びください。

	1. あなたの重視度は			
	1 重視する	2 やや重視する	3 あまり重視しない	4 重視しない・自分に関係がない
1 外国人の出入国や居住に係る規制や手続の緩和	1	2	3	4
2 多言語によるビジネス支援サービスの拡大	1	2	3	4
3 都心部に住み「職住近接」(通勤20分以内)	1	2	3	4
4 都心部でアフター5や休日に憩い楽しむ場を拡大	1	2	3	4
5 住宅情報や仲介、手続等の多言語対応	1	2	3	4
6 同様の境遇の外国人が住む地区への居住の紹介	1	2	3	4
7 住宅の外国人優遇かつ優先入居制度(公的補助も)	1	2	3	4
8 本国に近い仕様の住宅の提供	1	2	3	4
9 子弟の通学に便利な居住地の選定や紹介	1	2	3	4
10 子弟の本国と同様の教育サービスの提供	1	2	3	4
11 都心部の外国人学校の新設や入学枠拡大	1	2	3	4
12 医療サービスの多言語対応	1	2	3	4
13 外国人への生活全般の情報提供と相談サポート	1	2	3	4
14 外国人への生活全般の情報提供の多言語対応	1	2	3	4
15 地域の国際交流活動や日本語サークル等への参加誘導	1	2	3	4
16 外国人への多言語によるFM放送や情報誌	1	2	3	4
17 レストランや文化施設、案内サインの多言語化	1	2	3	4
18 ハラールやコーシャに対応するレストランの増加	1	2	3	4
19 無料Wi-Fi環境の整備	1	2	3	4

Q26. あなたの日本での生活をより豊かに快適にする為の対策について、あなたの現状の満足度はどの程度ですか。各項目1 つずつお選びください。

	2. あなたの満足度は			
	1 満足している	2 やや満足	3 やや不満足	4 不満足である
1 外国人の出入国や居住に係る規制や手続の緩和	1	2	3	4
2 多言語によるビジネス支援サービスの拡大	1	2	3	4
3 都心部に住み「職住近接」(通勤20分以内)	1	2	3	4
4 都心部でアフター5や休日に憩い楽しむ場を拡大	1	2	3	4
5 住宅情報や仲介、手続等の多言語対応	1	2	3	4
6 同様の境遇の外国人が住む地区への居住の紹介	1	2	3	4
7 住宅の外国人優遇かつ優先入居制度(公的補助も)	1	2	3	4
8 本国に近い仕様の住宅の提供	1	2	3	4
9 子弟の通学に便利な居住地の選定や紹介	1	2	3	4
10 子弟の本国と同様の教育サービスの提供	1	2	3	4
11 都心部の外国人学校の新設や入学枠拡大	1	2	3	4
12 医療サービスの多言語対応	1	2	3	4
13 外国人への生活全般の情報提供と相談サポート	1	2	3	4
14 外国人への生活全般の情報提供の多言語対応	1	2	3	4
15 地域の国際交流活動や日本語サークル等への参加誘導	1	2	3	4
16 外国人への多言語によるFM放送や情報誌	1	2	3	4
17 レストランや文化施設、案内サインの多言語化	1	2	3	4
18 ハラールやコーシャに対応するレストランの増加	1	2	3	4
19 無料Wi-Fi環境の整備	1	2	3	4

Q27. あなたの日本での生活をより豊かに快適にする為の対策や、企業、行政によるサービスや支援策等について、ご要望やアイデアがあれば、以下に具体的にご記入下さい。

都市環境やビジネス環境についてお尋ねします。

Q28. 貴社のアジア・オセアニア地域における中心拠点は、以下のどの都市にありますか。以下の中から1つ選んで下さい。

- | | | | |
|----------------------|----------|----------------------|---------|
| 1 東京 | 2 シンガポール | 3 香港 | 4 上海 |
| 5 北京 | 6 ソウル | 7 台北 | 8 マカオ |
| 9 クアラルンプール | 10 ムンバイ | 11 バンコク | 12 シドニー |
| 13 日本の東京以外の都市(都市名:) | | 14 海外の上記以外の都市(都市名:) | |

Q29. その都市をアジア・オセアニア地域の中心拠点としている理由は何ですか。あなたの個人的な推察でも差し支えありませんので、以下の中からいくつでも選んで下さい。

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1 その国や都市の経済・市場規模の大きさ | 6 アジア地域の金融や貿易のハブとなる都市だから |
| 2 その国の経済成長への期待 | 7 金融や貿易・商取引のインフラが充実している |
| 3 取引高が最も大きいから | 8 企業活動に係る規制が緩く、企業優遇策が充実 |
| 4 昔から中心拠点がその都市にあるから | 9 英語でビジネス活動や生活ができるから |
| 5 アジアの主要都市へのアクセスが良い | 10 その他(具体的に:) |

Q30. そのうち、重要と思われる理由を3つ選び順位を付けて下さい。

※前問で重要と思われる理由を2つ選択した場合は、2つ選び順位を付けてください。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 1位 () | 2位 () | 3位 () |
|--------|--------|--------|

Q31. 10年後には、貴社のアジア・オセアニア地域における中心拠点は、どこになっていると思いますか。

あなたの個人的な推察でも差し支えありませんので、以下の中から1つ選んで下さい。

- | | | | |
|----------------------|----------|----------------------|---------|
| 1 東京 | 2 シンガポール | 3 香港 | 4 上海 |
| 5 北京 | 6 ソウル | 7 台北 | 8 マカオ |
| 9 クアラルンプール | 10 ムンバイ | 11 バンコク | 12 シドニー |
| 13 日本の東京以外の都市(都市名:) | | 14 海外の上記以外の都市(都市名:) | |

Q32. 東京がアジア・オセアニア地域の中心拠点となるためには、どのような課題があると思いますか。あなたの個人的な推察で差支えありませんので、「市場・経済・規制・税・慣習等」と「日々の活動（働く、住む、楽しむ、学ぶなど）を支える都市環境」について、以下に具体的にご記入ください。

【市場・経済・規制・税・慣習等】の課題
【日々の活動（働く、住む、楽しむ、学ぶなど）を支える都市環境】の課題

Q33. 日本を含む世界の中で、あなたが最も働き・住みたいとお考えの都市名をご記入下さい。
都市名 []

Q34. あなたはその都市をどう評価していますか。選択肢からいくつでも選んで下さい。

1 ビジネスの市場規模が大きい	10 外国人や外資系企業誘致の環境・条件が十分揃っている。
2 ビジネス活動の自由度や各種規制の少ない	11 規制が多く非効率、ビジネスや生活の自由度に欠ける
都市	12 職・住・通学が離れていて利便性が不足
3 世界の中心、最先端の情報や価値が集まり	13 都市部の居住環境や余暇レジャー環境が物足りない
生まれる街	14 都市部の広い公園や広い道路が不足
4 オフィス環境が良い街	15 小さな街区で過密、都市空間の立体的な展開が不足
5 生活環境、居住環境が良い街	16 ビジネスや生活での英語などの多言語対応が不足
6 文化、観光、レジャー、自然環境を重視した街	17 外国人や外資系企業誘致の環境・条件の魅力に欠ける
7 新しい都市開発のダイナミズムがある街	
8 職・住・通学が近接しており、利便性が高い。	
9 ビジネスや生活での英語などの多言語対応が充実している。	

Q35. あなたがその都市を最も評価する理由を以下にご記入ください。

--

Q36. あなたは東京をどのような街だと感じていますか。選択肢からいくつでも選んで下さい。

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 1 ビジネスの市場規模が大きい | 10 外国人や外資系企業誘致の環境・条件が十分揃っている。 |
| 2 ビジネス活動の自由度や各種規制の少ない都市 | 11 規制が多く非効率、ビジネスや生活の自由度に欠ける |
| 3 世界の中心、最先端の情報や価値が集まり生まれる街 | 12 職・住・通学が離れていて利便性が不足 |
| 4 オフィス環境が良い街 | 13 都市部の居住環境や余暇レジャー環境が物足りない |
| 5 生活環境、居住環境が良い街 | 14 都市部の広い公園や広い道路が不足 |
| 6 文化、観光、レジャー、自然環境を重視した街 | 15 小さな街区で過密、都市空間の立体的な展開が不足 |
| 7 新しい都市開発のダイナミズムがある街 | 16 ビジネスや生活での英語などの多言語対応が不足 |
| 8 職・住・通学が近接しており、利便性が高い。 | 17 外国人や外資系企業誘致の環境・条件の魅力に欠ける |
| 9 ビジネスや生活での英語などの多言語対応が充実している。 | |

Q37. あなたが働き・住む街として東京をどう評価していますか。以下にご記入下さい。

Q38. あなたが働き・住む街として東京の魅力を高めるには、どのようなことが重要と
 思いますか。各項目1つずつお選び下さい。

東京の魅力を高めるために重要なこと	1. あなたの重視度は			
	1 重視する	2 やや重視する	3 あまり重視しない	4 重視しない・自分に関係がない
1 東京の混然とした活力をさらに高めるため、多様な機能・施設の集積をさらに高めること	1	2	3	4
2 経済や産業のみならず、生活や余暇・文化等で楽しく豊かに過ごせる街にすること	1	2	3	4
3 都心部に職・住・通学・余暇レジャー等の機能を集積させ利便性と楽しさを一層高めること	1	2	3	4
4 国際的な集客力を高める環境づくりや集客拠点集積を進めること	1	2	3	4
5 国際会議や国際的なイベントなどが多く開催され、街のにぎわいが増すこと	1	2	3	4
6 外資系企業や外国人就業者・観光客を多く受け入れる市場開放、規制緩和策等の推進	1	2	3	4
7 英語やアジア言語でビジネスや日常生活ができる多言語対応の環境にすること	1	2	3	4
8 国際空港から都心部へのアクセス・交通利便性の向上	1	2	3	4
9 オフィスや住宅など建物の広さ・スペースを広くすること	1	2	3	4
10 都心部でNYセントラルパークのような大規模な公園・憩いの場を整備すること	1	2	3	4
11 日本や東京の文化・歴史・芸術を感じられる施設や地区が増えること	1	2	3	4
12 街並みやスカイラインの統一、洗練されたデザインの建築物が都市景観を構成していること	1	2	3	4
13 低層建築が密集した地域を超高層建築などで立体的に再開発すること	1	2	3	4
14 地震や災害に備えて、街全体や住宅・ビルなどの耐震・防災対策を強化すること	1	2	3	4
15 地震等の災害時にも、業務の継続や家族等の安否の確認が速やかにできること	1	2	3	4
16 地球環境に配慮した環境にやさしい建物や街となっていること	1	2	3	4
17 民間企業や個人の資金等を取り込み、都市の再生や再開発、不動産投資を促進すること	1	2	3	4
18 治安が良い反面、住宅や街の防犯やセキュリティが緩いので、これらを強化すること	1	2	3	4
19 東京がアジア地域の拠点都市となり得る戦略の策定と実行	1	2	3	4
20 外国人の生活をサポートするコンシェルジュ機能（相談サポート）が充実すること	1	2	3	4

Q39. あなたが働き・住む街としての東京の魅力について、あなたが感じる最近の印象についてお答えください。各項目1つずつお選び下さい。

最近の印象	2. 最近の印象は			
	1 よくなっている	2 やや良くなっている	3 変わらない	4 わからない
1 東京の混然とした活力をさらに高めるため、多様な機能・施設の集積をさらに高めること	1	2	3	4
2 経済や産業のみならず、生活や余暇・文化等で楽しく豊かに過ごせる街にすること	1	2	3	4
3 都心部に職・住・通学・余暇レジャー等の機能を集積させ利便性と楽しさを一層高めること	1	2	3	4
4 国際的な集客力を高める環境づくりや集客拠点集積を進めること	1	2	3	4
5 国際会議や国際的なイベントなどが多く開催され、街のにぎわいが増すこと	1	2	3	4
6 外資系企業や外国人就業者・観光客を多く受け入れる市場開放、規制緩和策等の推進	1	2	3	4
7 英語やアジア言語でビジネスや日常生活ができる多言語対応の環境にすること	1	2	3	4
8 国際空港から都心部へのアクセス・交通利便性の向上	1	2	3	4
9 オフィスや住宅など建物の広さ・スペースを広くすること	1	2	3	4
10 都心部でNYセントラルパークのような大規模な公園・憩いの場を整備すること	1	2	3	4
11 日本や東京の文化・歴史・芸術を感じられる施設や地区が増えること	1	2	3	4
12 街並みやスカイラインの統一、洗練されたデザインの建築物が都市景観を構成していること	1	2	3	4
13 低層建築が密集した地域を超高層建築などで立体的に再開発すること	1	2	3	4
14 地震や災害に備えて、街全体や住宅・ビルなどの耐震・防災対策を強化すること	1	2	3	4
15 地震等の災害時にも、業務の継続や家族等の安否の確認が速やかにできること	1	2	3	4
16 地球環境に配慮した環境にやさしい建物や街となっていること	1	2	3	4
17 民間企業や個人の資金等を取り込み、都市の再生や再開発、不動産投資を促進すること	1	2	3	4
18 治安が良い反面、住宅や街の防犯やセキュリティが緩いので、これらを強化すること	1	2	3	4
19 東京がアジア地域の拠点都市となり得る戦略の策定と実行	1	2	3	4
20 外国人の生活をサポートするコンシェルジュ機能（相談サポート）が充実すること	1	2	3	4

Q40. 東京の魅力を高めるために重要とお考えの方向性や対策があればご記入下さい。

--

Q41. あなたがオフィスビルについて重視するものについてお尋ねします。「オフィスの施設・設備」や「オフィスの周辺環境」について、下表の項目をあなたはどの程度重視しますか。各項目1つずつお選びください。

		1. あなたの重視度は			
		1 重視する	2 やや重視する	3 あまり重視しない	4 重視しない・自分 に関係がない
オフィスの施設・設備について	1 ビルの設備グレードの高さ	1	2	3	4
	2 セキュリティの高さ（セキュリティゲートの設置等）	1	2	3	4
	3 ビル内共用施設の充実（高グレードな喫煙室・リフレッシュスペース等）	1	2	3	4
	4 トイレ内の快適性の高さ	1	2	3	4
	5 免震・制震等の耐震性能の高さ	1	2	3	4
	6 停電時の電力供給（自家発電機の設置等）や防災備蓄等、優れた防災体制・バックアップ体制の充実	1	2	3	4
	7 1フロア面積の大きさ	1	2	3	4
	8 環境への配慮（省エネ対応・環境認証取得（LEED・CASBEE等）等）	1	2	3	4
オフィスの周辺環境について	9 オフィス周辺の交通利便の充実	1	2	3	4
	10 オフィス周辺での飲食施設（レストラン等）の充実	1	2	3	4
	11 オフィス周辺でのショッピング施設（物販店舗等）の充実	1	2	3	4
	12 オフィス周辺でのアクティビティ施設（フィットネス等）の充実	1	2	3	4
	13 オフィス周辺での文化・交流施設（劇場・美術館等）の充実	1	2	3	4
	14 オフィス周辺でのカンファレンスルーム・コンベンション施設の充実	1	2	3	4
	15 オフィス周辺での医療施設（病院・ドラッグストア等）の充実	1	2	3	4
	16 オフィス周辺での緑・オープンスペースの充実	1	2	3	4
	17 オフィス周辺での居住環境（職住近接）の充実	1	2	3	4

Q42. あなたがオフィスビルについて重視するものについてお尋ねします。「オフィスの施設・設備」や「オフィスの周辺環境」について、現状の満足度はどの程度ですか。各項目1つずつお選びください。

		2. あなたの満足度は			
		1 満足している	2 やや満足	3 やや不満足	4 不満足である
オフィスの施設・設備について	1 ビルの設備グレードの高さ	1	2	3	4
	2 セキュリティの高さ（セキュリティゲートの設置等）	1	2	3	4
	3 ビル内共用施設の充実（高グレードな喫煙室・リフレッシュスペース等）	1	2	3	4
	4 トイレ内の快適性の高さ	1	2	3	4
	5 免震・制震等の耐震性能の高さ	1	2	3	4
	6 停電時の電力供給（自家発電機の設置等）や防災備蓄等、優れた防災体制・バックアップ体制の充実	1	2	3	4
	7 1フロア面積の大きさ	1	2	3	4
	8 環境への配慮（省エネ対応・環境認証取得（LEED・CASBEE等）等）	1	2	3	4
オフィスの周辺環境について	9 オフィス周辺の交通利便の充実	1	2	3	4
	10 オフィス周辺での飲食施設（レストラン等）の充実	1	2	3	4
	11 オフィス周辺でのショッピング施設（物販店舗等）の充実	1	2	3	4
	12 オフィス周辺でのアクティビティ施設（フィットネス等）の充実	1	2	3	4
	13 オフィス周辺での文化・交流施設（劇場・美術館等）の充実	1	2	3	4
	14 オフィス周辺でのカンファレンスルーム・コンベンション施設の充実	1	2	3	4
	15 オフィス周辺での医療施設（病院・ドラッグストア等）の充実	1	2	3	4
	16 オフィス周辺での緑・オープンスペースの充実	1	2	3	4
	17 オフィス周辺での居住環境（職住近接）の充実	1	2	3	4

Q43. あなたが今後とくにオフィスに求めるニーズとその理由をお尋ねします。現状の改善や新しい設備、サービス等の要望やオフィスに複合化されると望ましい機能について、その理由もあわせてご記入下さい。

<p>(例) コンベンションホール 理由：ビジネスイベントの開催が容易なため 夜遅くまで空いているレストラン 理由：仕事終了後に仲間と交流する時間を過ごすため フィットネスクラブ 理由：仕事終了後の日課としているため</p>
--

Q44. あなたが今後とくにオフィス周辺に求める施設やその理由をお尋ねします。

(例) サービスアパートメント 理由：中期の出張者の滞在施設がオフィス最寄りにあると便利
インターナショナルスクール 理由：都心にインターナショナルスクールが少ないため
劇場や博物館、美術館 理由：仕事終了後に楽しめる機能がオフィス最寄りにあると便利

最後に、あなたに関する基本的な事柄についてお尋ねします。

F1. あなたの出身国をお選びください。

- | | | | | |
|---------|-----------|--------|----------|-----------|
| 1. 米 国 | 2. 英 国 | 3. ドイツ | 4. フランス | 5. スイス |
| 6. 韓 国 | 7. 中 国 | 8. インド | 9. デンマーク | 10. ノルウエー |
| 11. 日 本 | 12. そ の 他 | | | |

F2. あなたの母国語は何語ですか。 [語]

F3. あなたの性別を、選択肢から1つ選んで下さい。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

F4. あなたの年代を、選択肢から1つ選んで下さい。

- | | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| 1. 10才代 | 2. 20才代 | 3. 30才代 | 4. 40才代 | 5. 50才代 | 6. 60才代以上 |
|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|

F5. あなたの職階や雇用形態を、選択肢から1つ選んでください。

- | | | |
|------------------------------|-----------------|------------|
| 1. 経営者（代表、役員
など） | 2. 管理職（部長、課長など） | 3. 社員スタッフ |
| 4. 期間契約・派遣スタ
ッフ | 5. 自営業 | 6. 自由業 |
| 7. 学生（大学生院生、
短大生、専門学校生など） | 8. パートタイム | 9. 専業主婦／主夫 |
| 10. 無職／退職者 | 11. その他（ ） | |

F6. あなたの職業をお答え下さい。

【外資系企業にお勤めの方】

- | | | |
|-------------------------------|----------------------|--------|
| 1. 経営者 | 2. 管理職 | 3. 事務職 |
| 4. 営業職
(セールスマンなど) | 5. 専門職 (弁護士、医師、教員など) | 3. 事務職 |
| 6. 技術職 (ITスタッフ、エンジニアなど) | | |
| 7. 研究職 | | |
| 8. 労務職 (工場や現場で働く工員、職工など) | | |
| 9. 販売職 (店員など) | | |
| 10. サービス業 (運転手、配達員、美容師、調理師など) | | |

【日本企業にお勤めの方】

- | | | |
|-------------------------------|---------|---------|
| 11. 経営者 | 12. 管理職 | 13. 事務職 |
| 14. 営業職
(セールスマンなど) | | |
| 15. 専門職 (弁護士、医師、教員など) | | |
| 16. 技術職 (ITスタッフ、エンジニアなど) | | |
| 17. 研究職 | | |
| 18. 労務職 (工場や現場で働く工員、職工など) | | |
| 19. 販売職 (店員など) | | |
| 20. サービス業 (運転手、配達員、美容師、調理師など) | | |
| 21. その他 | | |

F7. あなたがこれまで働いた年数についてお尋ねします。以下の欄にその年数をご記入下さい。

※一年未満の方は、「0」とご記入ください。

(1) 日本を含めた世界中で、あなたがこれまで働いた年数の合計は []
年

(2) そのうち、日本で働いた合計年数は []
年

F8. 日本や海外拠点を行き来して仕事している場合、あなたは1年間に、合計してどの程度の期間を日本で働いていますか。選択肢から1つ選んで下さい。

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1. 日本で殆ど1年中 | 2. 日本で6カ月以上 | 3. 日本で6カ月未満 |
|-------------|-------------|-------------|

F9. あなたの会社の主要な業種を、選択肢から1つ選んで下さい。

1. 製造業	5. 金融業、保険業	9. 通信業
2. 小売業	6. 建設業	10. 電力、ガス業
3. 卸売業	7. 不動産業	11. サービス業
4. 飲食業	8. 運輸業	12. その他 ()

F10. あなたの現在の主な職種を、選択肢から1つ選んで下さい。

1. 企画、開発、研究	2. 社内対応 (例; 人事、総務)	3. 社外対応 (例; 営業、情報SE)
4. ディーリング、投資	5. 法律、会計等の専門職	6. その他 ()

あなたが自分の本拠 (いわば“ホームタウン”) と思っている国と都市はどこですか。

F11. 本拠地 (“ホームタウン”) と思っている国はどこですか。選択肢から1つ選んで下さい。

1. 米国	2. 英国	3. ドイツ	4. フランス	5. スイス
6. 韓国	7. 中国	8. インド	9. デンマーク	10. ノルウェー
11. その他 ()				

F12. 本拠地 (“ホームタウン”) と思っている都市名をご記入下さい。

[]

ご質問は以上です。ご多忙の中をご協力賜りまして、誠に有り難うございました。

添付資料3 アンケート調査票 (英文)

Survey on Work and Living Environment Needs in Cities

About your housing

Q1. Please select the type of your current housing.

1. Independent housing	2. Condominium (housing complex)	3. Serviced apartment
------------------------	----------------------------------	-----------------------

※Serviced apartment are fully furnished rental apartments with a reception service. Major customers are foreign executives who stay in Japan for middle to long term.

Q2. This question is for those who answered "Independent housing" or "Condominium (housing complex)" in the previous question.

Do you own your current house or are you renting it? Will this status change in the future?

(1)Currently	1.I own / will own my house	2.I am renting/ will rent it through a company contract	3.I am renting/ will rent it through a personal contract	4.I live/ will live in company housing
(2)In the future	1.I own / will own my house	2.I am renting/ will rent it through a company contract	3.I am renting/ will rent it through a personal contract	4.I live/ will live in company housing

(For "In the future", please answer assuming that you will continue to work in Japan)

Q3. Who was the decision maker for selecting your current housing? Select only one.

1. Myself	2. My spouse/partner (family, etc.)	3. Company
-----------	-------------------------------------	------------

Q4. We will now ask about the room layout of your current housing. Select only one.

(1) Current number of rooms in your house

1. 1 room	2. 1 bedroom	3. 2 bedrooms
4. 3 bedrooms	5. 4 bedrooms	6. 5 bedrooms or more

* 1 bedroom means 1K, 1DK, and 1LDK in the Japanese housing term. "2 bedrooms" means 2K, 2DK, and 2LDK, and so forth.

(2) Number of rooms you are planning to have in the future (assume that you will continue to reside in Japan)

1. 1 room	2. 1 bedroom	3. 2 bedrooms
4. 3 bedrooms	5. 4 bedrooms	6. 5 bedrooms or more

* 1 bedroom means 1K, 1DK, and 1LDK in the Japanese housing term. "2 bedrooms" means 2K, 2DK, and 2LDK, and so forth.

Q5. We will now ask about the floor space of your current house. Select only one.

(1) Current floor space* of current house

1. 49m ² or less	2. 50~99m ²	3. 100~199m ²	4. 200~299m ²	5. 300m ² or more
6. I don't know				

* Floor space is total house floor area in square meters.

(2) Floor space you are planning to have in the future (assume that you will continue to reside in Japan)

1. 49m ² or less	2. 50~99m ²	3. 100~199m ²	4. 200~299m ²	5. 300m ² or more
6. I don't know				

* Floor space is total house floor area in square meters.

Q6. How satisfied are you overall regarding your current housing? Select only one.

1 Very satisfied	2 Satisfied	3 Somewhat satisfied	4 Somewhat dissatisfied	5 Dissatisfied	6 Very dissatisfied
------------------	-------------	----------------------	-------------------------	----------------	---------------------

Q7. This question is for those who answered "4. Somewhat dissatisfied," "5. Dissatisfied," and "6. Very dissatisfied" in the previous question.

What are you dissatisfied with? Please write in the following.

* Please answer within 500 letters.

Q8. Write what you especially want from your future housing and living environment and the reasons.

* Please answer within 500 letters.

Q9. How many people live in your current house in Japan, including yourself?

[] people

Q10. Did you come to Japan by yourself or with your family?

1. By myself (no spouse/partner, no children)	2. With spouse/partner (no children)	3. With family with children
4. Other ()		

Q.11. This question is for those who answered “3 With family with children” in the previous question. Please select the type of school that your son/daughter goes to. If you have 2 or more children, select all that apply.

1. International school with the international school certificate*	2. Other international school
3. School in the style of one in my native country	4. Japanese school
5. Home schooling	6. Preschool age (before school age)
7. Other ()	

* International schools that are certified by the international education certifying group, and where students can receive an international certificate of education. In Japan, international schools with the following certificates are available; IB (International Baccalaureate), WASC (Western Association of Schools and Colleges), CIS (Council of International Schools), and ACSI (Association of Christian Schools International).

Q.12. Write down in detail any inconveniences you may have or areas you feel could be improved regarding the Japanese education and childcare system.

--

* Please answer within 500 letters.

Q13. Where do you currently reside in Japan? Select only one.

Tokyo, 23 wards				
1. Chiyoda	2. Chuo	3. Minato	4. Shinjuku	5. Bunkyo
6. Taito	7. Sumida	8. Koto	9. Shinagawa	10. Meguro
11. Ota	12. Setagaya	13. Shibuya	14. Nakano	15. Suginami
16. Toshima	17. Kita	18. Arakawa	19. Itabashi	20. Nerima
21. Adachi	22.	23. Edogawa		
	Katsushika			
Tokyo, municipalities				
24. Hachioji	25.	26. Musashino	27. Mitaka	28. Ome
	Tachikawa			
29. Fuchu	30. Akishima	31. Chofu	32. Machida	33. Koganei
34. Kodaira	35. Hino	36.	37. Kokubunji	38. Kunitachi
		Higashimurayama		
39. Fussa	40. Komae	41.	42. Kiyose	43.
		Higashiyamato		Higashikurume
44.	45. Tama	46. Inagi	47. Hamura	48. Akiruno
Musashimurayama				
49. Nishitokyo				
Tokyo, towns and villages				
50. Mizuho	51. Hinode	52. Hinohara	53. Okutama	
Tokyo, islands				
54. Oshima	55. To-shima	56. Niijima	57.	58. Miyake
			Kozushima	
59. Mikurajima	60. Hachijo	61. Aogashima	62.	
			Ogasawara	
Kanagawa				
63. Yokohama	64. Kawasaki	65. Sagami-hara	66. Yokosuka	67. Hiratsuka
68. Kamakura	69. Fujisawa	70. Odawara	71. Chigasaki	72. Zushi
73. Miura	74. Hadano	75. Atsugi	76. Yamato	77. Isehara
78. Ebina	79. Zama	80.	81. Ayase	82. Hayama
		Minamiashigara		
83. Samukawa	84. Oiso	85. Ninomiya	86. Nakai	87. Oi
88. Matsuda	89. Yamakita	90. Kaisei	91. Hakone	92. Manazuru
93. Yugawara	94. Aikawa	95. Kiyokawa		
Other prefectures				
96. Other				

Q 14. Where is your main workplace located? Select only one.

Tokyo, 23 wards				
1. Chiyoda	2. Chuo	3. Minato	4. Shinjuku	5. Bunkyo
6. Taito	7. Sumida	8. Koto	9. Shinagawa	10. Meguro
11. Ota	12. Setagaya	13. Shibuya	14. Nakano	15. Suginami
16. Toshima	17. Kita	18. Arakawa	19. Itabashi	20. Nerima
21. Adachi	22.	23. Edogawa		
	Katsushika			
Tokyo, municipalities				
24. Hachioji	25.	26. Musashino	27. Mitaka	28. Ome
	Tachikawa			
29. Fuchu	30. Akishima	31. Chofu	32. Machida	33. Koganei
34. Kodaira	35. Hino	36.	37. Kokubunji	38. Kunitachi
		Higashimurayama		
39. Fussa	40. Komae	41.	42. Kiyose	43.
		Higashiyamato		Higashikurume
44.	45. Tama	46. Inagi	47. Hamura	48. Akiruno
Musashimurayama				
49. Nishitokyo				
Tokyo, towns and villages				
50. Mizuho	51. Hinode	52. Hinohara	53. Okutama	
Tokyo, islands				
54. Oshima	55. To-shima	56. Niijima	57.	58. Miyake
			Kozushima	
59. Mikurajima	60. Hachijo	61. Aogashima	62.	
			Ogasawara	
Kanagawa				
63. Yokohama	64. Kawasaki	65. Sagami-hara	66. Yokosuka	67. Hiratsuka
68. Kamakura	69. Fujisawa	70. Odawara	71. Chigasaki	72. Zushi
73. Miura	74. Hadano	75. Atsugi	76. Yamato	77. Isehara
78. Ebina	79. Zama	80.	81. Ayase	82. Hayama
		Minamiashigara		
83. Samukawa	84. Oiso	85. Ninomiya	86. Nakai	87. Oi
88. Matsuda	89. Yamakita	90. Kaisei	91. Hakone	92. Manazuru
93. Yugawara	94. Aikawa	95. Kiyokawa		
Other prefectures				
96. Other				

Q 15. How long does it approximately take for you to commute to your company from home?

Select only one.

1. Less than 15 minutes	2. 15 minutes to less than 30 minutes	3. 30 minutes to less than 60 minutes
4. 60 minutes to less than 90 minutes	5. 90 minutes or more	

Q 16. What is the approximate maximum amount of time you would be willing to commute?

Select only one.

1. Less than 15 minutes	2. 15 minutes to less than 30 minutes	3. 30 minutes to less than 60 minutes
4. 60 minutes to less than 90 minutes	5. 90 minutes or more	

Q 17. What is your main method of commute? Select only one.

1. Walk	2. Bicycle	3. Train	4. Bus	5. Car
6. Others ()				

*If you use several types, select the one you use for the longest distance.

About living environment

Q18. What aspect of lifestyle, culture and activities in Japan do you especially like?

* Please answer within 500 letters.

Q19. What aspects do you especially NOT like?

* Please answer within 500 letters.

Q20. Do you ever feel more inconvenience and insecurity in Japan than when you are in your country?

Select only one.

1 Yes, I feel more.	2 In some cases, yes.	3 I don't feel them that much.
---------------------	-----------------------	--------------------------------

Q.21. This question is for those who answered "1 Yes, I feel more" or "2 In some cases, yes" in the previous question. What do you feel inconvenience and insecurities towards? Select all that apply.

1 Disasters like earthquakes ,etc.	2 Crime	3 Japanese schools and education	4 Disease and injury
5 Traffic accidents	6 Housing and working procedures	7 Resident visa procedures	8 Japanese food
9 Language and communication	10 Other ()		

We will now ask about your spare time.

Q22. What time does your average workday start and finish? Your answer should include over time.

Example (9:00~19:00)

You can input numbers 1-24.

*Only input the hours

Start time [] :00 ~Finish time [] :00

Q23. Which days of the week are your non-working days?

Select all that apply.

1 Sunday	2 Monday	3 Tuesday	4 Wednesday	5 Thursday	6 Friday	7 Saturday
----------	----------	-----------	-------------	------------	----------	------------

Q24. Do you have a favorite town and /or spot that you like to visit non-working days and after work? Write the specific name of the towns and spots, with the reasons.

<Example>

Non-working day:

Parks in the city center (E.g. Shinjuku Gyoen) – I like it because it's in the vicinity and for its openness.

Tourism spots and resorts in suburb of Tokyo (E.g. Izu and Mt. Takao) – We can enjoy Japanese nature within one-hour distance from Tokyo.

City centers such as Ginza, Roppongi and Marunouchi – Convenient to meet my friends and enjoy shopping

Asakusa and Nihonbashi – Places to feel the Japanese history and tradition

After work:

Roppongi, Akasaka, Aoyama and Marunouchi – For dinner with my friends at restaurants

Roppongi and Shibuya – For watching movies and a plays in a theater

Spend time with my family at home

	<Name of favorite town and spot>	<Reasons you like it>
①Favorite town/spot for non-working day		
②Favorite town/spot for after work.		

Q25. How much importance do you place on the following measures made to enhance comfort for your life in Japan?

Items to enhance your comfort life in Japan	1. Your level of importance			
	1 Very important	2 Somewhat important	3 Not so important	4 Not important/not applicable to me
1 Relaxation of regulations and procedures related to foreigner's immigration and residency.	1	2	3	4
2 Expansion of multilingual business support services	1	2	3	4
3 Live in the city center and work close to home (Within 20 minutes commuting time)	1	2	3	4
4 Expansion of hot spots for after-work and non-working days in the city center.	1	2	3	4
5 Multilingual support for house hunting, communication with agents, and Japanese paperwork.	1	2	3	4
6 Housing information about areas where foreigners in similar circumstances live.	1	2	3	4
7 Special housing treatment and preferential housing distribution for foreigners, including public financial support.	1	2	3	4
8 Residences furnished similar to the ones in my home country.	1	2	3	4
9 Support to find a residential area that is convenient for my children to go to school.	1	2	3	4
10 Educational programs for children that is almost the same as my home country.	1	2	3	4
11 More international schools in the city center to receive more foreign children.	1	2	3	4
12 Multilingual support for medical services	1	2	3	4
13 Daily-life information and concierge service to support foreigners.	1	2	3	4
14 Multilingual daily-life information to foreigners.	1	2	3	4
15 Solicitation to local community and activities such as international exchanges and Japanese language groups.	1	2	3	4
16 Multilingual FM broadcast and information booklets distributed to foreigners.	1	2	3	4
17 More multilingual signage in restaurants and cultural facilities.	1	2	3	4
18 Increase of restaurants that are halal and kosher.	1	2	3	4
19 Free Wi-Fi spots	1	2	3	4

Q26. How satisfied are you currently regarding these measures made to enhance comfort for your life in Japan?

Items to enhance your comfort life in Japan	2. Your level of satisfaction			
	1	2	3	4
	Very Satisfied	Somewhat satisfied	Somewhat dissatisfied	Very dissatisfied
1 Relaxation of regulations and procedures related to foreigner's immigration and residency.	1	2	3	4
2 Expansion of multilingual business support services	1	2	3	4
3 Live in the city center and work close to home (Within 20 minutes commuting time)	1	2	3	4
4 Expansion of hot spots for after-work and non-working days in the city center.	1	2	3	4
5 Multilingual support for house hunting, communication with agents, and Japanese paperwork.	1	2	3	4
6 Housing information about areas where foreigners in similar circumstances live.	1	2	3	4
7 Special housing treatment and preferential housing distribution for foreigners, including public financial support.	1	2	3	4
8 Residences furnished similar to the ones in my home country.	1	2	3	4
9 Support to find a residential area that is convenient for my children to go to school.	1	2	3	4
10 Educational programs for children that is almost the same as my home country.	1	2	3	4
11 More international schools in the city center to receive more foreign children.	1	2	3	4
12 Multilingual support for medical services	1	2	3	4
13 Daily-life information and concierge service to support foreigners.	1	2	3	4
14 Multilingual daily-life information to foreigners.	1	2	3	4
15 Solicitation to local community and activities such as international exchanges and Japanese language groups.	1	2	3	4
16 Multilingual FM broadcast and information booklets distributed to foreigners.	1	2	3	4
17 More multilingual signage in restaurants and cultural facilities.	1	2	3	4
18 Increase of restaurants that are halal and kosher.	1	2	3	4
19 Free Wi-Fi spots	1	2	3	4

Q27. Please write any requests or ideas you may have regarding measures, support and/ or services made by the government and companies in order to enhance comfort of your lifestyle in Japan.

--

* Please answer within 500 letters.

We will now ask about cities and business environments.

Q28. In which city does your company have the head office for Asia and Oceania? Select only one

1 Tokyo	2 Singapore	3 Hong Kong	4 Shanghai
5 Beijing	6 Seoul	7 Taipei	8 Macao
9 Kuala Lumpur	10 Mumbai	11 Bangkok	12 Sydney
13 City in Japan other than Tokyo (City name :)	14 Other than the above (City name :)		

Q29. Why did your company choose the city in the previous question as the regional head office for Asia and Oceania? Your assumption is fine. Select all that apply.

1 Size of the country, economy and market.	6 The city works as a hub for financial and trade industries in Asia.
2 Expectations that the country's economy will grow.	7 Organized infrastructure for financial and trade industries.
3 The company has the largest trade with the country.	8 Relaxed regulations for business activities and many benefits are prepared for foreign companies.
4 The regional head office is traditionally located there.	9 Availability of English for business and living.
5 Accessibility to other major cities in Asia.	10 Other (Please write specifically :)

Q30. Rank your answers from the previous question from 1st to 3rd, in order of priority (top 3 items).

*If you selected only 2 reasons in the previous question, rank the 2 answers.

- | |
|--|
| 1. Size of the country, economy and market. |
| 2. Expectations that the country's economy will grow. |
| 3. The company has the largest trade with the country. |
| 4. The regional head office is traditionally located there. |
| 5. Accessibility to other major cities in Asia. |
| 6. The city works as a hub for financial and trade industries in Asia. |
| 7. Organized infrastructure for financial and trade industries. |
| 8. Relaxed regulations for business activities and many benefits are prepared for foreign companies. |
| 9. Availability of English for business and living. |
| 10. 【 /Q29_10FA の選択内容】】 |

(Use the numbers from above; enter numbers only)

Q31. In 10 years, where do you think your company's regional head office for Asia and Oceania will be?

Your assumption is fine. Select only one.

1 Tokyo	2 Singapore	3 Hong Kong	4 Shanghai
5 Beijing	6 Seoul	7 Taipei	8 Macao
9 Kuala Lumpur	10 Mumbai	11 Bangkok	12 Sydney
13 City in Japan other than Tokyo (City name :)	14 Other than the above (City name :)		

Q32. What kinds of challenges do you think Tokyo faces in order to become a key center of Asia and Oceania? Your personal opinion is fine. Write your thoughts regarding the market, economy, regulations, taxes and cultural customs, as well as for becoming a city environment that supports daily activities, (work, living, recreation, education, etc.)

Challenges of the market, economy, regulations, taxes and cultural customs.
Challenges as a city environment that supports daily activities (work, living, recreation, education, etc.)

Q33. Out of all the cities in the world, including ones in Japan, which one do you want to work and live in the most?

City name []

Q34. What do you think of the city you answered in the previous question? Select all that apply.

<p>1 The market size is large.</p> <p>2 Flexibility of business activities and less regulations for business.</p> <p>3 The center of the world, the latest information and values are created and available.</p> <p>4 Great office environment</p> <p>5 Great living and housing environment</p> <p>6 Focuses on culture, tourism and nature.</p> <p>7 Dynamic city with the metropolitan redevelopment</p> <p>8 Work, home and school are close so it's very convenient,</p> <p>9 Plenty of English and multilingual support for business and living.</p> <p>10 Environment and conditions are attractive to draw attention of foreigners and foreign companies.</p>	<p>11 Inefficient due to many regulations, not enough flexibility for business and living.</p> <p>12 Feel inconvenience because workplace, home and school are far apart.</p> <p>13 Lack of entertainment, amusement and living environments in the city center.</p> <p>14 Lack of large parks and multi-lane road in the city center.</p> <p>15 The urban area is too small and overcrowded, lack of vertical expansion of urban space.</p> <p>16 Lack of English multilingual support for business and living.</p> <p>17 Environment and conditions are not enough attractive to draw attention of foreigners and foreign companies.</p>
---	--

Q35. Why do you think that city is the best city?

* Please answer within 500 letters.

Q36. What do you think about Tokyo? Select all that apply.

<p>1 The market size is large.</p> <p>2 Flexibility of business activities and less regulations for business.</p> <p>3 The center of the world, the latest information and values are created and available</p> <p>4 Great office environment</p> <p>5 Great living and housing environment</p> <p>6 Focuses on culture, tourism and nature.</p> <p>7 Dynamic city with the metropolitan redevelopment</p> <p>8 Work, home and school are close so it's very convenient,</p> <p>9 Plenty of English and multilingual support for business and living.</p> <p>10 Environment and conditions are attractive to draw attention of foreigners and foreign companies.</p>	<p>11 Inefficient due to many regulations, not enough flexibility for business and living.</p> <p>12 Feel inconvenience because workplace, home and schools are far apart.</p> <p>13 Lack of entertainment, amusement and living environments in the city center.</p> <p>14 Lack of large parks and multi-lane roads in the city center.</p> <p>15 The urban area is too small and overcrowded, lack of vertical expansion of urban space.</p> <p>16 Lack of English multilingual support for business and living.</p> <p>17 Environment and conditions are not enough attractive to draw attention of foreigners and foreign companies.</p>
--	--

Q37. What do you think of Tokyo as city for work and living? Please write below.

* Please answer within 500 letters.

Q38. What do you think is important for Tokyo to be more appealing as a city for work and living?

Select one for each.

Important items for Tokyo to be more appealing city	1. Your level of importance			
	1 Very important	2 Somewhat Important	3 Not much important	4 not applicable important/
1 Integration of various functions and facilities to energize the mixed society of Tokyo.	1	2	3	4
2 To be a place for living with entertainment and culture, not only for economy and industry.	1	2	3	4
3 Life functions (work, home, education and leisure) are concentrated in the city center to enhance accessibility and provide entertainment within the city center.	1	2	3	4
4 Creation of an environment to draw more international visitors and promote centralization of hot spots.	1	2	3	4
5 The city is active and energetic with more international conferences and events.	1	2	3	4
6 Acceleration of opening the market and relaxation of regulations so that Tokyo can receive more foreign companies, foreign workers and foreign tourists.	1	2	3	4
7 Providing multilingual environment, e.g. in English and Asian languages, to facilitate foreigner's business and day-to-day life.	1	2	3	4
8 Improvement of transportation accessibility from the international airports to the city center.	1	2	3	4
9 Increasing of floor space of offices and residence.	1	2	3	4
10 Development to large parks and urban oasis in the city center, similar to Central park in New York City.	1	2	3	4
11 Providing cultural spots to introduce Japan and Tokyo's history and art.	1	2	3	4
12 Organization of an urban landscape with a balanced skyline of towns and well-designed buildings.	1	2	3	4
13 Building of super high-rise buildings in the areas where too many low-rise buildings are concentrated so that the vertical space can be redeveloped.	1	2	3	4
14 Enhancement of earthquake and fire resistance of buildings in town for disasters.	1	2	3	4
15 Ability to continue business and confirm safety of family in the event of disasters, such as earthquake.	1	2	3	4
16 Construction of environment-friendly towns and buildings.	1	2	3	4
17 Promotion of city revitalization, redevelopment and real estate investment acquiring corporate and private funds.	1	2	3	4
18 Improvements in vulnerability of town security and home safety systems despite public peace being maintained.	1	2	3	4
19 Planning and implementation of strategies for Tokyo to be a key city in Asia.	1	2	3	4
20 Enhancement of concierge function for foreigners to provide advice and support.	1	2	3	4

Q39. What is your recent impression for Tokyo as an appealing city for work and living? Select one for each.

Important items for Tokyo to be more appealing city	2. Your recent impression			
	1 It's improved	2 It's improved somewhat	3 It hasn't changed	4 I do not know
1 Integration of various functions and facilities to energize the mixed society of Tokyo.	1	2	3	4
2 To be a place for living with entertainment and culture, not only for economy and industry.	1	2	3	4
3 Life functions (work, home, education and leisure) are concentrated in the city center to enhance accessibility and provide entertainment within the city center.	1	2	3	4
4 Creation of an environment to draw more international visitors and promote centralization of hot spots.	1	2	3	4
5 The city is active and energetic with more international conferences and events.	1	2	3	4
6 Acceleration of opening the market and relaxation of regulations so that Tokyo can receive more foreign companies, foreign workers and foreign tourists.	1	2	3	4
7 Providing multilingual environment, e.g. in English and Asian languages, to facilitate foreigner's business and day-to-day life.	1	2	3	4
8 Improvement of transportation accessibility from the international airports to the city center.	1	2	3	4
9 Increasing of floor space of offices and residence.	1	2	3	4
10 Development to large parks and urban oasis in the city center, similar to Central park in New York City.	1	2	3	4
11 Providing cultural spots to introduce Japan and Tokyo's history and art.	1	2	3	4
12 Organization of an urban landscape with a balanced skyline of towns and well-designed buildings.	1	2	3	4
13 Building of super high-rise buildings in the areas where too many low-rise buildings are concentrated so that the vertical space can be redeveloped.	1	2	3	4
14 Enhancement of earthquake and fire resistance of buildings in town for disasters.	1	2	3	4
15 Ability to continue business and confirm safety of family in the event of disasters, such as earthquake.	1	2	3	4
16 Construction of environment-friendly towns and buildings.	1	2	3	4
17 Promotion of city revitalization, redevelopment and real estate investment acquiring corporate and private funds.	1	2	3	4
18 Improvements in vulnerability of town security and home safety systems despite public peace being maintained.	1	2	3	4
19 Planning and implementation of strategies for Tokyo to be a key city in Asia.	1	2	3	4
20 Enhancement of concierge function for foreigners to provide advice and support.	1	2	3	4

Q40. If you have any thoughts regarding the direction of the government or its measures on making Tokyo a more appealing city, please write them below.

* Please answer within 500 letters.

Q41. We will now ask about what you place importance on regarding office buildings? What are your levels of importance for “office facilities and equipment” and “environment around the office”? Select one for each.

Important items in office buildings		1. Your level of Importance			
		1 Very important	2 Somewhat important	3 Not so important	4 Not important/not applicable to me
Office facilities and equipment	1 High-end building facilities	1	2	3	4
	2 High level of security (e.g. security gate)	1	2	3	4
	3 Ample common space in the building(e.g. high-end smoking room, lounge)	1	2	3	4
	4 Comfortable use of toilet facilities	1	2	3	4
	5 High level of quake resistance(e.g. seismic isolation and vibration deadening)	1	2	3	4
	6 Excellent disaster prevention schemes and backup system(e.g. standby power system including private electric generator in case of blackout, stock for disaster)	1	2	3	4
	7 Size of a floor space per floor	1	2	3	4
	8 Environment-friendly (e.g. energy saving effort, acquiring environment related certificate like LEED and CASBEE)	1	2	3	4
Environment around the office	9 Transportation convenience	1	2	3	4
	10 Eating and drinking facilities(e.g. restaurants)	1	2	3	4
	11 Shopping facilities	1	2	3	4
	12 Recreational facilities(e.g. fitness centers)	1	2	3	4
	13 Cultural facility, e.g. theater, museum	1	2	3	4
	14 Conference/convention facilities	1	2	3	4
	15 Medical facilities(e.g. hospital and pharmacies)	1	2	3	4
	16 Public open space, urban green space	1	2	3	4
	17 Housing environments (Close to the office)	1	2	3	4

Q42. We will now ask about what you place importance on regarding office buildings. What are your levels of satisfaction for "office facilities and equipment" and the "environment around the office"? Select one for each.

Important items in office buildings		2. Your level of Satisfaction			
		1	2	3	4
		Very satisfied	Somewhat Satisfied	Somewhat dissatisfied	Very dissatisfied
Office facilities and equipment	1 High-end building facilities	1	2	3	4
	2 High level of security (e.g. security gate)	1	2	3	4
	3 Ample common space in the building(e.g. high-end smoking room, lounge)	1	2	3	4
	4 Comfortable use of toilet facilities	1	2	3	4
	5 High level of quake resistance(e.g. seismic isolation and vibration deadening)	1	2	3	4
	6 Excellent disaster prevention schemes and backup system(e.g. standby power system including private electric generator in case of blackout, stock for disaster)	1	2	3	4
	7 Size of a floor space per floor	1	2	3	4
	8 Environment-friendly (e.g. energy saving effort, acquiring environment related certificate like LEED and CASBEE)	1	2	3	4
Environment around the office	9 Transportation convenience	1	2	3	4
	10 Eating and drinking facilities(e.g. restaurants)	1	2	3	4
	11 Shopping facilities	1	2	3	4
	12 Recreational facilities(e.g. fitness centers)	1	2	3	4
	13 Cultural facility, e.g. theater, museum	1	2	3	4
	14 Conference/convention facilities	1	2	3	4
	15 Medical facilities(e.g. hospital and pharmacies)	1	2	3	4
	16 Public open space, urban green space	1	2	3	4
	17 Housing environments (Close to the office)	1	2	3	4

Q43. Please write down your requests regarding improvements, new facilities, services, etc, or functions you would like to be integrated into office buildings, with the reasons.

Examples:

Conference center (Reason: to hold our business meetings/events easily)

Restaurants open until late at night (Reason: to enjoy gathering with colleagues after work)

Fitness facility (Reason: as I do my workouts every day after work)

* Please answer within 500 letters

Q44. What environment do you want around office buildings? Please write your thoughts and the reasons.

Examples:

Serviced apartment (Reason: convenient for business travelers who stay for midterm if accommodation is close to the office)

International school (Reason: there are only a few international schools available in the city center.)

Theater and museum (Reason: convenient if there are recreational facilities close to the office so we can enjoy them after work.)

* Please answer within 500 letters

About yourself

F1. Select your country of origin.

1. United States of America	2. United Kingdom	3. Germany	4. France	5. Switzerland
6. South Korea	7. China	8. India	9. Denmark	10. Norway
11. Japan	12. Other			

F2. What is your native language? [_____]

F3. Select your gender.

1. Male	2. Female
---------	-----------

F4. Select your age range.

1. 10-19	2. 20-29	3. 30-39	4. 40-49	5. 50-59	6. over 60
----------	----------	----------	----------	----------	------------

F5. Select your job class or employment status. Select only one.

1. Top management (e.g. president, board member)
2. Management (e.g. director, section chief)
3. Company staff
4. Temporary contract staff
5. Self-employed
6. Freelance
7. Student (university, junior college, vocational college, etc.)
8. Part-timer
9. Homemaker
10. Unemployed/retired
11. Other

F10. Select your current main job category. Select only one.

1. Planning, Development, Research	2. Back office (e.g. HR, General Administration)	3. Front office (e.g. Sales, Information system engineer)
4. Dealing, investing	5. Lawyer, accountant	6. Other ()

Which country and city do you consider your home base (or hometown)?

F11. Which country do you feel is your home base (hometown)? Select only one.

1. United States of America	2. United Kingdom	3. Germany	4. France	5. Switzerland
6. South Korea	7. China	8. India	9. Denmark	10. Norway
11. Other ()				

F12. Please write the city you consider to be your home base (hometown).

[]

Thank you very much for your cooperation.

外国人ビジネスパーソンの都市・オフィス・居住環境に関するニーズ調査

報告書

2015年10月

一般社団法人 不動産協会